

別記様式第2号（その1の1）

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ者	ガッコウホウジン トウキョウコクサイダイガク 学校法人 東京国際大学							
フリガナ大学の名称	トウキョウコクサイダイガク 東京国際大学 (Tokyo International University)							
大学本部の位置	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1							
大学の目的	東京国際大学は、教育基本法及び学校教育法に則り、建学の精神「公德心を体した真の国際人の養成」を基調として、広い教養及び社会に密接な専門学術を教授・研究し、人類の福祉と文化の発展に貢献し得る知性と勇気と先見性豊かな人材を育成することを目的及び使命としている。							
新設学部等の目的	商学部経営学科では、現代の多様な国内・国際ビジネスの仕組みを理解し、ビジネス上の諸課題に実践的に対応できる人材の育成、人間社会学部福祉心理学科では、現代社会の諸問題を福祉・心理の両面から捉え専門性と総合的技術を備えた人材の育成を目的としている。また、近年、当該2学科の志願者数は安定した伸びを示していることから、これらの本学の教育目標に共感する学生のニーズに対応するため、入学定員を増加する。なお、福祉心理学科においては、2022年度より社会的需要の高い公認心理師資格に対応した教育課程を導入することで更なるニーズにも対応してゆく。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	商学部 商学科	4年	100人	— 年次人	400人	学士(商学) (Bachelor of Arts in Business and Commerce)	昭和40年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
	経営学科	4	160 (80)	—	640 (320)	学士(経営学) (Bachelor of Arts in Business Administration)	令和4年4月 第1年次	同上
	経済学部 経済学科	4	475	—	1,900	学士(経済学) (Bachelor of Arts in Economics)	平成元年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
	言語コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	4	250	—	1,000	学士(デジタルビジネス・イノベーション) (Bachelor of Science in Digital Business and Innovation)	平成16年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
	国際関係学部 国際関係学科	4	310	—	1,240	学士(国際関係学) (Bachelor of Arts in International Relations)	平成7年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
	国際メディア学科	4	60	—	240	学士(国際メディア学) (Bachelor of Arts in Media and Communication Studies)	平成19年4月 第1年次	同上
	人間社会学部 福祉心理学科	4	45 (25)	—	180 (100)	学士(福祉心理学) (Bachelor of Arts in Social Welfare and Psychology)	令和4年4月 第1年次	埼玉県川越市の場2509

新設学部等の概要	人間スポーツ学科	4	230	—	920	学士(人間スポーツ学) (Bachelor of Arts in Human Development and Sport Science)	平成23年4月 第1年次	埼玉県川越市の場 2509		
	スポーツ科学科	4	200	—	800	学士(スポーツ科学) (Bachelor of Arts in Sport Science)	平成24年4月 第1年次	埼玉県川越市の場 2509		
	医療健康学部 理学療法学科	4	80	—	320	学士(理学療法学) (Bachelor of Physical Therapy)	令和3年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北 1丁目13番地1		
			1,910 (1,810)		7,640 (7,240)					
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計	— 単位				
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位				
教 員 組 織 の 概 要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等		
	新 設 分	商学部 商学科	8 (8)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	19 (19)	
		商学部 経営学科	11 (11)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	19 (19)	
		経済学部 経済学科	21 (21)	15 (11)	5 (2)	0 (0)	41 (34)	0 (0)	7 (7)	
		言語コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	9 (11)	5 (3)	7 (7)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	5 (5)	
		国際関係学部 国際関係学科	9 (9)	9 (6)	7 (6)	0 (0)	25 (21)	0 (0)	16 (16)	
		国際関係学部 国際メディア学科	6 (5)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	16 (16)	
		人間社会学部 福祉心理学科	5 (5)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	23 (23)	
		人間社会学部 人間スポーツ学科	11 (7)	5 (4)	2 (2)	0 (0)	18 (13)	0 (0)	23 (23)	
		人間社会学部 スポーツ科学科	9 (7)	2 (2)	5 (5)	0 (0)	16 (14)	0 (0)	23 (23)	
		医療健康学部 理学療法学科	7 (7)	8 (8)	6 (6)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	6 (0)	
		計	96 (91)	51 (42)	34 (30)	0 (0)	181 (163)	0 (0)	— (—)	
		既 設 分	GTI(Global Teaching Institute)	0 (0)	0 (0)	42 (42)	0 (0)	42 (42)	0 (0)	0 (0)
			JLI (Japanese Language Institute)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	3 (3)
言語教育機構	1 (1)		1 (1)	1 (1)	1 (1)	4 (4)	0 (0)	0 (0)		
教育研究推進機構	2 (2)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	29 (29)		
計	3 (3)		1 (1)	60 (60)	1 (1)	65 (65)	0 (0)	— (—)		
合 計		99 (94)	52 (43)	94 (90)	1 (1)	246 (228)	0 (0)	— (—)		

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		141 (141)	20 (20)	161 (161)					
	技 術 職 員		—	—	—					
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)	—	1 (1)					
	そ の 他 の 職 員		7 (7)	48 (48)	55 (55)					
	計		149 (149)	68 (68)	217 (217)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	・校舎敷地は下段が現有面積、上段が池袋キャンパス（令和5年9月完成予定）を含む。 ・運動場用地は坂戸キャンパス、河川敷校地を含む。				
	校 舎 敷 地	87,288㎡ (77,288㎡)	0㎡	0㎡	87,288㎡ (77,288㎡)					
	運 動 場 用 地	201,978㎡	0㎡	0㎡	201,978㎡					
	小 計	289,266㎡ (279,266㎡)	0㎡	0㎡	289,266㎡ (279,266㎡)					
	そ の 他	2,675㎡	0㎡	0㎡	2,675㎡					
	合 計	291,941㎡ (281,941㎡)	0㎡	0㎡	291,941㎡ (281,941㎡)					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	下段が現有面積、上段が池袋キャンパス（令和5年9月完成予定）を含む。				
		87,966㎡ (61,195㎡)			87,966㎡ (61,195㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	・大学全体 ・下段が現有数、上段が池袋キャンパス（令和5年9月完成予定）を含む。				
	192室 (124室)	14室 (14室)	7室 (7室)	24室 (21室) (補助職員0人)	12室 (12室) (補助職員0人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		GTI、JLIは共同研究室（86席）を使用。				
		大学全体		224 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	693,218 [115,698] (684,495 [114,351])	15,856 [14,283] (15,856 [14,283])	12,311 [12,311] (12,311 [12,311])	15,762 (15,722)	355 (355)	— (—)			
	計	693,218 [115,698] (684,495 [114,351])	15,856 [14,283] (15,856 [14,283])	12,311 [12,311] (12,311 [12,311])	15,762 (15,722)	355 (355)	— (—)			
図 書 館		面積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		10,274㎡		648	699,000					
体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
		4,473㎡		野球場2面		テニスコート8面				
				サッカー場3面		ゴルフ練習場2面				
				フットサル場3面		アーチェリー場1面				
				陸上競技場400Mトラック1面		ソフトボール場2面				
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	・大学全体 ・図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	—	—	
		共同研究費等		3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	—	—	
		図書購入費	78,100千円	62,538千円	62,538千円	62,538千円	62,538千円	—	—	
		設備購入費	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	—	—	

経費の見積り及び維持方法の概要	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,400千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	—千円	—千円	商学部・経済学部・国際関係学部・人間社会学部福祉心理学科
		1,450千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	—千円	—千円	言語コミュニケーション学部
		1,560千円	1,310千円	1,310千円	1,310千円	—千円	—千円	人間社会学部人間スポーツ学科およびスポーツ科学科
		1,450千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	—千円	—千円	経済学部・国際関係学部Eトラック
		1,800千円	1,550千円	1,550千円	1,550千円	—千円	—千円	医療健康学部
		1,090千円	840千円	840千円	—千円	—千円	—千円	商学研究科・経済学研究科・国際関係学研究科
		1,450千円	1,400千円	1,400千円	—千円	—千円	—千円	商学研究科・経済学研究科・国際関係学研究科Eトラック
1,130千円	880千円	880千円	—千円	—千円	—千円	臨床心理学研究科		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入						
大学の名称		東京国際大学 (Tokyo International University)						
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次	人		倍		
商学部								
商学科	4	100	—	420	学士(商学)	0.73	昭和40年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
経営学科	4	80	—	340	学士(経営学)	1.26	平成25年度	
経済学部								
経済学科	4	475	—	1,700	学士(経済学) 学士(デジタルビジネス・イノベーション)	0.96	平成元年	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
言語コミュニケーション学部								
英語コミュニケーション学科	4	250	—	960	学士(言語コミュニケーション学)	0.94	平成16年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
国際関係学部								
国際関係学科	4	310	—	1,020	学士(国際関係学)	0.87	平成7年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
国際メディア学科	4	60	—	260	学士(国際メディア学)	1.10	平成19年度	
人間社会学部								
福祉心理学科	4	25	—	125	学士(福祉心理学)	1.08	平成7年度	埼玉県川越市の場2509
人間スポーツ学科	4	230	—	920	学士(人間スポーツ学)	1.01	平成23年度	埼玉県川越市の場2509
スポーツ科学科	4	200	—	800	学士(スポーツ科学)	1.09	平成24年度	埼玉県川越市の場2509
医療健康学部								
理学療法学科	4	80	—	320	学士(理学療法学)	0.83	令和4年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
大学院商学研究科								
商学専攻(博士前期課程)	2	30	—	60	修士(商学) 修士(デジタル経営革新)	0.26	昭和61年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
商学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(商学) 博士(デジタル経営革新)	0.33	昭和63年度	
大学院経済学研究科								
経済学専攻(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(経済学)	0.10	平成6年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
経済学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(経済学)	0.00	平成14年度	
大学院国際関係学研究科								
国際関係学研究専攻修士課程	2	20	—	40	修士(国際関係学)	0.25	昭和59年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
大学院臨床心理学研究科								
臨床心理学専攻(博士前期課程)	2	25	—	50	修士(心理学)	0.24	平成13年度	埼玉県川越市の場2509
臨床心理学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(心理学)	0.00	平成13年度	埼玉県川越市の場2509
附属施設の概要	該当なし							

学校法人東京国際大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和3年度(2021年度) 入学定員 編入学定員 収容定員

令和4年度(2022年度) 入学定員 編入学定員 収容定員 変更の事由

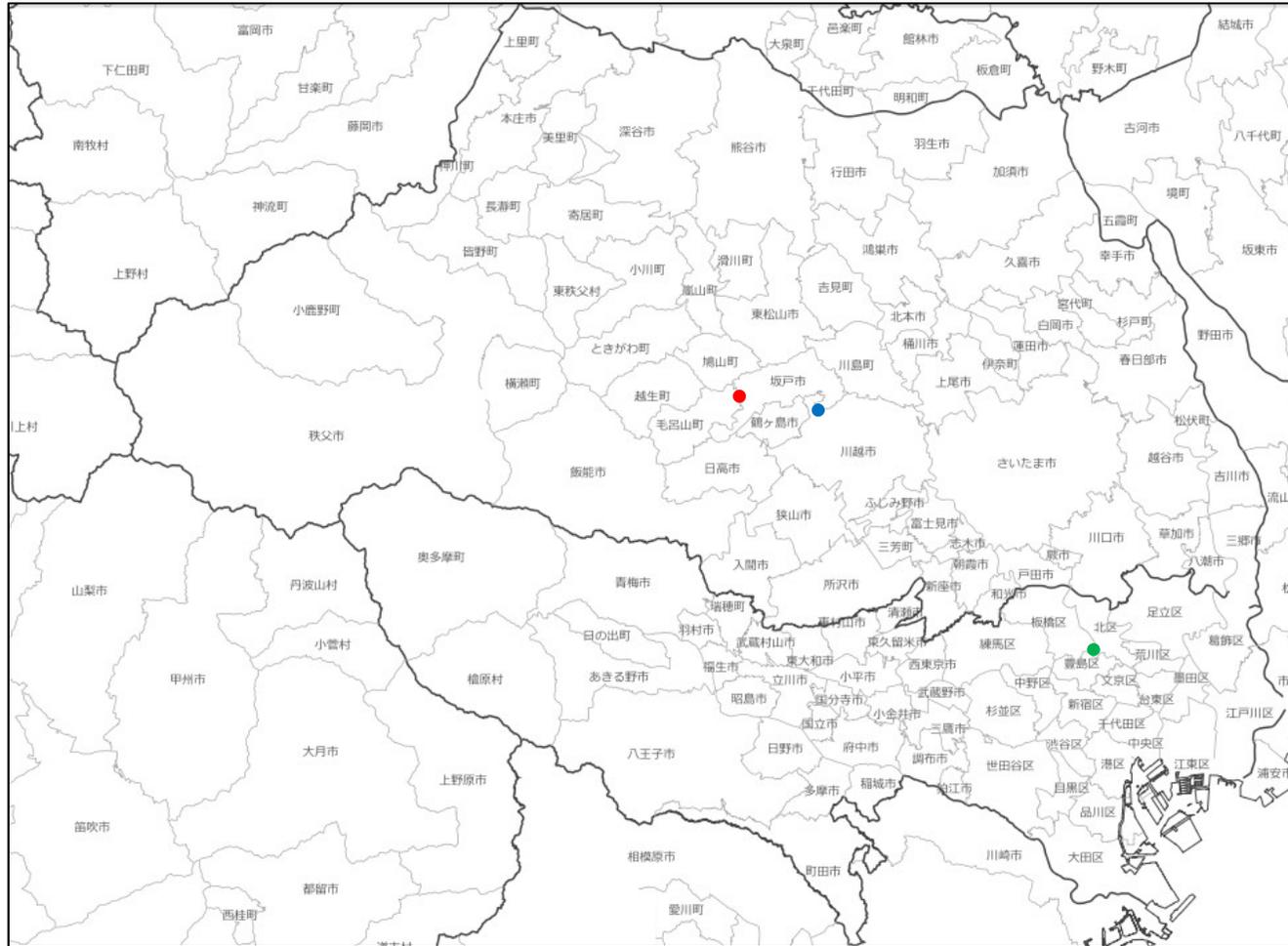
令和3年度(2021年度)	入学定員	編入学定員	収容定員
東京国際大学			
商学部			
商学科	100	—	400
経営学科	80	—	320
経済学部			
経済学科	475	—	1,900
国際関係学部			
国際関係学科	310	—	1,240
国際メディア学科	60	—	240
人間社会学部			
福祉心理学科	25	—	100
人間スポーツ学科	230	—	920
スポーツ科学科	200	—	800
言語コミュニケーション学部			
英語コミュニケーション学科	250	—	1,000
医療健康学部			
理学療法学科	80	—	320
計	1,810	—	7,240
東京国際大学大学院			
商学研究科			
商学専攻(M)	30	—	60
商学専攻(D)	3	—	9
経済学研究科			
経済学専攻(M)	20	—	40
経済学専攻(D)	3	—	9
国際関係学研究科			
国際関係学専攻(M)	20	—	40
臨床心理学研究科			
臨床心理学専攻(M)	25	—	50
臨床心理学専攻(D)	2	—	6
計	103	—	214

令和4年度(2022年度)	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
東京国際大学				
商学部				
商学科	100	—	400	
経営学科	160	—	640	定員変更(80)
経済学部				
経済学科	475	—	1,900	
国際関係学部				
国際関係学科	310	—	1,240	
国際メディア学科	60	—	240	
人間社会学部				
福祉心理学科	45	—	180	定員変更(20)
人間スポーツ学科	230	—	920	
スポーツ科学科	200	—	800	
言語コミュニケーション学部				
英語コミュニケーション学科	250	—	1,000	
医療健康学部				
理学療法学科	80	—	320	
計	1,910	—	7,640	
東京国際大学大学院				
商学研究科				
商学専攻(M)	30	—	60	
商学専攻(D)	3	—	9	
経済学研究科				
経済学専攻(M)	20	—	40	
経済学専攻(D)	3	—	9	
国際関係学研究科				
国際関係学専攻(M)	20	—	40	
臨床心理学研究科				
臨床心理学専攻(M)	25	—	50	
臨床心理学専攻(D)	2	—	6	
計	103	—	214	

図面 目次

- ・ 埼玉県内における位置関係のわかる図面 2
- ・ 最寄り駅からの距離や交通機関が分かる図面 3
- ・ 校舎・運動場等の配置図 5
- ・ 校舎の平面図（第一キャンパス） 6
- ・ 校舎の平面図（第二キャンパス） 3 2
- ・ 2 以上の校地ごとの状況 5 4

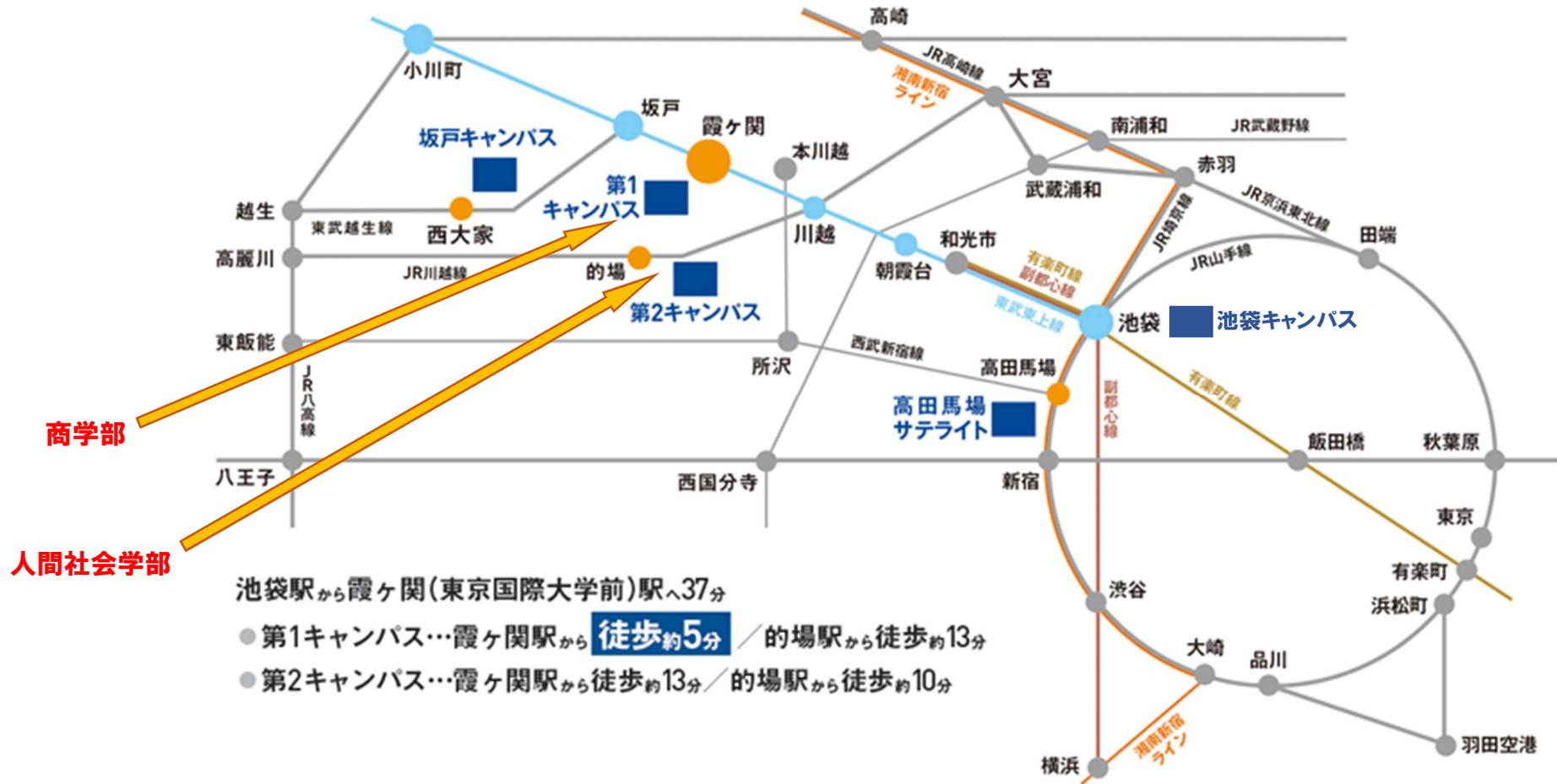
埼玉県内における位置関係のわかる図面



- 坂戸キャンパス(運動施設)
- 池袋キャンパス(2023年9月開校予定)
- 第1キャンパス(商学部・経済学部・言語コミュニケーション学部・国際関係学部・医療健康学部)/第2キャンパス(人間社会学部)

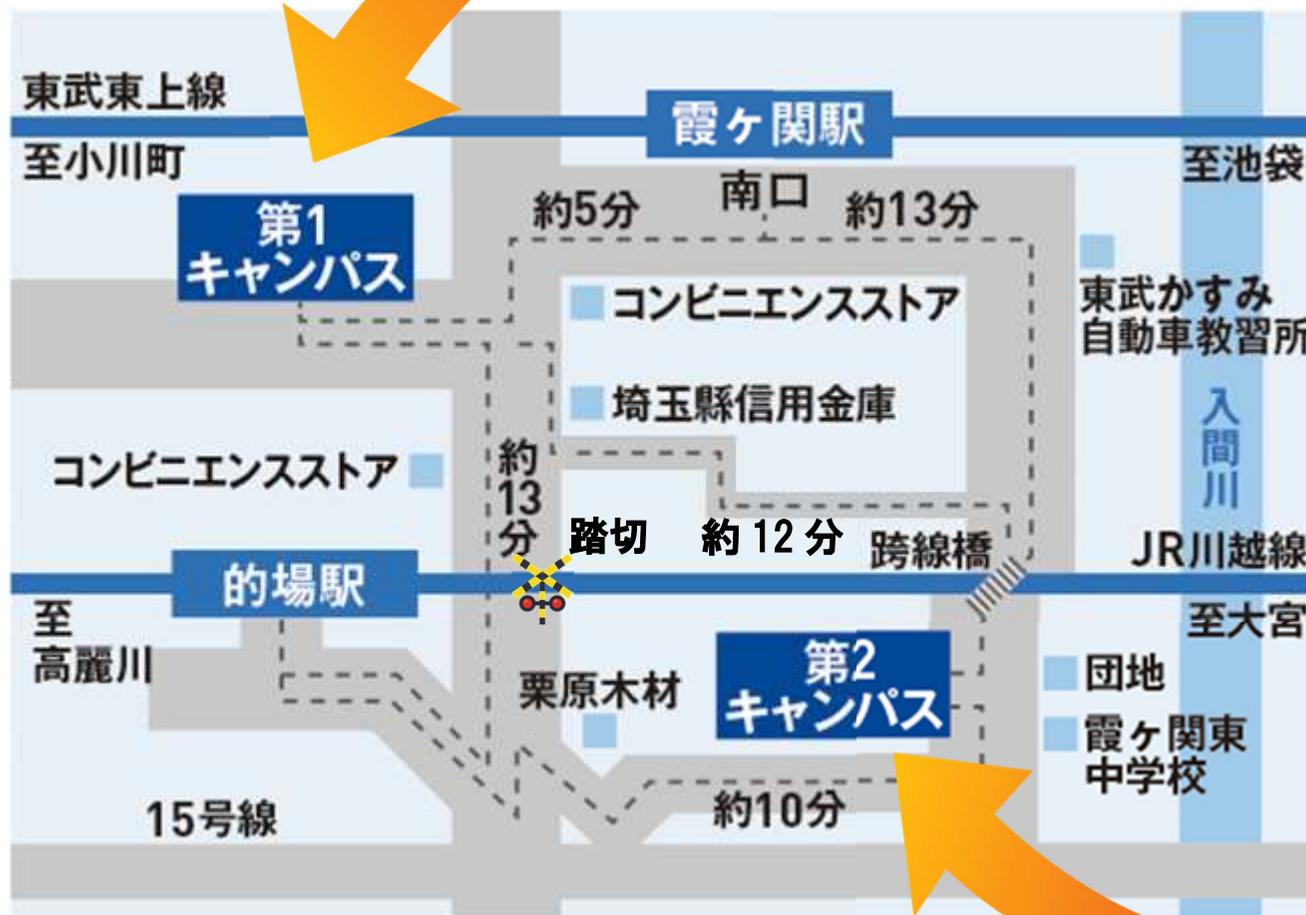
国土地理院 地理院地図(電子国土Web、情報リスト:白地図)

最寄駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



最寄駅からの所要時間

商学部



人間社会学部

2以上の校地において教育を行う場合のそれぞれの校地ごとの状況

学部	第一キャンパス					第二キャンパス					坂戸キャンパス					学部及び校地ごとにおける教育内容	備考		
	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積				
商学部 経営学科	640人	640人	375人	12人 (12人)	/					/					/	1年次で履修する必修科目「大学生生活デザイン演習」および「ICT基礎」は第一キャンパスでのみ開講。			
人間社会学部 福祉心理学科	45人	設定なし	0人	0人 (0人)		180人	180人	115人	9人 (9人)										
既設学部等	5,100人	5,100人	4,026人	126人 (115人)		1,720人	1,720人	1,707人	31人 (24人)			1,720人	1,720人	0人				3人 (3人)	
計	5,785人	5,740人	4,401人	138人 (127人)		36,534㎡ 42,152㎡ (42,152㎡)	1,900人	1,900人	1,822人		40人 (33人)	50,788㎡ 25,413㎡ (25,413㎡)	1,720人	1,720人				0人	3人 (3人)

※収容定員欄には、収容定員の設定がされていない場合は、「設定なし」と記載すること。

※専任教員欄、校舎面積欄の()は開設時、()外は完成時の数値を記載すること。

※専任教員数について、同一の専任教員が複数の校地で授業を担当する場合には、ダブルカウントし、ダブルカウントする教員の内訳を備考欄に記載すること。

施設・設備等		第一キャンパス	第二キャンパス	坂戸キャンパス	備考
学長室		1室	1室	0室	
会議室		11室	8室	0室	
事務室		18室	4室	1室	
事務職員		129人	15人	5人	
研究室		181室	43室	0室	
教室	講義室	85室	39室	3室	
	演習室	8室	6室	0室	
	実験・実習室	2室	5室	0室	
図書館		4,508㎡ 408,216冊	5,766㎡ 292,135冊	— ㎡ — 冊	
図書館専任職員		1人	0人	0人	
医務室		1室	1室	1室	
学生自習室		5室	2室	0室	
学生控室		9室	3室	3室	
運動場		無	有	有	①第二キャンパス: 埼玉県川越市の場2509 10,034㎡ ②坂戸キャンパス: 埼玉県坂戸市大字四日市場宇田利75-2 169,739㎡ (第一キャンパス、第二キャンパスから専用バス利用で15分)
体育館		有	有	無	

※2以上の校地で教育を行うことを前提とした申請についてのみ本様式の記載を求めています。

※研究室が専任教員1人当たり1室でない場合には、備考欄に、研究室の利用形態を記述すること。

※運動場が校地の隣接地にない場合には、その旨を備考欄に記述すること。

東京国際大学学則（案）

（昭和40年4月1日制定）

改正	昭和44年 9月22日	昭和45年 4月 1日
	昭和50年 4月 1日	昭和51年 4月 1日
	昭和52年 4月 1日	昭和53年 4月 1日
	昭和54年 4月 1日	昭和56年 4月 1日
	昭和57年 4月 1日	昭和58年 4月 1日
	昭和60年 4月 1日	昭和61年 4月 1日
	昭和62年 4月 1日	昭和63年 4月 1日
	平成元年 4月 1日	平成 2年 4月 1日
	平成 3年 4月 1日	平成 3年 7月 1日
	平成 4年 4月 1日	平成 5年 4月 1日
	平成 6年 4月 1日	平成 7年 4月 1日
	平成 7年10月 1日	平成 8年 4月 1日
	平成 9年 4月 1日	平成10年 4月 1日
	平成11年 4月 1日	平成11年 9月 1日
	平成12年 4月 1日	平成13年 4月 1日
	平成13年 9月 1日	平成14年 4月 1日
	平成15年 4月 1日	平成16年 4月 1日
	平成17年 4月 1日	平成18年 4月 1日
	平成19年 4月 1日	平成20年 4月 1日
	平成21年 4月 1日	平成22年 4月 1日
	平成23年 4月 1日	平成24年 4月 1日
	平成25年 4月 1日	平成25年11月 1日
	平成26年 4月 1日	平成 26年 5月 28日
	平成27年 3月11日	平成 27年 5月 27日
	平成27年10月14日	平成 28年 3月 16日
	平成28年4月28日	平成 28年 5月 26日
	2016年10月13日	2016年 12月 5日
	2017年3月16日	2017年 5月 25日
	2017年7月3日	2017年 10月 23日
	2017年12月7日	2018年 3月 15日
	2018年5月24日	2018年 10月 25日
	2019年1月30日	2019年 3月 14日
	2019年5月30日	2019年 10月 24日
	2019年12月20日	2020年 3月 12日
	2020年5月28日	2020年 10月 22日
	2020年12月17日	2021年 3月 11日

第1章 大学の目的及び使命

（目的及び使命）

第1条 東京国際大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に則り、建学

の精神を基調として、広い教養及び社会に密接な専門学術を教授・研究し、人類の福祉と文化の発展に貢献し得る知性と勇気と先見性豊かな人材を育成することを、目的及び使命とする。

(自己点検・評価等)

第1条の2 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び使命を達成するため、本学の教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価については、別に定める。

(情報の積極的な提供)

第1条の3 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

2 前項の情報の提供については、別に定める。

第2章 修業年限、在籍期間、学年、学期、休業日

(修業年限)

第2条 本学の修業年限は4年とする。

2 前項の規定にかかわらず、本学に3年以上在学した者が、所属学部の定める卒業要件単位を優秀な成績で修得したと認め得る場合には、卒業を認めることができる。この認定については、学長が別途定める。

3 第28条によって編入学した者の修業年限は、前項の規定にかかわらず2年次編入学生については3年、3年次編入学生については2年とする。

4 第29条によって学士入学した者の修業年限は、第1項の規定にかかわらず2年とする。

(在籍期間)

第3条 学生の在籍期間は、8年を超えることができない。ただし、休学期間は在籍期間に算入しない。

2 第28条並びに第29条によって入学した者の在籍期間は、前項の規定にかかわらず当該学生の修業年限に4年を加えたものを超えることができない。

(学年)

第4条 学年は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終了する。

2 前項に定める学年の途中においても、次条に定める学期の区分に従い、学生を入学させ、及び卒業させることができる。

(学期)

第5条 1年度を2学期に分け、それぞれを春学期(セメスター)、秋学期(セメスター)と称する。各学期の始期及び終期は、毎年度の学年暦をもって定める。但し、学長は授業の開始終了について、変更することができる。

(休業日)

第6条 休業日は次のとおりとする。ただし、休業日でも授業をし、又は試験を行うことがある。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3) 本学の創立記念日 10月23日

(4) 夏期休業 8月1日から8月31日まで

(5) 冬期休業 12月25日から3月31日まで

2 臨時の休業日及びその他の変更については、その都度これを定める。

第3章 学部、学科の組織及びその目的並びに収容定員

(学部、学科)

第7条 本学に次の学部及び学科を置く。

商 学 部 商学科、経営学科（昼間部）

経 済 学 部 経済学科（昼間部）

国際関係学部 国際関係学科、国際メディア学科（昼間部）

人間社会学部 福祉心理学科、人間スポーツ学科、スポーツ科学科（昼間部）

言語コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科（昼間部）

医療健康学部 理学療法学科（昼間部）

(学部、学科の目的)

第7条の2 前条に定める各学部、学科の人材養成及び教育研究上の目的は、次のとおりとする。

- (1) 商学部は、多様な国内・国際ビジネスの仕組みを理解し、ビジネス上の諸課題に実践的に対応できる能力を備えた人材を養成する。
 - ア 商学科は、ビジネスにおいて必要とされる多様な専門知識を持ち、その応用能力を備えた人材を養成する。
 - イ 経営学科は、経営に関する専門知識と実践力を持ち、それらを実社会で応用できる人材を養成する。
- (2) 経済学部は、国際社会に生きる経済人として、世界を舞台にした経済活動に様々な分野からアプローチできる確かな理論と実践力を備えた人材を養成する。
 - ア 経済学科は、経済学を基軸とした知識をもとに、経済社会のさまざまな現場において、論理的に考え、問題解決を図る実践力を備えた人材を養成する。
- (3) 国際関係学部は、多様な国際社会の本質を理解し、理論と実践を統合し、世界で活躍する人材を養成する。
 - ア 国際関係学科は、国際問題を多面的思考で捉え、地球市民として現実に立ち向かう知恵と行動力を備えた人材を養成する。
 - イ 国際メディア学科は、国際的な視野で、的確な情報の受発信を通して真の共生社会実現をめざす人材を養成する。
- (4) 人間社会学部は、社会、文化、福祉、心理、スポーツのそれぞれの視点から人間と社会のかかわりを探究し、ひとの幸せのために、優しさと勇気を持って社会に貢献できる教養ある人材を養成する。
 - ア 福祉心理学科は、現代社会の諸問題を福祉の視点、心理の視点から捉え、専門性と総合的技術を備えた人材を養成する。
 - イ 人間スポーツ学科は、スポーツの知識及び技能を修得し、社会貢献に欠かせない行動力や指導力を心身の両面から備えた人材を育成する。
 - ウ スポーツ科学科は、人間諸科学の総合的な視点から、幅広く深い国際的な教養と豊かな人間性を兼ね備えたスポーツ競技者及びその指導者を目指す人材を養成する。
- (5) 言語コミュニケーション学部は、国際コミュニケーションの知識と技術を磨き、国際社会で活躍できる応用力と専門性を備えた人材を養成する。
 - ア 英語コミュニケーション学科は、英語力を基軸に、国際コミュニケーションの知識と実践を統合的に探求し、国際社会に貢献できる人材を養成する。
- (6) 医療健康学部は、医療・健康科学における専門的知識・技術をもって心身の健康を支援することで社会に貢献できる人材を養成する。

ア 理学療法学科は、現代社会の問題を理学療法の視点から捉え、医療・福祉分野のみならず、健康増進・介護予防分野においても活躍できる人材を養成する。

(収容定員)

第8条 本学各学部・学科の収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員	収 容 定 員
商 学 部	商 学 科	100名	400名
	経 営 学 科	160名	640名
経 済 学 部	経 済 学 科	475名	1,900名
国 際 関 係 学 部	国 際 関 係 学 科	310名	1,240名
	国 際 メ デ ィ ア 学 科	60名	240名
人 間 社 会 学 部	福 祉 心 理 学 科	45名	180名
	人 間 ス ポ ー ツ 学 科	230名	920名
	ス ポ ー ツ 科 学 科	200名	800名
言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 部	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	250名	1,000名
医 療 健 康 学 部	理 学 療 法 学 科	80名	320名
計		1,910名	7,640名

(留学生別科)

第9条 本学に留学生別科を置く。

2 留学生別科については別に定める。

第4章 大学院及び附属機関等

(大学院)

第10条 本学に大学院を置く。

2 大学院学則は別に定める。

(附属・関連組織)

第11条 本学に次の附属・関連組織を置く。

- (1) 附属日本語学校
- (2) 米国東京国際大学（米国オレゴン州所在）

(姉妹校及び提携校)

第12条 本学に姉妹校及び提携校を国内及び国外に置く。

2 姉妹校及び提携校からの学生の受け入れ、履修等については当該大学等との協定書による。

第5章 授業科目及び単位

(授業科目及び履修方法)

第13条 授業科目の種類及びその単位数は別表1のとおりとする。

2 本学は、教育上有益と認めるときは、前項以外の授業科目を開講することがある。

3 授業科目の履修方法は、別に定める「東京国際大学学部履修規程」によるものとする。

(単位の計算)

第14条 本学で開設する授業科目の単位の計算方法は次のとおりとする。

- (1) 1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、

次の基準により単位数を計算する。

- ア 講義、演習は、教室内における毎週1時間15週の授業をもって1単位とする。
- イ 外国語科目及び外国書講読は、教室内における毎週2時間15週の授業をもって1単位とする。
- ウ 実験、実習及び実技は、実習場等における毎週2時間15週の授業をもって1単位とする。

(2) 学生がその履修した授業科目の試験に合格したときは、当該授業科目の履修を修了した者と認め所定の単位を与える。

(3) 卒業論文については、必要な学修等を考慮してその成果を評価の上、合格したときは4単位を与える。

(遠隔授業による授業科目の履修)

第14条の2 本学において開設する授業科目の一部については、パソコンその他双方向のメディアを用いた遠隔授業を行うことがある。

2 前項の授業の方法により修得した単位は、卒業要件として修得すべき単位のうち60単位を超えないものとする。

(他大学又は短期大学の授業科目の履修)

第15条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本学で修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学に留学する場合及び外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第15条の2 本学が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、60単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなすことができる。

2 前項により、本学において修得したものとみなすことができる単位数は、前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(本学入学前の修得単位)

第16条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が入学前に他の大学、短期大学において修得した単位(本学、他の大学又は短期大学の科目等履修生として修得した単位を含む。)及び前条第1項の大学以外の教育施設等における学修を、60単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなすことができる。

2 前項により、本学において修得したものとみなすことができる単位数は、編入学及び学士入学の場合を除き、第15条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(教育職員免許状)

第17条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。この単位修得方法については、別に定める「教職課程履修規程」によるものとする。

2 本学の学部学科において当該所要資格を取得できる免許状の種類は、次の表に掲げるとおりとする。

学 部	学 科	教員の免許状の種類 (免許教科)	
人 間 社 会 学 部	人 間 ス ポ ー ツ 学 科	中学校教諭一種免許状	(保健体育)
		高等学校教諭一種免許状	(保健体育)

	スポーツ科学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	(保健体育) (保健体育)
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	(英語) (英語)

第18条 削除

第18条の2 削除

第18条の3 削除

第18条の4 削除

第18条の5 削除

第6章 試験及び評価

(試験)

第19条 試験は学期末又は学期内の一定時期に、定期試験及び追試験を行う。

2 前項の試験の実施要領は、別に定める「定期試験等実施要領」による。

(評価)

第20条 試験の評価は100点を満点とし、60点以上をもって合格とする。成績をA（96点以上100点）、A－（92点以上95点）、B＋（88点以上91点）、B（84点以上87点）、B－（80点以上83点）、C＋（76点以上79点）、C（72点以上75点）、C－（68点以上71点）、D＋（64点以上67点）、D（60点以上63点）、F（59点以下）により表示し、Fは不合格とする。

2 前項の定めにかかわらず、学長が指定する一部の科目についてはP (Pass) 及びF (Failure) による合否判定のみとすることがある。

第7章 卒業及び学位授与

(卒業)

第21条 本学卒業の要件は、次のとおりとする。

- (1) 本学に4年以上在学し、卒業に必要な所定の授業科目を履修し別表2に定める単位を修得した者には、学長より学士の学位を授与する。但し、別表2において必修とされる授業科目の一部について、履修すべき内容を既に修得しているとみなし得る学生については、学長の判断により当該必修授業科目の履修を免除し、他の科目の履修及び単位修得をもってこれに代替することを認めることができる。
- (2) 第2条第2項を適用する場合には、3年以上の在学で卒業を認めることができる。
- (3) 第1号の在学年数は、2年次編入学者については3年、3年次編入学者及び学士入学者については2年と読み替えるものとする。

2 本学において授与する学位の種類等は、別に定める「東京国際大学学位規程」による。

第22条 削除

第8章 入学、編入学、転部、転科、転学、留学、休学、退学、除籍、科目等履修生、外国人留学生、帰国生

第23条 削除

(入学資格)

第24条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (7) その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(入学志願)

第25条 入学志願者は、次の書類に入学検定料を添え、これを指定の日までに提出しなければならない。

- (1) 入学願書
- (2) 出身学校調査書

2 入学検定料及び入学検定料減免の取り扱いについては、別途定める。

(入学試験)

第26条 入学志願者に対しては、入学試験を行う。

2 入学試験に合格した者に対しては、所定の手続きの完了をまって、学長はこれに入学の認証を与えその入学を許可する。

(入学手続き)

第27条 入学を許可された者は、速やかに所定の書類を提出しなければならない。

(編入学)

第28条 他大学(短期大学を卒業した者、高等専門学校を卒業した者及び専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第82条の10の規定により大学に編入学することができる者を含む。)から本学に編入学を志望する者に対しては、受け入れの余裕がある場合に限り、本学の指示する受け入れ年次に選考により入学を許可することがある。

(学士入学)

第29条 学士の学位を有する者で本学に入学を志望する者に対しては、受け入れの余裕がある場合に限り、3年次に選考により入学を許可することがある。

(転部、転科)

第30条 本学在学者で他の学部への転部又は所属学部内での転科を志望する者に対しては、

相当な理由があり、かつ受け入れの余裕がある場合に、選考によりこれを許可することがある。

(転学)

第31条 他校に転学を志望する者は、事前に許可を受けなければならない。

(留学)

第32条 学生は、学長の承認を受けて在学中に国内外の大学に留学し学修することができる。

2 前項の承認を得て留学した期間は、第2条に定める修業年限に含めることができる。

3 留学の取り扱いについては、別に定める。

(休学)

第33条 病気その他やむを得ない事由により休学を願い出る者に対しては、これを許可することがある。ただし、休学許可の有効期間は当該学期とするが、事前に許可を受けた者はこの限りではない。

2 休学は、通算して4年を超えることができない。

3 第28条によって編入学した者の休学は、2年次編入学者については通算して3年、3年次編入学者については通算して2年を超えることができない。

4 第29条によって学士入学した者の休学は、通算して2年を超えることができない。

5 休学中の者も学費を納入しなければならない。ただし学費減免については別に定める。

6 休学者が復学しようとする場合は、許可を受けなければならない。

(休学の取り消し及び復学)

第34条 休学の理由が許可日から1か月以内に消滅したときは、休学取り消し願いを提出することができる。

2 休学期間が1か月以上を経過した場合の復学の時期は次学期の初めとし、許可を受けなければならない。

(退学)

第35条 退学しようとする者は、その理由を付し事前に許可を受けなければならない。

2 前項による退学者が再入学を希望する場合は、これを許可することがある。

(除籍)

第36条 次の各号の一に該当する者は、除籍とする。

(1) 理由なく指定期日までに学費を納入しない者

(2) 所定の休学期間終了後も復学しなかった者

(3) 在籍期間が第3条に定める限度を超えた者

(4) 第3条に定める在籍期間の限度内に卒業できないことが明らかになった者

(5) 本学から再三の連絡、呼び出し等に応じない者又は行方不明となった者

(6) その他本学の定める所定の手続きを怠った者

2 前項による除籍者については、原則として再入学を認めない。

(科目等履修生)

第37条 本学の学生以外の者で授業科目を履修し、単位の修得を希望する者に対しては、科目等履修生として許可することがある。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

第38条 削除

(外国人留学生、帰国生)

第39条 大学において教育を受ける目的をもって入国した外国人で、本学に入学を志望する

者に対しては、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

- 2 外国人留学生のための設置科目、履修方法、進級及び卒業の要件等については別に定める。
- 3 外国において相当期間中等教育（中学校又は高等学校に対応する学校教育）を受けて帰国した者で、本学を志望する者に対しては、選考の上、帰国生として入学を許可することがある。
- 4 帰国生のための設置科目、履修方法、進級及び卒業の要件等については別に定める。

第9章 納入金

（入学時納入金）

第40条 本学に入学を許可された者は、別に定める入学金及び学費を指定期日までに納入しなければならない。

- 2 入学手続きを完了した者が、指定期日までに入学辞退を申し出た場合は、入学金を除き学費を返還する。

（学費）

第40条の2 本学在学者の学費は、指定期日までに納入しなければならない。

- 2 既納の納入金は、指定期日までに休学又は退学の申し出があった場合、別の定めにより返還することがある。

（納入金の減免）

第41条 納入金減免の取り扱いについては、別に定める。

第10章 賞罰

（表彰）

第42条 他の学生の模範と認められる者に対して、常務会の議を経て学長がこれを表彰することがある。

- 2 表彰については、別に定める。

（懲戒）

第43条 学生が法令、学則その他諸規則に違反した場合及び建学の精神である公徳心に反する行為を行なった場合は、就学管理委員会の意見を徴し、常務会の議を経て学長がこれを懲戒する。

- 2 懲戒は、訓告、停学及び処分退学とする。
- 3 懲戒の判断に当たっては別に定める「東京国際大学学生懲戒判断基準」に、懲戒の手続き等については別に定める「学生の懲戒に関する規程」に、それぞれよるものとする。

（処分退学）

第44条 次の各号の一に該当する者は、処分退学とする。

- (1) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 - (2) 正当の理由がなくて出席常でない者
 - (3) 本学の秩序を乱す等、学生としての本分に反した者
 - (4) 性行不良と認められる者
- 2 前項による処分退学者については、再入学を認めない。

第11章 奨学金

(奨学金の給付及び特典の授与)

第45条 本学に各種の奨学金の給付及び特典の授与の制度を設ける。これについては別に定める。

第12章 学生生活及び諸手続き等

(学生生活)

第46条 学生生活一般に関する事項は、別に定める「学生生活規程」による。

(就職活動)

第47条 就職活動は、別に定める「就職活動心得」による。

(図書館利用)

第48条 図書館利用については、別に定める「図書館利用心得」による。

(諸手続き)

第49条 学籍、事務取り扱い及び通学等すべての諸手続きについては、別に定める「諸手続き心得」による。

第13章 教員及びその組織

(教員)

第50条 本学に学長、副学長、学部長及び学科長の役職を置く。これらの役職に補佐又は顧問を置くことができる。

2 本学に教授、准教授、専任講師、助教及び助手を置く。このほか、名誉教授、客員教員及び非常勤講師を置くことができる。これらについては別に定める。

(教授会)

第51条 本学に教授会を置く。

2 教授会は、教育及び研究に関する次の事項について学長に対し意見を具申する。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) その他、教育研究に関する重要事項で、教授会の意見を徴することが必要なものとして学長が定める事項

3 教授会の組織及び運営については、別に定める。

第52条 削除

第14章 海外交流プログラムに伴う大学及び教員の責任

(海外交流プログラムに伴う大学及び教員の責任)

第53条 海外交流プログラムに伴う大学及び教員の責任については、別に定める。

第15章 事務組織

(事務組織)

第54条 本学に事務職員を置く。

2 事務職員の組織については、別に定める。

第16章 改廃手続き

(改廃)

第55条 この学則の改廃は、理事会の議を経て、理事長がこれを行う。但し、文部科学大臣の認可を要する事項に係る変更については、当該認可を受けなければその効力を生じない。

附 則

本学則は、昭和40年4月1日より実施する。

附 則

本学則は、昭和44年9月22日改正する。

附 則

本学則は、昭和45年4月1日改正する。

附 則

- 1 本学則は、昭和50年4月1日改正する。
- 2 改正学則の施行日前に在学する学生に対し適用できない条項についてはなお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、昭和51年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、昭和52年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、昭和53年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、昭和54年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、昭和56年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお

従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、昭和57年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、昭和58年4月1日から改正施行する。ただし、第7条中商学部総学生定員については、年度により次のとおりとなるものとする。

昭和58年度	2,200名	昭和59年度	2,400名
昭和60年度	2,600名	昭和61年度以降	2,800名

- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、昭和60年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、昭和61年4月1日から改正施行する。ただし第7条の規定にかかわらず昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科 等	入 学 定 員
商 学 部	
商 学 科	850 人
教 養 学 部	
国 際 学 科	180 人
人 間 関 係 学 科	120 人
計	1,150 人

- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、昭和62年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、昭和63年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、平成元年4月1日から改正施行する。ただし第7条の規定にかかわらず平成元年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科 等	入 学 定 員
商 学 部	
商 学 科	450 人
経 営 情 報 学 科	250 人
経 済 学 部	
経 済 学 科	150 人
国 際 経 済 学 科	100 人
教 養 学 部	
国 際 学 科	180 人
人 間 関 係 学 科	120 人
計	1,250 人

- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、平成2年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、平成3年4月1日から改正施行する。ただし、第10条第2項及び別表3の改正については平成2年4月1日から適用する。
- 2 入学定員については、第7条の規定にかかわらず平成3年度から平成11年度までの間は、次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科 等	入 学 定 員
商 学 部	
商 学 科	450 人
経 営 情 報 学 科	250 人
経 済 学 部	
経 済 学 科	250 人
国 際 経 済 学 科	200 人
教 養 学 部	
国 際 学 科	180 人
人 間 関 係 学 科	120 人
計	1,450 人

- 3 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、平成3年7月1日から改正施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成4年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、別表4の改正学則の規定は適用しない。

附 則

- 1 本学則は、平成5年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、平成6年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成7年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生については、この改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 教養学部国際学科及び人間関係学科は、第7条の規定にかかわらず、平成7年3月31日に当該学部学科に在籍する者が当該学部学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとし、この附則に別段の定めのあるものを除き、教養学部に関しては、なお従前の例による。この場合において、教授会の構成員については、別に定めるところによる。
- 4 入学定員については、第8条の規定にかかわらず、平成7年度から平成11年度までの間は次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科 等	入 学 定 員
商 学 部 商 学 科	370 人
経営情報学科	230 人
経 済 学 部 経 済 学 科	250 人
国際経済学科	200 人
国際関係学部 国際関係学科	260 人
人間社会学部 社会文化学科	140 人
福祉心理学科	150 人

5 第8条の規定にかかわらず、平成7年度から平成14年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
商学部 商学科	1,720人	1,640人	1,560人	1,480人	1,480人	1,380人	1,280人	1,180人
経営情報学科	980人	960人	940人	920人	920人	870人	820人	770人
経済学部 経済学科	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	900人	800人	700人
国際経済学科	800人	800人	800人	800人	800人	700人	600人	500人
国際関係学部 国際関係学科	260人	520人	780人	1,040人	1,040人	980人	920人	860人
人間社会学部 社会文化学科	140人	280人	420人	560人	560人	520人	480人	440人
福祉心理学科	150人	300人	450人	600人	600人	600人	600人	600人
教養学部 国際学科	540人	360人	180人	—	—	—	—	—
人間関係学科	360人	240人	120人	—	—	—	—	—

附 則

この学則は、平成7年10月1日から改正施行する。

附 則

この学則は、平成8年4月1日から改正施行する。

附 則

この学則は、平成9年4月1日から改正施行する。ただし、改正後の別表4の規定については、平成9年度入学を志願する者から適用する。

附 則

この学則は、平成10年4月1日から改正施行する。

附 則

- この学則は、平成11年4月1日から改正施行する。
- 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、第13条別表1「教職に関する科目」、人間社会学部にあつては「教育職員免許に関する科目」及び「学芸員の資格に関する科目」並びに第21条別表2及び第22条別表3については、なお従前の例による。この場合において、別表2商学部商学科・経営情報学科に係る「注2」乃至「注4」の規定は除外する。

附 則

この学則は、平成11年9月1日から改正施行する。ただし、別表3の「3. 国際関係学部」及び「4. 人間社会学部」に係る進級の単位取得条件は、平成11年度入学生から適用する。

附 則

- この学則は、平成12年4月1日から改正施行する。
- 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、第15条及び第16条を除き、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 第8条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの各年度の各学部・学科

の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度
	人	人	人	人	人
商学部 商学科	360	350	340	330	320
経営情報学科	225	220	215	210	205
経済学部 経済学科	250	250	250	250	250
国際経済学科	180	160	140	120	100
国際関係学部 国際関係学科	254	248	242	236	230
人間社会学部 社会文化学科	136	132	128	124	120
福祉心理学科	150	150	150	150	150
計	1,555	1,510	1,465	1,420	1,375

- 4 第8条及び平成7年4月1日改正施行の附則第5項の規定にかかわらず、平成12年度から平成19年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度
	人	人	人	人	人	人	人	人
商学部 商学科	1,470	1,450	1,420	1,380	1,340	1,260	1,190	1,130
経営情報学科	915	905	890	870	850	810	775	745
経済学部 経済学科	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	900	800	700
国際経済学科	780	740	680	600	520	460	420	400
国際関係学部 国際関係学科	1,034	1,022	1,004	980	956	908	866	830
人間社会学部 社会文化学科	556	548	536	520	504	472	444	420
福祉心理学科	600	600	600	600	600	600	600	600
計	6,355	6,265	6,130	5,950	5,770	5,410	5,095	4,825

附 則

- この学則は、平成13年4月1日から改正施行する。
- 改正学則の施行日前から在籍する学生については、『第13条（授業科目及び履修方法）〔別表1〕中「商学部 商学科、経営情報学科」に係る専門科目及び「人間社会学部 福祉心理学科」に係る専門分野』並びに『第17条（教育職員免許状）第2項（免許教科）』並びに『第13条〔別表1〕中「商学部 経営情報学科」に係る教職に関する科目及び「人間社会学部 福祉心理学科」に係る教育職員免許に関する科目』を除き、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成13年9月1日から改正施行する。

附 則

- この学則は、平成14年4月1日から改正施行する。
- 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

- 3 第8条の規定にかかわらず、平成14年度から平成17年度までの各年度の各学部・学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度
	人	人	人	人
商学部 商学科	320	320	305	270
経営情報学科	220	220	220	180
経済学部 経済学科	250	250	250	150
国際経済学科	140	120	100	100
国際関係学部 国際関係学科	142	136	130	100
国際報道学科	100	100	100	100
人間社会学部 社会文化学科	128	124	120	100
福祉心理学科	150	150	150	150
計	1,450	1,420	1,375	1,150

- 4 第8条及び平成12年4月1日改正施行の附則第4項の規定にかかわらず、平成14年度から平成20年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度
	人	人	人	人	人	人	人
商学部 商学科	1,400	1,350	1,295	1,215	1,165	1,115	1,080
経営情報学科	895	885	880	840	800	760	720
経済学部 経済学科	1,000	1,000	1,000	900	800	700	600
国際経済学科	680	600	520	460	420	400	400
国際関係学部 国際関係学科	904	780	656	508	466	430	400
国際報道学科	100	200	300	400	400	400	400
人間社会学部 社会文化学科	536	520	504	472	444	420	400
福祉心理学科	600	600	600	600	600	600	600
計	6,115	5,935	5,755	5,395	5,095	4,825	4,600

附 則

この学則は、平成15年4月1日から改正施行する。

附 則

- この学則は、平成16年4月1日から改正施行する。
- 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては「第19条（試験）」を除き、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 第8条及び平成14年4月1日改正施行の附則第4項の規定にかかわらず、平成16年度から平成20年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次のとおりとする。

学 部・学 科 等		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
		人	人	人	人	人
商学部	商学科	230	460	690	920	920
	会計学科	110	220	330	440	440
	情報システム学科	110	220	330	440	440
経済学部	経済学科	950	900	850	800	800
	国際経済学科	520	460	420	400	400
国際関係学部	国際関係学科	656	538	526	520	520
	国際メディア学科	300	400	400	400	400
人間社会学部	社会文化学科	504	492	484	480	480
	福祉心理学科	600	600	600	600	600
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	125	250	375	500	500
商学部	商学科	990	640	320	—	—
	経営情報学科	660	440	220	—	—
計		5,500	5,755	5,620	5,545	5,500

附 則

この学則は、平成17年4月1日から改正施行する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から改正施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から改正施行する。
- 2 国際関係学部国際報道学科は、改正後の学則第7条及び第8条の規定にかかわらず、平成19年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間存続するものとし、当該学科の「第13条（授業科目及び履修方法）」、「第17条（教育職員免許状）」、「第21条（卒業）」及び「第22条（進級）」については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生は、当該学部の「第13条（授業科目及び履修方法）」、「第17条（教育職員免許状）」、「第21条（卒業）」及び「第22条（進級）」については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 第25条（入学志願）別表4の規定については、平成19年度入学を志願する者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成20年4月1日から改正施行する。
- 2 第13条（授業科目及び履修方法）別表1の規定に関する商学部、人間社会学部及び言語コミュニケーション学部の平成19年度以前の入学者の適用については、なお従前の例による。ただし、人間社会学部に規定する授業科目「質的調査法（2単位）」及び「社会調査実習（4単位）」の履修については、平成18年度以前の入学者にも適用し、言語コミュニケーション学部に規定する「Ⅲ.3 英語教育エリア」の授業科目については、平成19年度以前の入学者にも適用する。
- 3 第21条（卒業）別表2の規定に関する商学部及び言語コミュニケーション学部の平成19年度以前の入学者の適用については、なお従前の例による。経済学部については、平成19年度以前の入学者にも適用する。
- 4 第22条（進級）別表3の規定に関する商学部及び言語コミュニケーション学部の平成19年度以前の入学者の適用について、商学部は、経営情報学科を除き、平成19年度以前の入学者にも適用し、言語コミュニケーション学部については、なお従前の例による。
- 5 第25条（入学志願）の規定については、平成20年度入学を志願する者から適用する。
- 6 第30条（転部、転科）の規定については、平成19年度以前の入学者にも適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から改正施行する。
- 2 商学部会計学科及び情報システム学科は、改正後の学則第7条及び第8条の規定にかかわらず、改正学則の施行日前から在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、当該学科の「第13条（授業科目及び履修方法）」、「第17条（教育職員免許状）」、「第21条（卒業）」及び「第22条（進級）」については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 第40条（入学時納入金）別表4の規定については、平成21年度入学を志願する者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
ただし、人間社会学部に規定する授業科目「生涯スポーツ論」、「ダンスファンダメンタル」、「スポーツ科学実習Ⅲ」、「比較舞踏論」については、平成21年度入学者にも適用する。
- 3 商学部旧商学科（平成15年度以前教育課程適用）を平成22年4月1日をもって廃止する。
- 4 商学部経営情報学科を平成22年4月1日をもって廃止する。

附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から改正施行する。

- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 第4条（学年）第1項及び第2項並びに第5条（学期）の規定については、改正学則の施行日前から在学する学生に対しても適用する。
- 4 第13条（授業科目及び履修方法）別表1商学部規定する授業科目「英語特論*」、「特別実習*」、「Global Studies 特別実習演習*」及び人間社会学部に規定する授業科目「特別実習」並びに商学部、経済学部、国際関係学部、人間社会学部及び言語コミュニケーション学部規定する「教職実践演習（中・高）」の履修については、改正学則の施行日前から在学する学生に対しても適用する。
- 5 第21条（卒業）別表2商学部は、改正学則の施行日前から在学する学生に対しても適用する。
- 6 第21条（卒業）第3項は、平成22年12月22日から改正施行し、平成22年度卒業有資格者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 人間社会学部社会文化学科は、改正後の学則第7条及び第8条の規定にかかわらず、平成24年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間存続するものとし、当該学科の「第13条（授業科目及び履修方法）」、「第17条（教育職員免許状）」、「第18条（学芸員）」、「第21条（卒業）」及び「第22条（進級）」については、なお従前の例による。
- 4 第13条（授業科目及び履修方法）別表1商学部、経済学部規定する「キャリアプランニングⅡ*」「キャリアプランニングⅢ*」及び言語コミュニケーション学部、国際関係学部、人間社会学部に規定する「キャリアプランニングⅡ」「キャリアプランニングⅢ」及び5学部で規定する「特別実習Ⅰ」「特別実習Ⅱ」「特別実習Ⅲ」「特別実習Ⅳ」、「Global Studies 特別実習演習Ⅰ」「Global Studies 特別実習演習Ⅱ」「Global Studies 特別実習演習Ⅲ」「Global Studies 特別実習演習Ⅳ」の履修については、改正学則の施行日前から在学する学生に対しても適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から改正施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、本改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 商学部会計ファイナンス学科及び情報ビジネス学科は、改正後の学則第7条及び第8条の規定にかかわらず、平成25年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間存続するものとし、当該学科の「第13条（授業科目及び履修方法）」、「第17条（教育職員免許状）」、「第21条（卒業）」及び「第22条（進級）」については、なお従前の例による。
- 4 第2条（修業年限）第2項及び第21条（卒業）第1項第2号の規定については、改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。
- 5 第13条（授業科目及び履修方法）別表1商学部、経済学部、国際関係学部、人間社会学部、言語コミュニケーション学部規定する「英語特論」の履修については、改正学則の施

行日前から在学する学生についても適用する。

- 6 第13条(授業科目及び履修方法)別表1経済学部規定する「地域経済論Ⅰ」、「地域経済論Ⅱ」、「産業立地論」、「地域環境論」、「観光学概論」、「地域デザイン」の履修については、改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。
- 7 第13条(授業科目及び履修方法)別表1国際関係学部規定する「特別授業Ⅰ」、「特別授業Ⅱ」の履修については、改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。
- 8 第13条(授業科目及び履修方法)別表1人間社会学部に規定する「応急スポーツ実習Ⅰ」、「健康スポーツ実習Ⅱ」、「応用スポーツ医学Ⅰ」、「応用スポーツ医学Ⅱ」、「応用スポーツ医学Ⅲ(含実習)」、「健康産業施設等現場実習」、「海外ゼミナールⅠ(2)」、「海外ゼミナールⅠ(3)」、「海外ゼミナールⅡ」、「特別授業Ⅰ」、「特別授業Ⅱ」の履修については、改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。
- 9 第21条(卒業)別表2国際関係学部規定する(注2)は、改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。
- 10 第21条(卒業)別表2人間社会学部福祉心理学科に規定する「福祉心理学科の専門分野の授業科目のうち、選択必修科目単位として卒業に必要な単位数以上修得した単位及び本学の他学科の単位より」の定めは、改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。
- 11 第21条(卒業)別表2人間社会学部人間スポーツ学科に規定する「人間スポーツ学科の専門分野の授業科目のうち、選択必修科目単位として卒業に必要な単位数以上修得した単位及び本学の他学科の単位より」の定めは、改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。
- 12 第21条(卒業)別表2人間社会学部スポーツ科学科に規定する「スポーツ科学科の専門分野の授業科目のうち、選択必修科目単位として卒業に必要な単位数以上修得した単位及び本学の他学科の単位より」の定めは、改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。

附 則

この学則は、平成25年11月1日から改正施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成26年4月1日から改正施行する。
- 2 本改正学則の施行により学生募集が停止される経済学部国際経済学科は、平成26年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまで存続するものとし、改正前学則の当該学科に係る諸規定が引き続き適用されるものとする。
- 3 第43条(懲戒)第3項の規定は、改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。
- 4 第13条(授業科目及び履修方法)別表1商学部、経済学部、国際関係学部、人間社会学部、言語コミュニケーション学部規定する「Community Project Workshop 基礎1」、「Community Project Workshop 基礎2」、「Community Project Workshop 基礎3」、「Community Project Workshop A」、「Community Project Workshop B」、「Community Project Workshop C」の履修については、改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。
- 5 第13条(授業科目及び履修方法)別表1国際関係学部規定する「観光ビジネス論」、「観光マーケティング論」、「観光魅力創造論」、「観光マネジメント論」、「MICE産業論」、「観光コミュニケーション論」、「観光実務研修Ⅰ」、「観光実務研修Ⅱ」、「観光実務研

修Ⅲ」、「観光先進地研修Ⅰ」、「観光先進地研修Ⅱ」、「観光先進地研修Ⅲ」の履修については、改正学則の施行日前から在学する学生に対しても適用する。

- 6 第13条（授業科目及び履修方法）別表1言語コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科の授業科目中の「教育心理学」に係わる科目変更については、当該科目変更に係わる改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この改正学則は、平成26年5月28日から施行する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 第13条（授業科目及び履修方法）別表1人間社会学部に規定する「教職特別講座Ⅰ」、「教職特別講座Ⅱ」の履修については、平成26年度入学生から適用する。
- 3 第13条（授業科目及び履修方法）別表1国際関係学部の授業科目中の「メディア理論」、「メディア産業論」の区分変更及びこれに伴う第21条（卒業）別表2の3-2国際関係学部国際メディア学科の卒業要件単位数の変更は、本改正学則の施行日以降の入学生より適用する。
- 4 第13条（授業科目及び履修方法）別表1経済学部の授業科目中の「教養基礎*」、「法と政治基礎*」及び「ファイナンス特別演習*」の履修及び、第21条（卒業）別表2の2-1経済学部経済学科の（注3）の変更については、本改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。
- 5 第13条（授業科目及び履修方法）別表1商学部、同経済学部、同国際関係学部、同人間社会学部の授業科目中の「Advanced Listening A」、「Advanced Listening B」、「Advanced Listening C」、「Advanced Speaking A」、「Advanced Speaking B」、「Advanced Speaking C」、「Advanced Reading A」、「Advanced Reading B」、「Advanced Reading C」、「Advanced Writing A」、「Advanced Writing B」及び「Advanced Writing C」の履修については、本改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。
- 6 第21条（卒業）別表2の1-1商学部商学科及び同1-2商学部経営学科の脚注の変更については、本改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。

附 則

この改正学則は、平成27年9月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成28年3月16日から施行する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 改正学則の施行日前から在学する学生については、この改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。但し本附則4ないし7に規定するものについては、この限りでない。
- 3 第8条の規定にかかわらず、平成28年度から平成30年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次の通りとする。

学 部	学 科	平成28年度	平成29年度	平成30年度
商 学 部	商 学 科	950名	900名	850名
	経 営 学 科	550名	500名	450名
経 済 学 部	経 済 学 科	965名	1,020名	1,020名
	国際経済学科	100名	—	—
国際関係学部	国際関係学科	540名	560名	580名
	国際メディア学科	400名	400名	400名
人間社会学部	福祉心理学科	350名	300名	250名
	人間スポーツ学科	660名	760名	820名
	スポーツ科学科	640名	680名	720名
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	565名	620名	670名
	中国言語文化学科	100名	80名	60名
計		5,820名	5,820名	5,820名

- 4 第13条（授業科目及び履修方法）別表1「商学部」、「経済学部」、「国際関係学部」、「人間社会学部」及び「言語コミュニケーション学部」に規定する「Advanced Speaking & Listening A～C」及び「Advanced Reading & Writing A～C」の履修については、改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。
- 5 第13条（授業科目及び履修方法）別表1「商学部」に規定する「ウェブアプリ論」、「プログラミング基礎」及び「表計算プログラミング」並びに、「国際関係学部」に規定する「東アジア安全保障論」、「中国の政治と外交」及び「国際関係学部特殊講義A・B」の履修については、改正学則の施行日前から在学する学生についても適用する。
- 6 第21条（卒業）別表2について、改正学則の施行日前から在学する学生のための経過措置を次の通りとする。

別表2（第7章第21条）

1-1, 2 商学部商学科/経営学科

2～4年次：外国語科目を習得した場合は「自由選択」に算入する。

2～3年次：演習（2），（3），（4）卒業論文を修得した場合は「専門科目：選択」に算入する。

平成28年度4年次生

授業科目区分		卒業要件単位数		
基本科目	必修	演習（1）	4	16
	選択	基本科目一般	12	
		健康・スポーツ実習	（注1）	
		特別実習	（注2）	
専門科目	必修	演習（2）、（3）、（4）	12	16
		卒業論文	4	
	選択	学科内専門共通科目（注3）	4	60
		専門分野別科目		
		海外ゼミナール及び特別授業		
		その他		

自由選択 (注 6)	32
合計	124

平成 28 年度 2～3 年次生

授業科目区分		卒業要件単位数		
基本科目	必修	演習 (1)	4	16
	選択	基本科目一般	12	
		健康・スポーツ実習	(注 1)	
		特別実習	(注 2)	
専門科目	選択	学科内専門共通科目 (注 3)	4	76
		演習 (2)、(3)、(4)、卒業論文		
		専門分野別科目		
		海外ゼミナール及び特別授業		
		その他		
自由選択 (注 6)		32		
合計		124		

(注1) 健康・スポーツ実習は 8 単位まで卒業単位として認定するが、この修得単位はすべて「自由選択」に算入される。この授業科目は同一種類・種目のものを重ねて履修することができる。

(注 2) 特別実習は 8 単位まで卒業単位として認定するが、この修得単位はすべて「自由選択」に算入される。

(注 3) 学科内専門共通科目で 4 単位を超えて修得した単位は、専門科目の単位として取り扱う。

(注 4) 公務員対策講座 (教養) 及び公務員対策講座 (専門) は、それぞれ 8 単位を上限にして専門科目の卒業単位として算入される。これを超えて修得した単位は自由選択として卒業要件に算入される。

(注 5) 会計学特論 (資格取得講座) は、16 単位を上限にして専門科目の卒業単位として算入される。これを超えて修得した単位は自由選択として卒業単位に算入される。

(注 6) 自由選択は基本科目、専門科目で規定以上に修得した単位数が算入される。健康・スポーツ実習については注 1 のとおり、特別実習については注 2 のとおり修得単位はここに算入する。なお、教員免許状取得単位充足者に限っては、教職科目の修得単位を 8 単位までここに算入することができる。

2-1 経済学部 2013 年度以前入学者

2～4 年次：外国語科目を修得した場合は「その他」に算入する。

2～3 年次：演習 (2) ～ (4) ，卒業論文を修得した場合は「その他」に算入する。

平成 28 年度 4 年次生

区分		卒業要件単位数	
共通必修科目	演習 (1)	4	20
	演習 (2)	4	

	演習 (3)	4	
	演習 (4)	4	
	卒業論文	4	
入門科目	必修	2	6
	選択必修	4	
基礎科目	必修	4	
総合教育科目	選択必修	8	
健康スポーツ科目		-	
全学共通科目		-	
コース別専門科目	選択必修	8	28
	選択	20	
その他		58	
合計		124	

平成 28 年度 2～3 年次生

区分		卒業要件単位数	
共通必修科目	演習 (1)	4	6
	必修	2	
入門科目	選択必修	4	
	必修	4	
基礎科目	必修	4	
総合教育科目	選択必修	8	
健康スポーツ科目		-	
全学共通科目		-	
コース別専門科目	選択必修	8	28
	選択	20	
その他		74	
合計		124	

(注 1) 所属コース以外の経済学部専門科目の修得した単位は「その他」に算入する。また、各区分において必要単位数を超えて単位修得したものについては「その他」に算入することができる。

(注 2) 入学後、以下の各検定試験において定められた基準または要件を満たした者は、申請により必要な単位のうち「自由選択科目」各 2 単位としての認定申請をすることができる。なお、単位認定を行うのは各基準または要件を満たしたことを証明する書面（所定様式）が提出された当該年度の年度末とする。

(1) 経済学検定試験 ERE の「ミクロ経済学・マクロ経済学」：偏差値 50 以上のスコアを認定

(2) TOEFL CBT：110, PBT：420, IBT：36 以上のスコアを認定

(3) TOEIC：450 以上のスコアを認定

(4) ファイナンシャル・プランニング技能検定：3 級以上を認定

(注 3) 海外文献研究の修得単位を外国語分野の修得単位に変更したい場合は、所定の手続きを行わなければならない。

(注4) 総合教育科目に配置されている文化人類学の修得単位を、コース別の専門科目の修得単位に変更したい場合は、所定の手続きを行わなければならない。

2-2 経済学部経済学科

2014, 2015 年度現代経済専攻入学者

平成 28 年度 2～3 年次生

4 単位を超えたプレミナール、ゼミナールⅠ、Ⅱ、卒業論文、外国語科目を修得した場合は「自由選択科目」に算入する。

区分・科目		経済総合	地域デザイン	スポーツ経済
必修科目	プレゼミナール	4	4	4
選択必修科目Ⅰ	経済学入門* (2 単位)、経済の歴史* (2 単位)、哲学、数学Ⅰ、心理学、法学、国際関係論、Principles of Economics、Introduction to International Relations から	6	6	6
選択必修科目Ⅱ	地域デザインコースは地域・公共分野から スポーツ経済コースはスポーツ分野から	0	14	14
自由選択科目		114	100	100
合計		124	124	124

2014, 2015 年度ビジネスエコノミクス専攻入学者

平成 28 年度 2～3 年度生

4 単位を超えたプレワークショップ、ワークショップ、ビジネスイングリッシュを除く外国語科目を修得した場合は「自由選択科目」に算入する。

区分・科目		ファイナンス	ストラテジスト
必修科目	プレワークショップ	4	4
	経済学入門	2	2
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2
	キャリアデザイン	2	2
	外国語：ビジネスイングリッシュ	4	4
選択必修科目Ⅰ	経済理論分野・E-Track 科目・ビジネスプレゼンテーション	10	10
選択必修科目Ⅱ	ファイナンスコースはファイナンス分野から ストラテジストコースは戦略分野から	14	14
自由選択科目		86	86
合計		124	124

(注1) ビジネスエコノミクス専攻における選択科目Ⅱの14単位には、必修科目、選択必修科目Ⅰとして修得した単位を含まない。

(注2) 入学後、以下の各検定試験において定められた基準または要件を満たした者は、申請により必要な単位のうち「自由選択科目」各2単位としての認定申請をすることができる。なお、単位認定を行うのは各基準または要件を満たしたことを証明する書面（所定様式）が提出された当該年度の年度末とする。

(1) 経済学検定試験 ERE の「マイクロ経済学・マクロ経済学」：偏差値 50 以上のスコアを認定

(2) TOEFL CBT：110, PBT：420, IBT：36 以上のスコアを認定

(3) TOEIC：450 以上のスコアを認定

(4) ファイナンシャル・プランニング技能検定：3 級以上を認定

3-1 国際関係学部 国際関係学科

2～3 年次：演習Ⅱ～Ⅳ、卒業論文を修得した場合は「専門分野：選択：その他」に算入する。

平成 28 年度 4 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本分野	必修	演習Ⅰ	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	①実習	12	20
		②現代社会		
		③ことば・思想		
		④科学技術		
		⑤健康・スポーツ		
⑥外国語（英語以外）				
必修	⑦英語	10		
専門分野	必修	演習Ⅱ	4	16
		演習Ⅲ	4	
		演習Ⅳ	4	
		卒業論文	4	
	選択必修	学科専門分野①	4	36
		学科専門分野②	4	
		学科専門分野③	4	
		学科専門分野④	4	
		学科間共通		
	選択	その他	36	
合計			124	

平成 28 年度 2～3 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本分野	必修	演習 I	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	①実習	12	20
		②現代社会		
		③ことば・思想		
		④科学技術		
		⑤健康・スポーツ		
⑥外国語（英語以外）				
必修	⑦英語	10		
選択必修	学科専門分野①	4	36	
	学科専門分野②	4		
	学科専門分野③	4		
	学科専門分野④	4		
	学科間共通			
選択	その他	52		
合計			124	

(注 1) ⑦の英語の単位には、申請により本学が認定した英検・TOEFL・TOEIC の所定の級又はスコアによる単位を含めることができる。

(注 2) E-Track 及び他学部の科目は、上記卒業要件に算入することができる。算入する区分は学部履修規程による。

3-2 国際関係学部 国際メディア学科

2～3 年次：演習Ⅱ～Ⅳ、卒業論文を修得した場合は「専門分野：選択：その他」に算入する。

2014 年度以前入学者 平成 28 年度 4 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本分野	必修	演習 I	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	①実習	12	20
		②現代社会		
		③ことば・思想		
		④科学技術		
		⑤健康・スポーツ		
⑥外国語（英語以外）				
必修	⑦英語	10		
専門分野	必修	演習Ⅱ	4	20
		演習Ⅲ	4	
		演習Ⅳ	4	
		卒業論文	4	
		メディア理論	2	

		メディア産業論	2	
	選択必修	学科専門分野①	32	
		学科専門分野②		
		学科専門分野③		
		学科専門分野④		
		学科間共通		
	選択	その他	36	
合計			124	

2014年度以前入学者 平成28年度3年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本分野	必修	演習Ⅰ	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	①実習	12	20
		②現代社会		
		③ことば・思想		
		④科学技術		
		⑤健康・スポーツ		
⑥外国語（英語以外）				
必修	⑦英語	10		
専門分野	必修	メディア理論	2	4
		メディア産業論	2	
	選択必修	学科専門分野①	32	
		学科専門分野②		
		学科専門分野③		
		学科専門分野④		
		学科間共通		
選択	その他	52		
合計			124	

2015年度入学者 平成28年度2年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本分野	必修	演習Ⅰ	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	①実習	12	20
		②現代社会		
		③ことば・思想		
		④科学技術		
		⑤健康・スポーツ		
⑥外国語（英語以外）				
必修	⑦英語	10		
専門分野	選択必修	学科専門分野①	36	

		学科専門分野②	
		学科専門分野③	
		学科専門分野④	
		学科間共通	
	選択	その他	52
合計			124

(注 1) ⑦の英語の単位には、申請により本学が認定した英検・TOEFL・TOEIC の所定の級又はスコアによる単位を含めることができる。

(注 2) E-Track 及び他学部の科目は、上記卒業要件に算入することができる。算入する区分は学部履修規程による。

4-1、2 人間社会学部 福祉心理学科/人間スポーツ学科

2～4年次：英語を修得した場合は「基本分野：選択必修」に算入する

2～3年次：「専門分野：必修」の科目を修得した場合は「専門分野：選択：その他」に算入する。

平成 28 年度 4 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数
基本分野	必修	①演習 I	4
	選択必修	②実習	26
		③現代社会	
		④ことば・思想	
		⑤科学技術	
		⑥健康・スポーツ	
		⑦外国語（英語以外）	
		⑧英語	
専門分野	必修	演習 II	4
		演習 III	4
		演習 IV	4
		卒業論文	4
	選択必修	学科間共通	16
		学科間共通を除く専門	20
	選択	その他	42
合計			124

平成 28 年度 2～3 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数
基本分野	必修	①演習 I	4
	選択必修	②実習	26
		③現代社会	

		④ことば・思想	
		⑤科学技術	
		⑥健康・スポーツ	
		⑦外国語（英語以外）	
		⑧英語	
専門分野	選択必修	学科間共通	16
		学科間共通を除く専門	20
	選択	その他	58
合計			124

4-3 人間社会学部 スポーツ科学科

2～4年次：英語を修得した場合は「基本分野：選択必修」に算入する。

2～3年次：「専門分野：必修」の科目を修得した場合は「専門分野：選択：その他」に算入する。

平成28年度 4年次生

授業科目区分			卒業要件単位数
基本分野	必修	①演習Ⅰ	4
	選択必修	②実習	26
		③現代社会	
		④ことば・思想	
		⑤科学技術	
		⑥健康・スポーツ	
		⑦外国語（英語以外）	
		⑧英語	
専門分野	必修	演習Ⅱ	4
		演習Ⅲ	4
		演習Ⅳ	4
		卒業論文	4
		必修科目	12
	選択必修	学科間共通	14
		学科間共通を除く専門	30
	選択	その他	22
合計			124

平成28年度 2～3年次生

授業科目区分			卒業要件単位数
基本分野	必修	①演習Ⅰ	4
	選択必修	②実習	26
		③現代社会	

		④ことば・思想	
		⑤科学技術	
		⑥健康・スポーツ	
		⑦外国語（英語以外）	
		⑧英語	
専門分野	選択必修	学科間共通	14
		学科間共通を除く専門	30
	選択	その他	50
合計			124

5-1 言語コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科

2～4年次：I語学科目 I-2 マルチリンガル・コミュニケーション・スキルズの科目の単位を修得した場合は「その他」に算入する。

専門科目のコース制を廃止し、専門科目の卒業要件を「専門科目から16単位修得」に変更する。

2～3年次：演習Ⅱ～Ⅳ、卒業研究の単位を修得した場合は「その他」に算入する。

平成28年度 4年次生

科目系列		必修	選択	合計
I語学科目	I-1 英語コミュニケーション・スキルズ	20	14	34
	I-3 日本語コミュニケーション・スキルズ	2	-	2
II基本科目		5	6	11
III専門科目		-	16	16
V演習 キャリアプランニング科目		20	-	20
その他（科目系列の区分を問わない）		-	41	41
合計				124

平成28年度 2～3年次生

科目系列		必修	選択	合計
I語学科目	I-1 英語コミュニケーション・スキルズ	20	14	34
	I-3 日本語コミュニケーション・スキルズ	2	-	2
II基本科目		5	6	11
III専門科目		-	16	16
V演習 キャリアプランニング科目		4	-	4
その他（科目系列の区分を問わない）		-	57	57
合計				124

5-2 言語コミュニケーション学部 中国言語文化学科

2～4年次：英語コミュニケーション・スキルズの必修科目を選択科目化する。

2～3年次：演習Ⅱ～Ⅳ、卒業研究を修得した場合は「その他」に算入する。

平成28年度 4年次生

授業科目区分	卒業要件単位数
--------	---------

Ⅰ. 語学科目	必修	I.1 中国語コミュニケーション・スキルズ	22
		I.3 日本語コミュニケーションスキルズ	2
	選択	I.1 中国語コミュニケーション・スキルズ	6
		I.2 英語コミュニケーション・スキルズ	
Ⅰ. 語学科目合計			30
Ⅱ. 基本科目	必修	言語学入門、コミュニケーション学、日本の文化、ICT基礎Ⅰ	7
	選択		4
	Ⅱ. 基本科目合計		
Ⅲ. 専門科目	必修	中国語学概論、中国思想概論、中国文学概論	6
	選択		10
	Ⅲ. 専門科目合計		
Ⅳ. 特別プログラム	選択		-
Ⅴ. 演習・キャリアプランニング	必修	演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、演習Ⅳ	16
		卒業研究	4
	Ⅴ. 演習・キャリアプランニング合計		
その他（科目系列の区分を問わない）			47
合計			124

平成 28 年度 2～3 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数
Ⅰ. 語学科目	必修	I.1 中国語コミュニケーション・スキルズ	22
		I.3 日本語コミュニケーションスキルズ	2
	選択	I.1 中国語コミュニケーション・スキルズ	6
		I.2 英語コミュニケーション・スキルズ	
Ⅰ. 語学科目合計			30
Ⅱ. 基本科目	必修	言語学入門、コミュニケーション学、日本の文化、ICT基礎Ⅰ	7
	選択		4
	Ⅱ. 基本科目合計		
Ⅲ. 専門科	必修	中国語学概論、中国思想概論、中国文学	6

目		概論	
	選択		10
	Ⅲ. 専門科目合計		16
IV. 特別プログラム	選択		-
V. 演習・キャリアプランニング	必修	演習 I	4
	V. 演習・キャリアプランニング合計		4
その他（科目系列の区分を問わない）			63
合計			124

7 第 22 条（進級）について、改正学則の施行日前から在学する学生のための経過措置を次の通りとする。

- ・ 商学部各学科の 2 年次及び 3 年次の進級要件はこれを廃止する。
- ・ 商学部各学科の 4 年次進級要件は以下のとおりとする。
 - 平成 21～24 年度入学生：卒業要件単位数として 84 単位以上修得していること
 - 平成 25 年度入学生：卒業要件単位数として 72 単位以上修得していること
 - 平成 26～27 年度入学生：進級要件を廃止する。
- ・ 経済学部、言語コミュニケーション学部、国際関係学部、人間社会学部の各学科・専攻の 2 年次、3 年次および 4 年次の進級要件は、これを廃止する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 8 条の規定にかかわらず、平成 29 年度から平成 31 年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
商学部	商学科	820 名	690 名	560 名
	経営学科	500 名	450 名	400 名
経済学部	経済学科	1,120 名	1,220 名	1,320 名
国際関係学部	国際関係学科	610 名	680 名	750 名
	国際メディア学科	400 名	400 名	400 名
人間社会学部	福祉心理学科	300 名	250 名	200 名
	人間スポーツ学科	770 名	840 名	910 名
	スポーツ科学科	690 名	740 名	790 名
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	690 名	810 名	930 名
	中国言語文化学科	70 名	40 名	10 名
計		5,970 名	6,120 名	6,270 名

附 則

この改正学則は、平成 28 年 5 月 26 日から施行する。

附 則

- 1 この改正学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 改正学則第17条第2項は、当該改正の施行日前から在学する学生については適用せず、なお従前の例によるものとする。

附 則

- 1 この改正学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 別表1に係る改正のうちグローバル・コースについての部分は、改正学則の施行日前から在学する学生に対しては、これを適用せず、なお従前の例によるものとする。

附 則

- 1 この改正学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 改正学則第17条第2項は、当該改正の施行日前から在学する学生については適用せず、なお従前の例によるものとする。
- 3 第21条（卒業）別表2に係る改正（平成28年4月1日施行）時の附則6に定める各学部・学科の卒業要件経過措置の適用を受ける平成28年度4年次生で、当該年度終了時に卒業しなかった者は、翌年度以降、当該附則に定める平成28年度2～3年次生を対象とする各学部・学科の卒業要件経過措置の適用を受けるものとする。
- 4 改正学則の施行日前からイングリッシュ・トラックに在学する学生については、別表1「イングリッシュ・トラック」及び別表2「6-1イングリッシュ・トラック」に係る取扱を次の通りとする。
 - (1) 別表1に掲げるイングリッシュ・トラックの授業科目のうち、改正学則で名称変更となった旧日本語科目を既に履修した者は、再度履修することはできない。

科目名（2017年度以降）	科目名（2016年度以前）
Intensive Basic Japanese I	Basic Japanese I
Intensive Basic Japanese II	Intensive Japanese II
Intensive Intermediate Japanese I	Intensive Japanese III
Intensive Intermediate Japanese II	Intensive Japanese IV
Intermediate Japanese IA	Intermediate Japanese I
Intermediate Japanese IB	Intermediate Japanese II
Japanese Project	Japanese Project A
Business Japanese	Japanese Project B

- (2) 別表1に掲げるイングリッシュ・トラックの授業科目のうち、次に掲げる科目を既に履修した者は、単位数変更となった同一科目を再度履修することはできない。
 - 「IT Literacy」（2単位）
 - 「Economic Development in Asia」（2単位）
 - 「Economic History of Japan」（2単位）
- (3) 別表1に掲げるイングリッシュ・トラックの授業科目のうち「How to Succeed at TIU and Beyond」は、これを履修することができない。
- (4) 第21条（卒業）別表2について、次表の通り経過措置を設ける。

別表2（第7章 第21条）
6-1 イングリッシュ・トラック

Categories		Required Credits		Total
General Education	Academic Literacy	16 Credits	36 Credits	124 Credits
	Liberal Arts	20 Credits		
Major Courses		32Credits from designated Major		
Japan Studies		16 Credits		
Electives (including Japanese)		40 Credits		

- 5 第21条(卒業)別表2の言語コミュニケーション学部に係る改正は、2015年度以前に同学部に入学者についてはこれを適用せず、次の通りとする。

2015年度以前入学者

5-1 言語コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科

科目系列		必修	選択	合計
I 語学 科目	I-1 英語コミュニケーション・スキルズ ⁶	20	14	34
	I-3 日本語コミュニケーション・スキルズ ⁶	2	—	2
II 基本科目		5	6	11
III 専門科目		—	16	16
V 演習 キャリアプランニング ⁶ 科目		4	—	4
その他(科目系列の区分を問わない)		—	57	57
合 計				124

5-2 言語コミュニケーション学部 中国言語文化学科

授業科目区分			卒業要件単位数
I 語学科目	必修	I.1 中国語コミュニケーション・スキルズ ⁶	22
		I.3 日本語コミュニケーション・スキルズ ⁶	2
	選択	I.1 中国語コミュニケーション・スキルズ ⁶	6
		I.2 英語コミュニケーション・スキルズ ⁶	
I 語学科目合計			30
II 基本科目	必修	言語学入門, コミュニケーション学, ICT基礎I	5
	選択		6
	II 基本科目合計		11
III 専門科目	必修	中国語学概論, 中国思想概論, 中国文学概論	6
	選択		10
	III 専門科目合計		16
IV 特別プログラム	選択		—
V 演習・キャリア プランニング ⁶	必修	演習I	4
	V 演習・キャリアプランニング ⁶ 合計		4

その他（科目系列の区分を問わない）	63
合 計	124

附 則

- この改正学則は、2017年5月25日から施行する。
- 前条にかかわらず、第38条の削除及び第43条の改正については、2017年4月1日に遡って施行する。
- 第22条（進級）の削除に係る2016年4月1日施行の改正時の附則7を削除し、同附則2の但し書を次の通り変更する。この附則改正は、本附則第1条にかかわらず、2016年4月1日に遡って施行する。
「但し、本附則4ないし6に規定するものについては、この限りでない。」
- 第21条（卒業）別表2に係る2016年4月1日施行の改正時の附則6を次の通り改正し、本附則第1条にかかわらず2016年4月1日に遡って施行する。

別表2（第7章第21条）

1-1, 2 商学部商学科/経営学科

2～4年次：外国語科目（外国人留学生の特例適用者については日本語を含む）を修得した場合は「自由選択」に算入する。

2～3年次：演習（2）、（3）、（4）卒業論文を修得した場合は「専門科目：選択」に算入する。

平成28年度4年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本科目	必修	演習（1）	4	16
		基本科目一般	12	
	選択	健康・スポーツ実習	（注1）	
		特別実習	（注2）	
専門科目	必修	演習（2）、（3）、（4）	12	16
		卒業論文	4	
	選択	学科内専門共通科目（注3）	4	60
		専門分野別科目		
		海外ゼミナール及び特別授業		
		その他		
自由選択（注6）			32	
合計			124	

平成28年度2～3年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本科目	必修	演習（1）	4	16
		基本科目一般	12	
	選択	健康・スポーツ実習	（注1）	
		特別実習	（注2）	
専門科目	選択	学科内専門共通科目（注3）	4	76
		演習（2）、（3）、（4）、卒業論		

	文			
	専門分野別科目			
	海外ゼミナール及び特別授業			
	その他			
自由選択 (注 6)		32		
合計		124		

(外国人留学生特例適用者) 平成 28 年度 4 年次生

授業科目区分		卒業要件単位数		
基本科目	必修	演習 (1)	4	16
	選択	基本科目一般	12	
		健康・スポーツ実習	(注 1)	
		特別実習	(注 2)	
専門科目	必修	演習 (2)、(3)、(4)	12	16
		卒業論文	4	
	選択	学科内専門共通科目 (注 3)	4	50
		専門分野別科目		
		海外ゼミナール及び特別授業		
		その他		
自由選択 (注 6)		42		
合計		124		

(外国人留学生特例適用者) 平成 28 年度 2~3 年次生

授業科目区分		卒業要件単位数		
基本科目	必修	演習 (1)	4	16
	選択	基本科目一般	12	
		健康・スポーツ実習	(注 1)	
		特別実習	(注 2)	
専門科目	選択	学科内専門共通科目 (注 3)	4	66
		演習 (2)、(3)、(4)、卒業論文		
		専門分野別科目		
		海外ゼミナール及び特別授業		
		その他		
自由選択 (注 6)		42		
合計		124		

(注 1) 健康・スポーツ実習は 8 単位まで卒業単位として認定するが、この修得単位はすべて「自由選択」に算入される。この授業科目は同一種類・種目のものを重ねて履修することができる。

(注 2) 特別実習は 8 単位まで卒業単位として認定するが、この修得単位はすべて「自由選択」に算入される。

- (注3) 学科内専門共通科目で4単位を超えて修得した単位は、専門科目の単位として取り扱う。
- (注4) 公務員対策講座(教養)及び公務員対策講座(専門)は、それぞれ8単位を上限にして専門科目の卒業単位として算入される。これを超えて修得した単位は自由選択として卒業要件に算入される。
- (注5) 会計学特論(資格取得講座)は、16単位を上限にして専門科目の卒業単位として算入される。これを超えて修得した単位は自由選択として卒業単位に算入される。
- (注6) 自由選択は基本科目、専門科目で規定以上に修得した単位数が算入される。健康・スポーツ実習については注1のとおり、特別実習については注2のとおり修得単位はここに算入する。なお、教員免許状取得単位充足者に限っては、教職科目の修得単位を8単位までここに算入することができる。

2-1 経済学部 2013年度以前入学者

2～4年次：外国語科目(外国人留学生特例適用者については日本語を含む)を修得した場合は「その他」に算入する。

2～3年次：演習(2)～(4)、卒業論文を修得した場合は「その他」に算入する。

平成28年度 4年次生

区分		卒業要件単位数	
共通必修科目	演習(1)	4	20
	演習(2)	4	
	演習(3)	4	
	演習(4)	4	
	卒業論文	4	
入門科目	必修	2	6
	選択必修	4	
基礎科目	必修	4	
総合教育科目	選択必修	8	
健康スポーツ科目		-	
全学共通科目		-	
コース別専門科目	選択必修	8	28
	選択	20	
その他		58	
合計		124	

平成28年度 2～3年次生

区分		卒業要件単位数	
共通必修科目	演習(1)	4	6
入門科目	必修	2	
	選択必修	4	
基礎科目	必修	4	
総合教育科目	選択必修	8	
健康スポーツ科目		-	
全学共通科目		-	
コース別専門科目	選択必修	8	28

	選択	20
その他		74
合計		124

(注1) 所属コース以外の経済学部専門科目の修得した単位は「その他」に算入する。また、各区分において必要単位数を超えて単位修得したものについては「その他」に算入することができる。

(注2) 入学後、以下の各検定試験において定められた基準または要件を満たした者は、申請により必要な単位のうち「自由選択科目」各2単位としての認定申請をすることができる。なお、単位認定を行うのは各基準または要件を満たしたことを証明する書面(所定様式)が提出された当該年度の年度末とする。

(1) 経済学検定試験 ERE の「ミクロ経済学・マクロ経済学」：偏差値 50 以上のスコアを認定

(2) TOEFL CBT : 110, PBT : 420, IBT : 36 以上のスコアを認定

(3) TOEIC : 450 以上のスコアを認定

(4) ファイナンシャル・プランニング技能検定 : 3 級以上を認定

(注3) 海外文献研究の修得単位を外国語分野の修得単位に変更したい場合は、所定の手続きを行わなければならない。

(注4) 総合教育科目に配置されている文化人類学の修得単位を、コース別の専門科目の修得単位に変更したい場合は、所定の手続きを行わなければならない。

2-2 経済学部経済学科

2014, 2015 年度現代経済専攻入学者

平成 28 年度 2~3 年次生

4 単位を超えたプレミナール、ゼミナール I、II、卒業論文、外国語科目を修得した場合は「自由選択科目」に算入する。

区分・科目		経済総合	地域デザイン	スポーツ経済
必修科目	プレゼミナール	4	4	4
選択必修科目 I	経済学入門* (2 単位)、経済の歴史* (2 単位)、哲学、数学 I、心理学、法学、国際関係論、Principles of Economics、Introduction to International Relations から	6	6	6
選択必修科目 II	地域デザインコースは地域・公共分野から スポーツ経済コースはスポーツ分野から	0	14	14
自由選択科目		114	100	100
合計		124	124	124

2014, 2015 年度ビジネスエコノミクス専攻入学者

平成 28 年度 2~3 年度生

4 単位を超えたプレワークショップ、ワークショップ、ビジネスイングリッシュを除く外国語科目を修得した場合は「自由選択科目」に算入する。

区分・科目		ファイ ナンス	ストラ テジス ト
必修科目	プレワークショップ	4	4
	経済学入門	2	2
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2
	キャリアデザイン	2	2
	外国語：ビジネスイングリッシュ	4	4
選択必修科目Ⅰ	経済理論分野・E-Track 科目・ビジネスプレゼンテーション	10	10
選択必修科目Ⅱ	ファイナンスコースはファイナンス分野から ストラテジストコースは戦略分野から	14	14
自由選択科目		86	86
合計		124	124

(注1) ビジネスエコノミクス専攻における選択科目Ⅱの14単位には、必修科目、選択必修科目Ⅰとして修得した単位を含まない。

(注2) 入学後、以下の各検定試験において定められた基準または要件を満たした者は、申請により必要な単位のうち「自由選択科目」各2単位としての認定申請をすることができる。なお、単位認定を行うのは各基準または要件を満たしたことを証明する書面(所定様式)が提出された当該年度の年度末とする。

(1) 経済学検定試験 ERE の「ミクロ経済学・マクロ経済学」：偏差値 50 以上のスコアを認定

(2) TOEFL CBT : 110, PBT : 420, IBT : 36 以上のスコアを認定

(3) TOEIC : 450 以上のスコアを認定

(4) ファイナンシャル・プランニング技能検定 : 3 級以上を認定

3-1 国際関係学部 国際関係学科

2～3 年次：演習Ⅱ～Ⅳ、卒業論文を修得した場合は「専門分野：選択：その他」に算入する。

2～4 年次：外国人留学生特例適用者について、英語または日本語科目を修得した場合は「基本分野：選択必修」に算入する。

平成 28 年度 4 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本分野	必修	演習Ⅰ	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	①実習	12	20
		②現代社会		
		③ことば・思想		
④科学技術				

		⑤健康・スポーツ		
		⑥外国語（英語以外）		
	必修	⑦英語	10	
専門分野	必修	演習Ⅱ	4	16
		演習Ⅲ	4	
		演習Ⅳ	4	
		卒業論文	4	
	選択必修	学科専門分野①	4	36
		学科専門分野②	4	
		学科専門分野③	4	
		学科専門分野④	4	
		学科間共通		
選択	その他	36		
合計			124	

平成 28 年度 2～3 年次生

授業科目区分		卒業要件単位数		
基本分野	必修	演習Ⅰ	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	①実習	12	20
		②現代社会		
		③ことば・思想		
		④科学技術		
		⑤健康・スポーツ		
⑥外国語（英語以外）				
必修	⑦英語	10		
選択必修	学科専門分野①	4	36	
	学科専門分野②	4		
	学科専門分野③	4		
	学科専門分野④	4		
	学科間共通			
選択	その他	52		
合計			124	

(外国人留学生特例適用者) 平成 28 年度 4 年次生

授業科目区分		卒業要件単位数		
基本分野	必修	演習Ⅰ	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	①実習	30	
		②現代社会		
		③ことば・思想		
	④科学技術			

		⑤健康・スポーツ		
		⑥外国語（英語以外）		
		⑦英語		
		日本語		
専門分野	必修	演習Ⅱ	4	16
		演習Ⅲ	4	
		演習Ⅳ	4	
		卒業論文	4	
	選択必修	学科専門分野①	4	36
		学科専門分野②	4	
		学科専門分野③	4	
		学科専門分野④	4	
		学科間共通		
	選択	その他		36
合計			124	

（外国人留学生特例適用者）平成28年度2～3年次生

授業科目区分		卒業要件単位数		
基本分野	必修	演習Ⅰ	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	① 実習		30
		②現代社会		
		③ことば・思想		
		④科学技術		
		⑤健康・スポーツ		
		⑥外国語（英語以外）		
⑦英語				
日本語				
専門分野	選択必修	学科専門分野①	4	36
		学科専門分野②	4	
		学科専門分野③	4	
		学科専門分野④	4	
		学科間共通		
	選択	その他		52
合計			124	

（注1）⑦の英語の単位には、申請により本学が認定した英検・TOEFL・TOEICの所定の級又はスコアによる単位を含めることができる。

（注2）E-Track及び他学部の科目は、上記卒業要件に算入することができる。算入する区分は学部履修規程による。

3-2 国際関係学部 国際メディア学科

2～3年次：演習Ⅱ～Ⅳ、卒業論文を修得した場合は「専門分野：選択：その他」に算入す

る

2～4年次：外国人留学生特例適用者について、英語又は日本語科目を修得した場合は、「基本分野：選択必修」に算入する。

2014年度以前入学者 平成28年度4年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本分野	必修	演習Ⅰ	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	①実習	12	20
		②現代社会		
		③ことば・思想		
		④科学技術		
		⑤健康・スポーツ		
⑥外国語（英語以外）				
必修	⑦英語	10		
専門分野	必修	演習Ⅱ	4	20
		演習Ⅲ	4	
		演習Ⅳ	4	
		卒業論文	4	
		メディア理論	2	
		メディア産業論	2	
	選択必修	学科専門分野①	32	
		学科専門分野②		
		学科専門分野③		
		学科専門分野④		
	学科間共通			
選択	その他	36		
合計			124	

2014年度以前入学者 平成28年度3年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本分野	必修	演習Ⅰ	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	①実習	12	20
		②現代社会		
		③ことば・思想		
		④科学技術		
		⑤健康・スポーツ		
⑥外国語（英語以外）				
必修	⑦英語	10		
専門分野	必修	メディア理論	2	4
		メディア産業論	2	
	選択必修	学科専門分野①	32	

		学科専門分野②	
		学科専門分野③	
		学科専門分野④	
		学科間共通	
	選択	その他	52
合計			124

2015 年度入学者 平成 28 年度 2 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本分野	必修	演習 I	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	①実習	12	20
		②現代社会		
		③ことば・思想		
		④科学技術		
		⑤健康・スポーツ		
⑥外国語（英語以外）				
必修	⑦英語	10		
専門分野	選択必修	学科専門分野①	36	
		学科専門分野②		
		学科専門分野③		
		学科専門分野④		
	選択	その他	52	
合計			124	

(外国人留学生特例適用者) 2014 年度以前入学者 平成 28 年度 4 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本分野	必修	演習 I	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	① 実習	30	
		②現代社会		
		③ことば・思想		
		④科学技術		
		⑤健康・スポーツ		
		⑥外国語（英語以外）		
⑦英語				
日本語				
専門分野	必修	演習 II	4	20
		演習 III	4	
		演習 IV	4	
		卒業論文	4	

		メディア理論	2	32
		メディア産業論	2	
	選択必修	学科専門分野①	32	
		学科専門分野②		
		学科専門分野③		
		学科専門分野④		
		学科間共通	36	
選択	その他			
合計			124	

(外国人留学生特例適用者) 2014 年度以前入学者 平成 28 年度 3 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本分野	必修	演習 I	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	① 実習	30	
		②現代社会		
		③ことば・思想		
		④科学技術		
		⑤健康・スポーツ		
		⑥外国語（英語以外）		
⑦英語				
	日本語			
	必修	メディア理論	2	4
		メディア産業論	2	
	選択必修	学科専門分野①	32	
		学科専門分野②		
		学科専門分野③		
		学科専門分野④		
		学科間共通	52	
選択	その他			
合計			124	

(外国人留学生特例適用者) 2015 年度入学者 平成 28 年度 2 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数	
基本分野	必修	演習 I	4	6
		国際関係学入門	2	
	選択必修	① 実習	30	
		②現代社会		
		③ことば・思想		
		④科学技術		
		⑤健康・スポーツ		
	⑥外国語（英語以外）			

		⑦英語	
		日本語	
専門分野	選択必修	学科専門分野①	36
		学科専門分野②	
		学科専門分野③	
		学科専門分野④	
		学科間共通	
	選択	その他	52
合計			124

(注 1) ⑦の英語の単位には、申請により本学が認定した英検・TOEFL・TOEIC の所定の級又はスコアによる単位を含めることができる。

(注 2) E-Track 及び他学部の科目は、上記卒業要件に算入することができる。算入する区分は学部履修規程による。

4-1、2 人間社会学部 福祉心理学科/人間スポーツ学科

2～4 年次：英語を修得した場合は「基本分野：選択必修」に算入する。

外国人留学生の特例適用者で、日本語を修得した場合は「基本分野：選択必修」に算入する。

2～3 年次：「専門分野：必修」の科目を修得した場合は「専門分野：選択：その他」に算入する。

平成 28 年度 4 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数
基本分野	必修	①演習Ⅰ	4
	選択必修	②実習	26
		③現代社会	
		④ことば・思想	
		⑤科学技術	
		⑥健康・スポーツ	
		⑦外国語（英語以外）	
		⑧英語	
専門分野	必修	演習Ⅱ	4
		演習Ⅲ	4
		演習Ⅳ	4
		卒業論文	4
	選択必修	学科間共通	16
		学科間共通を除く専門	20
選択	その他	42	
合計			124

平成 28 年度 2～3 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数
基本分野	必修	①演習Ⅰ	4
	選択必修	②実習	26
		③現代社会	
		④ことば・思想	
		⑤科学技術	
		⑥健康・スポーツ	
		⑦外国語（英語以外）	
		⑧英語	
専門分野	選択必修	学科間共通	16
		学科間共通を除く専門	20
	選択	その他	58
合計			124

4-3 人間社会学部 スポーツ科学科

2～4年次：英語を修得した場合は「基本分野：選択必修」に算入する。

外国人留学生の特例適用者で、日本語を修得した場合は「基本分野：選択必修」に算入する。

2～3年次：「専門分野：必修」の科目を修得した場合は「専門分野：選択：その他」に算入する。

平成28年度 4年次生

授業科目区分			卒業要件単位数
基本分野	必修	①演習Ⅰ	4
	選択必修	②実習	26
		③現代社会	
		④ことば・思想	
		⑤科学技術	
		⑥健康・スポーツ	
		⑦外国語（英語以外）	
		⑧英語	
専門分野	必修	演習Ⅱ	4
		演習Ⅲ	4
		演習Ⅳ	4
		卒業論文	4
		必修科目	12
	選択必修	学科間共通	14
		学科間共通を除く専門	30
選択	その他	22	
合計			124

平成 28 年度 2～3 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数
基本分野	必修	①演習 I	4
	選択必修	②実習	26
		③現代社会	
		④ことば・思想	
		⑤科学技術	
		⑥健康・スポーツ	
		⑦外国語（英語以外）	
		⑧英語	
専門分野	選択必修	学科間共通	14
		学科間共通を除く専門	30
	選択	その他	50
合計			124

5-1 言語コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科

2～4 年次：I 語学科目 I-2 マルチリンガル・コミュニケーション・スキルズの科目の単位を修得した場合は「その他」に算入する。

外国人留学生の特例適用者については、I 語学科目 I-3 日本語コミュニケーション・スキルズの科目の単位を修得した場合は「その他」に算入する。

専門科目のコース制を廃止し、専門科目の卒業要件を「専門科目から 16 単位修得」に変更する。

2～3 年次：演習Ⅱ～Ⅳ、卒業研究の単位を修得した場合は「その他」に算入する。

平成 28 年度 4 年次生

科目系列		必修	選択	合計
I 語学科目	I-1 英語コミュニケーション・スキルズ	20	14	34
	I-3 日本語コミュニケーション・スキルズ	2	-	2
II 基本科目		5	6	11
III 専門科目		-	16	16
V 演習 キャリアプランニング科目		20	-	20
その他（科目系列の区分を問わない）		-	41	41
合計				124

平成 28 年度 2～3 年次生

科目系列		必修	選択	合計
I 語学科目	I-1 英語コミュニケーション・スキルズ	20	14	34
	I-3 日本語コミュニケーション・スキルズ	2	-	2
II 基本科目		5	6	11
III 専門科目		-	16	16
V 演習 キャリアプランニング科目		4	-	4

その他（科目系列の区分を問わない）	-	57	57
合計			124

（外国人留学生特例適用者）平成 28 年度 4 年次生

科目系列		必修	選択	合計
I 語学科目	I-1 英語コミュニケーション・スキルズ	20	14	34
	I-3 日本語コミュニケーション・スキルズ	-	-	-
II 基本科目		5	4	9
III 専門科目		-	16	16
V 演習 キャリアプランニング科目		20	-	20
その他（科目系列の区分を問わない）		-	45	45
合計				124

（外国人留学生特例適用者）平成 28 年度 2～3 年次生

科目系列		必修	選択	合計
I 語学科目	I-1 英語コミュニケーション・スキルズ	20	14	34
	I-3 日本語コミュニケーション・スキルズ	-	-	-
II 基本科目		5	4	9
III 専門科目		-	16	16
V 演習 キャリアプランニング科目		4	-	4
その他（科目系列の区分を問わない）		-	61	61
合計				124

5-2 言語コミュニケーション学部 中国言語文化学科

2～4 年次：英語コミュニケーション・スキルズの必修科目を選択科目化する。

2～3 年次：演習 II～IV、卒業研究を修得した場合は「その他」に算入する。

平成 28 年度 4 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数
I. 語学科目	必修	I.1 中国語コミュニケーション・スキルズ	22
		I.3 日本語コミュニケーションスキルズ	2
	選択	I.1 中国語コミュニケーション・スキルズ	6
		I.2 英語コミュニケーション・スキルズ	
I. 語学科目合計			30
II. 基本科目	必修	言語学入門、コミュニケーション学、日本の文化、ICT基礎 I	7
	選択		4

	Ⅱ. 基本科目合計		11
Ⅲ. 専門科目	必修	中国語学概論、中国思想概論、中国文学概論	6
	選択		10
	Ⅲ. 専門科目合計		16
Ⅳ. 特別プログラム	選択		-
Ⅴ. 演習・キャリアプランニング	必修	演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、演習Ⅳ	16
		卒業研究	4
	Ⅴ. 演習・キャリアプランニング合計		20
その他（科目系列の区分を問わない）			47
合計			124

平成 28 年度 2～3 年次生

授業科目区分			卒業要件単位数
Ⅰ. 語学科目	必修	Ⅰ.1 中国語コミュニケーション・スキルズ	22
		Ⅰ.3 日本語コミュニケーションスキルズ	2
	選択	Ⅰ.1 中国語コミュニケーション・スキルズ	6
		Ⅰ.2 英語コミュニケーション・スキルズ	
	Ⅰ. 語学科目合計		
Ⅱ. 基本科目	必修	言語学入門、コミュニケーション学、日本の文化、ICT基礎Ⅰ	7
	選択		4
	Ⅱ. 基本科目合計		11
Ⅲ. 専門科目	必修	中国語学概論、中国思想概論、中国文学概論	6
	選択		10
	Ⅲ. 専門科目合計		16
Ⅳ. 特別プログラム	選択		-
Ⅴ. 演習・キャリアプランニング	必修	演習Ⅰ	4
	Ⅴ. 演習・キャリアプランニング合計		4
その他（科目系列の区分を問わない）			63
合計			124

附 則

この改正学則は、2017 年 9 月 1 日から施行する。

附 則

- この改正学則は、2018年4月1日から施行する。
- 第8条の規定にかかわらず、2018年度から2020年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次の通りとする。

学部	学科	2018年度	2019年度	2020年度
商学部	商学科	690名	560名	480名
	経営学科	450名	400名	400名
経済学部	経済学科	1,220名	1,320名	1,420名
国際関係学部	国際関係学科	700名	790名	860名
	国際メディア学科	380名	360名	340名
人間社会学部	福祉心理学科	250名	200名	200名
	人間スポーツ学科	840名	910名	920名
	スポーツ科学科	740名	790名	800名
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	810名	930名	1,000名
	中国言語文化学科	40名	10名	0名
計		6,120名	6,270名	6,420名

附 則

- この改正学則は、2018年4月1日から施行する。
但し：
 - 改正学則第17条第2項及び第18条の2（削除）は、当該改正の施行日前から在学する学生についてはこれを適用せず、なお従前の例による。
 - 別表1に係る改正は、2015年度以前の入学者にはこれを適用せず、なお従前の例による。
- 本附則1にかかわらず、国際関係学部に係る別表1の改正により廃止される次に掲げる授業科目は、改正学則の施行日前から在学する同学部の学生（但し、2016年度以降の入学者に限る）のために、この改正学則施行日以降も引き続きこれらを開講する。
英語学概論、英文法概論、英語音声学、英米児童文学、英米文学A、英米文学B、英米文学C、日本語教育方法論、日本語教育実習演習、日本語教育実習、日本語学概論、日本語音声学、日本語文法、海外ボランティア演習、海外ボランティア実習
- 本附則1にかかわらず、改正学則の施行日前から国際関係学部国際メディア学科に在学する学生は、改正学則により廃止される別表1中の「国際関係学部国際メディア学科専門分野④国際関係」に掲げる国際関係学科専門分野の各カテゴリーに属する科目を、この改正学則施行日以降も引き続き履修することができる。但し、本改正学則により廃止される科目を除く。
- 本附則1にかかわらず、人間社会学部に係る別表1の改正により廃止される次に掲げる授業科目は、改正学則の施行日前から在学する同学部の学生（但し、2016年度以降の入学者に限る）のために、この改正学則施行日以降も引き続きこれらを開講する。
社会調査論、質的調査法、社会調査実習
- 言語コミュニケーション学部の2016年度又は2017年度の入学者及び2017年度のグローバル・コース登録学生で、この改正学則により廃止される授業科目である「Basic Speaking」及び/又は「Basic Writing」を履修していない者は、それぞれ、「Basic Speaking I」、「Basic Speaking II」及び/又は「Basic Writing I」、「Basic Writing II」を履修しなければならない。

附 則

- 1 この改正学則は、2018年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず、別表2「6-1 イングリッシュ・トラック」に係る改正は、改正学則の施行日前から在学する学生にはこれを適用せず、なお従前の例による。
- 3 2017年12月7日改正時の附則1の但し書(2)を次の通り改正する。
「(2) 別表1に係る改正は、商学部商学科及び同経営学科の専門教育科目中の「スポーツビジネス分野」に属する科目を除き、2015年度以前の入学者にはこれを適用せず、なお従前の例による。」
- 4 2017年12月7日改正時の附則2を次の通り改正する。
「本附則1にかかわらず、国際関係学部に係る別表1の改正により廃止される次に掲げる授業科目は、改正学則の施行日前から在学する同学部の学生(但し、2016年度以降の入学者に限る)のために、この改正学則施行日以降も引き続きこれらを開講する。
英語学概論、英文法概論、英語音声学、英米児童文学*、英米文学A*、英米文学B*、英米文学C*、日本語教育方法論、日本語教育実習演習、日本語教育実習、日本語学概論、日本語音声学、日本語文法、海外ボランティア演習、海外ボランティア実習
*を付した授業科目は名称変更がなされており、それぞれの対応する新科目名は次の通りである。旧科目を履修済みの学生は、名称変更後の対応する科目を履修することはできない。

旧・授業科目名	新・授業科目名
英米文学A	英語文学A
英米文学B	英語文学B
英米児童文学	英語児童文学
英米文学C	英語文学C

- 5 第1項にかかわらず、改正第8条は2019年4月1日から施行する。但し、改正第8条の規定にかかわらず、2019年度から2021年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次の通りとする。

学部	学科	2019年度	2020年度	2021年度
商学部	商学科	540名	440名	420名
	経営学科	380名	360名	340名
経済学部	経済学科	1,400名	1,580名	1,660名
国際関係学部	国際関係学科	815名	910名	955名
	国際メディア学科	340名	300名	260名
人間社会学部	福祉心理学科	175名	150名	125名
	人間スポーツ学科	910名	920名	920名
	スポーツ科学科	790名	800名	800名
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション 学科	910名	960名	940名
	中国言語文化学科	10名	0名	0名
計		6,270名	6,420名	6,420名

附 則

平成28年5月26日改正時の附則6に定める第21条(卒業)別表2に係る経過措置のうち、

「5-1 言語コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科」の「平成28年度2～3年次生」に係る部分を次表の通り改正し、2018年4月1日に遡及して施行する。

平成28年度 2～3年次生

科目系列		必修	選択	合計
I 語学科目	I-1 英語コミュニケーション・スキルズ	20	14	34
II 基本科目		5	6	11
III 専門科目		—	16	16
V 演習 キャリアプランニング科目		4	—	4
その他（科目系列の区分を問わない）		—	59	59
合計				124

附 則

- この改正学則は、2018年10月25日から施行する。
- 前項にかかわらず、別表1（人間社会学部、イングリッシュ・トラック）及び別表2に係る改正は、2018年9月1日から施行する。

附 則

- この改正学則は、2019年4月1日から施行する。
- 前項にかかわらず、別表2「6-1 イングリッシュ・トラック」の卒業要件については、その適用を次の通りとする。
2018年度入学者：表中のElectivesを48単位に置き換えて改正学則を適用する。
2017年度入学者：表中のElectivesを44単位に置き換えて改正学則を適用する。
2016年度入学者：表中のElectivesを56単位に置き換えて改正学則を適用する。
2015年度以前の入学者：本改正学則の定めにかかわらず、従前の例による。
- 2016年4月1日施行の改正時の附則5に定める卒業要件に係る経過措置のうち、3-1 国際関係学部国際関係学科及び3-2 国際関係学部国際メディア学科における2015年度以前入学者の卒業要件単位数を次の通り変更し、2019年4月1日より適用する。
 - 基本分野/選択必修における卒業要件単位数合計「20」を「24」とする。
 - 基本分野/必修 ⑦英語の卒業要件単位数「10」を「6」とする。

附 則

この改正学則は、2019年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、2019年6月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、2019年9月1日から施行する。

附 則

1. この改正学則は、2020年4月1日から施行する。
2. 前項にかかわらず、改正学則の施行日前から在学する学生については、本改正により削除される第18条の4及び第18条の5の規定を引き続き適用する。

2020年3月12日改正附則

1. この改正学則は、2020年4月1日から施行する。
2. 前項にかかわらず、改正学則の施行日前から在学する言語コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科の学生については、別表2「5-1 言語コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科」の「専門教育分野 英語コミュニケーション学科の専門教育分野科目200番台」の卒業要件単位数を「12」，「その他」の卒業要件単位数を「52」とする。
3. 別表2「6-1 イングリッシュ・トラック経済学部経済学科ビジネスエコノミクス専攻Business Economics 及びDigital Business and Innovation」及び「6-2 イングリッシュ・トラック国際関係学部国際関係学科」の卒業要件については、その適用を次の通りとする。

2019年度入学者：表中のMajor Coursesを40単位、Electivesを48単位に置き換えて改正学則を適用する。

2018年度入学者：表中のMajor Coursesを32単位、Electivesを56単位に置き換えて改正学則を適用する。

2017年度入学者：表中のMajor Coursesを32単位、Electivesを52単位に置き換えて改正学則を適用する。

2016年度以前の入学者：本改正学則の定めにかかわらず、従前の例による。

2020年5月28日改正附則

この改正学則は、2020年4月1日から施行する。

2019年12月20日改正附則（2020年10月2日付認可）

1. この改正学則は、2021年4月1日から施行する。
2. 第8条の規定にかかわらず、2021年度から2023年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次の通りとする。

学 部	学 科	2021年度	2022年度	2023年度
商学部	商学科	420名	400名	400名
	経営学科	340名	320名	320名
経済学部	経済学科	1,700名	1,820名	1,860名
国際関係学部	国際関係学科	1,020名	1,110名	1,175名
	国際メディア学科	260名	240名	240名
人間社会学部	福祉心理学科	125名	100名	100名
	人間スポーツ学科	920名	920名	920名
	スポーツ科学科	800名	800名	800名
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション 学科	960名	960名	980名
計		6,545名	6,670名	6,795名

2020年10月22日改正附則

この改正学則は、2020年10月22日から施行する。

2020年3月12日改正附則（2020年10月23日付認可）

- この改正学則は、2021年4月1日から施行する。
- 第8条の規定にかかわらず、2021年度から2023年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次の通りとする。

学部	学科	2021年度	2022年度	2023年度
商学部	商学科	420名	400名	400名
	経営学科	340名	320名	320名
経済学部	経済学科	1,700名	1,820名	1,860名
国際関係学部	国際関係学科	1,020名	1,110名	1,175名
	国際メディア学科	260名	240名	240名
人間社会学部	福祉心理学科	125名	100名	100名
	人間スポーツ学科	920名	920名	920名
	スポーツ科学科	800名	800名	800名
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション 学科	960名	960名	980名
医療健康学部	理学療法学科	80名	160名	240名
計		6,625名	6,830名	7,035名

2020年12月17日改正附則

この改正学則は、2021年4月1日から施行する。

2021年3月11日改正附則

- この改正学則は、2021年4月1日から施行する。
- 前項にかかわらず、別表1「人間社会学部3人間スポーツ学科専門教育分野、4スポーツ科学科専門教育分野」に係る改正は、改正学則の施行日前から在学する学生についてはこれを適用せず、なお従前の例による。

2021年 月 日改正附則（2021年 月 日付認可）

- この改正学則は、2022年4月1日から施行する。
- 第8条の規定にかかわらず、2022年度から2024年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次の通りとする。

学部	学科	2022年度	2023年度	2024年度
商学部	商学科	400名	400名	400名
	経営学科	400名	480名	560名
経済学部	経済学科	1,820名	1,860名	1,900名
国際関係学部	国際関係学科	1,110名	1,175名	1,240名
	国際メディア学科	240名	240名	240名
人間社会学部	福祉心理学科	120名	140名	160名
	人間スポーツ学科	920名	920名	920名
	スポーツ科学科	800名	800名	800名

言語コミュニケーション 学部	英語コミュニケーション 学科	960 名	980 名	1,000 名
医療健康学部	理学療法学科	160 名	240 名	320 名
計		6,930 名	7,235 名	7,540 名

別表1 (第5章第13条)

商学部

1 商学部 基礎教育分野

授業科目区分		授業科目名	ナハリング*	単位
TIUコア 科目		大学生活デザイン演習	100	2
		初年次演習	100	2
		ICT基礎	100	2
教養コア科目	人間と文化	哲学	100	4
		倫理学	100	4
		芸術論	100	4
		文学	100	4
		ことば学入門	100	4
		アジア・アラブ史	100	4
		アメリカ・ヨーロッパ史	100	4
		日本史	100	4
		地理学概論	100	4
		人文地理学	100	4
		日本の文化	100	4
		異文化概論	100	4
		文化人類学	100	4
		Introduction to American Society	100	4
	Life & Tradition in America	100	4	
	現代社会	法学	100	4
		憲法	100	4
		政治学	100	4
		経済学	100	4
		社会学	100	4
現代の社会		100	4	
自然科学と環境	心理学概論	100	4	
	自然科学概論	100	4	
	環境と自然	100	4	
	科学思想史	100	4	
	統計学入門	100	4	
健康とスポーツ	情報処理の基礎	100	4	
	健康・スポーツ科学	100	4	
	健康・スポーツ実技	100	1	
言語スキル科目	英語	Oral Communication	100	2
		Reading & Writing	100	2
		English Workshop	100	2
		Media English	100	2
		Communication Basic I	100	2
		Communication Basic II	100	2
		English Comprehension I ※1	100	2
		English Comprehension II ※1	100	2
		Basic Speaking I ※1	100	1
		Basic Speaking II ※1	100	1
		Basic Writing I ※1	100	1
		Basic Writing II ※1	100	1
		Intermediate Speaking and Listening A	200	2
		Intermediate Speaking and Listening B	200	2
	Intermediate Reading and Writing A	200	2	
	Intermediate Reading and Writing B	200	2	
	その他の外国語	ドイツ語入門	100	2
		実践ドイツ語	100	2
		フランス語入門	100	2
		実践フランス語	100	2
		スペイン語入門	100	2
		実践スペイン語	100	2
		中国語入門	100	2
		実践中国語	100	2
		ハンガール語入門	100	2
		実践ハンガール	100	2
		ロシア語入門	100	2
アラビア語入門		100	2	
日留本学語生	アカデミック日本語	100	2	
	日本語ワークショップ	100	2	
	ビジネス日本語	200	2	

自由 選 択 科 目	キ ャ リ ア 支 援 科 目 形 成	インターンシップ入門	100	2
		インターンシップ	200	1*
		グローバルインターンシップ	200	4
		ボランティア活動	100	1
		アカデミック・ライティング	100	2
		キャリア・Re-スタート	200	2
		地域の安全と警察	200	2
	プ ロ ジ エ ク ト 科 目	観光まちおこしワークショップ入門	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践A	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践B	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践C	100	2
		観光まちおこしプロジェクト A	200	1
		観光まちおこしプロジェクト B	200	1
		観光まちおこしプロジェクト C	200	1
		留学プランニング (ASP Prep)	100	1
		海外ゼミナールA	200	4
		海外ゼミナールB	200	2
		特別授業A	200	2
		特別授業B	200	4
		スポーツパフォーマンス実習Ⅰ ※2	100	2
スポーツパフォーマンス実習Ⅱ ※2	100	2		
基礎科目特殊講義A	100	2		
基礎科目特殊講義B	100	4		

- ※1を付した授業科目は、グローバル・コースに登録した学生のみ履修することができる。
- ※2を付した授業科目は、強化クラブ所属学生のみ履修することができる。
- *「インターンシップ」は、実習時間数に応じて、単位を修得できる。
- 改正前学則別表1中の「日本語文章理解・表現Ⅰ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語Ⅰ」を、「日本語文章理解・表現Ⅱ」及び「日本語文章理解・表現Ⅲ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語Ⅱ」を、「聴解・口頭表現Ⅰ」及び「総合日本語Ⅰ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップⅠ」を、「聴解・口頭表現Ⅱ」及び「総合日本語Ⅱ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップⅡ」を、それぞれ履修することはできない。
- 改正前学則別表1中の「Advanced Speaking and Listening A」を修得済みの学生は「Intermediate Speaking and Listening A」を、「Advanced Speaking and Listening B」を修得済みの学生は「Intermediate Speaking and Listening B」を、「Advanced Reading and Writing A」を修得済みの学生は「Intermediate Reading and Writing A」を、「Advanced Reading and Writing B」を修得済みの学生は「Intermediate Reading and Writing B」を、それぞれ履修することはできない。
- 改正前学則別表1中の「アカデミック日本語Ⅰ」及び/又は「アカデミック日本語Ⅱ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語」を、「日本語ワークショップⅠ」及び/又は「日本語ワークショップⅡ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップ」を、それぞれ履修することはできない。

2 商学科 専門教育分野

授業科目区分	授業科目名	ナンバリング	単位
目 通門内学 科共専科	商学概論	200	4
	ファイナンス概論	200	4
卒 演 文 業 習 論・	基礎演習	200	2
	専門演習	300	2
	卒業研究	400	4
流 通 ・ マ ー ケ テ ィ ン グ 分 野	商業史	200	4
	貿易論	200	4
	マーケティング論	300	4
	流通論	300	4
	マーケティングコミュニケーション論	300	2
	サービスマーケティング論	300	2
	マーケティングリサーチ	300	4
	マーケティング戦略論	300	4
	消費者行動論	300	4
	商業・流通政策	300	4
	製品ブランド論	300	4
経 営 分 野	貿易実務	300	4
	グローバルマーケティング論	300	4
	マーケティングワークショップ	300	4
	経営学概論	200	4
	経営管理論	300	4
	経営戦略論	300	4
	スポーツ組織論	300	2

選択	ファイナンス分野	金融論	200	4
		ファイナンス論	300	4
		金融システム論	300	4
		国際金融論	300	4
		ベンチャーファイナンス論	300	4
		ファイナンシャルプランニング論	300	4
		ファイナンシャルマーケット論	300	4
		地域金融講座（飯能信用金庫寄附講座）	300	2
	経済分野	国際経済学	200	4
		財政学	200	4
		公共経済学	200	4
		日本経済論	300	4
		産業経済論	300	4
		社会経済システム論	300	4
		福祉の経済学	300	4
		都市経済論	300	4
地域経済社会事情（中東）		300	4	
地域経済社会事情（東アジア）		300	4	
地域経済社会事情（人の移動と地域）	300	4		
法律分野	民法	200	4	
	労働法	200	4	
	国際法	200	4	
	会社法	300	4	
	行政法	300	2	
	手形・小切手法	300	4	
	商取引法	300	4	
会計分野	簿記	100	4	
	会計学概論	200	4	
	財務会計論	300	4	
	財務分析論	300	4	
	管理会計論	300	4	
情報分野	情報社会と情報倫理	200	2	
	ウェブアプリ論	200	4	
	ソーシャルメディア論	200	4	
	データベース論	200	4	
	企業情報システム論	300	2	
キャリア支援科目	事業承継	300	4	
専門関連科目	数学入門	100	4	
	社会史A	100	4	
	社会史B	100	4	
	環境問題とビジネス	300	2	
	交通論	300	4	
	立地論	300	4	
	ビジネス・ソリューション	200	4	
	ビジネス英語	200	4	
	ビジネス中国語	200	4	
	ビジネススペイン語	200	4	
	スポーツ英語	200	2	
	専門外国書研究（英語）	300	2	
	商学部特殊講義A	300	2	
商学部特殊講義B	300	4		

3 経営学科 専門教育分野

授業科目区分	授業科目名	ナンバリング	単位
専門科目内 科目共通	経営学概論	200	4
	会計学概論	200	4
	情報社会と情報倫理	200	2
	情報処理論	200	2
卒業演習・ 文業論	基礎演習	200	2
	専門演習	300	2
	卒業研究	400	4
グテマ流 分イ 野ンケ	商学概論	200	4
	マーケティング論	300	4
	流通論	300	4

選 択	経 営 分 野	経営史	200	4
		国際ビジネス論	200	4
		経営管理論	300	4
		経営戦略論	300	4
		経営分析	300	4
		リスクマネジメント論	300	4
		産業・組織心理学	300	4
		制度と組織の経済学	300	4
		中小企業論	300	4
		経営組織論	300	4
		スポーツ組織論	300	2
		生産管理論	300	4
		異文化リーダーシップ論	300	4
		現代企業論	300	4
		人的資源管理論	300	4
	多国籍企業論	300	4	
	起業論	300	4	
	企業評価論	300	4	
	企業研究	300	2	
	フ ァ イ ナ ン ス 分 野	ファイナンス概論	200	4
金融論		200	4	
ファイナンス論		300	4	
ベンチャーファイナンス論		300	4	
地域金融講座（飯能信用金庫寄附講座）		300	2	
経 済 分 野	国際経済学	200	4	
	財政学	200	4	
	日本経済論	300	4	
	社会経済システム論	300	4	
	福祉の経済学	300	4	
	都市経済論	300	4	
	地域経済社会事情（中東）	300	4	
	地域経済社会事情（東アジア）	300	4	
地域経済社会事情（人の移動と地域）	300	4		
法 律 分 野	民法	200	4	
	会社法	300	4	
	商取引法	300	4	
会 計 分 野	簿記	100	4	
	簿記演習	100	2	
	応用簿記	200	4	
	工業簿記	200	4	
	応用簿記演習	200	2	
	工業簿記演習	200	2	
	財務会計論	300	4	
	財務分析論	300	4	
	国際会計論	300	4	
	原価計算論	300	4	
	会計監査論	300	4	
	税務会計論	300	4	
	管理会計論	300	4	
	パソコン財務会計	300	2	
情 報 分 野	ウェブアプリ論	200	4	
	ソーシャルメディア論	200	4	
	データベース論	200	4	
	経営科学	200	4	
	プログラミング基礎	200	4	
	企業情報システム論	300	2	
	ビジネスゲーム	300	2	
	表計算プログラミング	300	4	
	問題解決技法	300	4	
ア キ ャ リ 支 援 科 目	事業承継	300	4	

専門 関連 科目	数学入門	100	4
	社会史A	100	4
	社会史B	100	4
	環境問題とビジネス	300	2
	交通論	300	4
	立地論	300	4
	ビジネス・ソリューション	200	4
	ビジネス英語	200	4
	ビジネス中国語	200	4
	ビジネススペイン語	200	4
	スポーツ英語	200	2
	専門外国書研究（英語）	300	2
	商学部特殊講義A	300	2
	商学部特殊講義B	300	4

別表1 (第5章第13条)

経済学部

1 経済学科 基礎教育分野

授業科目 区分	授業科目名	ナンバリング	単位	
TIUコア科目	大学生活デザイン演習	100	2	
	初年次演習	100	2	
	ICT基礎	100	2	
教養コア科目	哲学	100	4	
	倫理学	100	4	
	芸術論	100	4	
	文学	100	4	
	ことば学入門	100	4	
	アジア・アラブ史	100	4	
	アメリカ・ヨーロッパ史	100	4	
	日本史	100	4	
	地理学概論	100	4	
	人文地理学	100	4	
	日本の文化	100	4	
	異文化概論	100	4	
	文化人類学	100	4	
	Introduction to American Society	100	4	
	Life & Tradition in America	100	4	
	現代社会	法学	100	4
		憲法	100	4
		政治学	100	4
		経済学	100	4
		社会学	100	4
現代の社会		100	4	
心理学概論		100	4	
自然科学と環境	自然科学概論	100	4	
	環境と自然	100	4	
	科学思想史	100	4	
	統計学入門	100	4	
	情報処理の基礎	100	4	
健康とスポーツ	健康・スポーツ科学	100	4	
	健康・スポーツ実技	100	1	
言語スキル科目	Oral Communication	100	2	
	Reading & Writing	100	2	
	English Workshop	100	2	
	Media English	100	2	
	Communication Basic I	100	2	
	Communication Basic II	100	2	
	English Comprehension I ※1	100	2	
	English Comprehension II ※1	100	2	
	Basic Speaking I ※1	100	1	
	Basic Speaking II ※1	100	1	
	Basic Writing I ※1	100	1	
	Basic Writing II ※1	100	1	
	Intermediate Speaking and Listening A	200	2	
	Intermediate Speaking and Listening B	200	2	
	Intermediate Reading and Writing A	200	2	
	Intermediate Reading and Writing B	200	2	
	その他の外国語	ドイツ語入門	100	2
		実践ドイツ語	100	2
		フランス語入門	100	2
		実践フランス語	100	2
		スペイン語入門	100	2
		実践スペイン語	100	2
		中国語入門	100	2
		実践中国語	100	2
		ハンガール入門	100	2
		実践ハンガール	100	2
		ロシア語入門	100	2
アラビア語入門		100	2	
語 日本 留学		アカデミック日本語	100	2
	日本語ワークショップ	100	2	
	ビジネス日本語	200	2	
キャリア支援科目形成	インターンシップ入門	100	2	
	インターンシップ	200	1*	
	グローバルインターンシップ	200	4	
	ボランティア活動	100	1	
	アカデミック・ライティング	100	2	
	キャリア・Re-スタート	200	2	
	地域の安全と警察	200	2	

自由 選 択 科 目	プ ロ ジ エ ク ト 科 目	観光まちおこしワークショップ入門	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践A	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践B	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践C	100	2
		観光まちおこしプロジェクト A	200	1
		観光まちおこしプロジェクト B	200	1
		観光まちおこしプロジェクト C	200	1
		留学プランニング (ASP Prep)	100	1
		海外ゼミナールA	200	4
		海外ゼミナールB	200	2
		特別授業A	200	2
		特別授業B	200	4
		スポーツパフォーマンス実習Ⅰ ※2	100	2
		スポーツパフォーマンス実習Ⅱ ※2	100	2
基礎科目特殊講義A	100	2		
基礎科目特殊講義B	100	4		

- 1) ※1を付した授業科目は、グローバル・コースに登録した学生のみ履修することができる。
- 2) ※2を付した授業科目は、強化クラブ所属学生のみ履修することができる。
- 3) *「インターナシップ」は、実習時間数に応じて、単位を修得できる。
できる。
- 4) 改正前学則別表1中の「日本語文章理解・表現Ⅰ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語Ⅰ」を、「日本語文章理解・表現Ⅱ」及び「日本語文章理解・表現Ⅲ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語Ⅱ」を、「聴解・口頭表現Ⅰ」及び「総合日本語Ⅰ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップⅠ」を、「聴解・口頭表現Ⅱ」及び「総合日本語Ⅱ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップⅡ」を、それぞれ履修することはできない。
- 5) 改正前学則別表1中の「Advanced Speaking and Listening A」を修得済みの学生は「Intermediate Speaking and Listening A」を、「Advanced Speaking and Listening B」を修得済みの学生は「Intermediate Speaking and Listening B」を、「Advanced Reading and Writing A」を修得済みの学生は「Intermediate Reading and Writing A」を、「Advanced Reading and Writing B」を修得済みの学生は「Intermediate Reading and Writing B」を、それぞれ履修することはできない。
- 6) 改正前学則別表1中の「アカデミック日本語Ⅰ」及び/又は「アカデミック日本語Ⅱ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語」を、「日本語ワークショップⅠ」及び/又は「日本語ワークショップⅡ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップ」を、それぞれ履修することはできない。

2 経済学科 専門教育分野

授業分野名	授業科目名	ナンバリング*	単位
基礎	数学入門	100	4
歴史	社会史A	100	4
歴史	社会史B	100	4
基礎	簿記	100	4
共通	基礎演習	200	2
歴史	経済史A	200	4
歴史	経済史B	200	4
歴史	経済学の歴史	200	4
理論	ミクロ経済学	200	4
理論	マクロ経済学	200	4
理論/戦略/スポ	ゲーム理論Ⅰ	200	4
理論/戦略/スポ	行動経済学Ⅰ	200	4
ファ/戦略	ビジネスエコノミクスⅠ	200	2
理論	計量経済学	200	4
理論	経済数学	200	4
理論/国際	国際経済学	200	4
ファ/戦略	金融論	200	4
公共	公共経済学	200	4
公共	財政学	200	4
地域	地域経済論	200	4
法	国際法	200	4
法	民法	200	4
法/国際	国際政治学	200	4
地域	観光学概論	200	2
地域	地域デザイン	200	2
法/スポ	スポーツと法	200	2
スポ	スポーツ社会学	200	4
共通	専門演習	300	2
歴史	社会思想史	300	4
理論/戦略	情報の経済学	300	4
理論	経済変動論	300	4
理論/戦略	ゲーム理論Ⅱ	300	2
理論/戦略	行動経済学Ⅱ	300	2
ファ/戦略	ビジネスエコノミクスⅡ	300	2
公共/地域	経済政策論	300	4
理論/公共	日本経済論	300	4
理論	産業組織論	300	2
公共	労働経済学	300	2
公共	環境経済学	300	2

地域	都市経済論	300	4
地域	地方財政	300	2
ファ/戦略	コーポレートファイナンス	300	2
戦略	コーポレートガバナンス	300	2
ファ/戦略	国際金融論	300	4
理論/国際	国際貿易論	300	4
国際	開発経済学	300	4
国際	アジア経済論	300	4
国際/戦略	国際関係論	300	4
ファ/法	金融法	300	2
法	税法	300	2
ファ/戦略/法	国際経済法	300	2
法	行政法	300	2
スポ	スポーツビジネスマネジメント	300	4
スポ	スポーツ政策	300	2
スポ	スポーツ経済学	300	4
戦略/地域	マーケティング論	300	4
戦略	経営戦略論	300	4
地域	立地論	300	4
国際	現代中国ビジネス事情 I	300	2
国際	現代中国ビジネス事情 II	300	2
ファ	ビジネス会計	300	2
ファ	地域金融講座 (飯能信用金庫寄附講座)	300	2
共通	経済学部特殊講義A	300	2
共通	経済学部特殊講義B	300	4
共通	卒業研究	400	4
ファ	金融工学	400	2
ファ	ファイナンス特別演習 I	300	2
ファ	ファイナンス特別演習 II	300	2
ファ	ファイナンス特別演習 III	400	2
ファ	ファイナンス特別演習 IV	400	2
	E-track 科目		

分野名略称

- 基礎 : 専門基礎科目
- 共通 : 共通専門科目
- 理論 : 経済理論分野
- 歴史 : 歴史と思想分野
- ファ : ファイナンス分野
- 戦略 : 戦略分野
- 公共 : 公共分野
- 地域 : 地域分野
- 国際 : 国際分野
- 法 : 法と政治分野
- スポ : スポーツ分野

別表1 (第5章第13条)

国際関係学部

1 国際関係学部 基礎教育分野

授業科目区分		授業科目名	ナンバリング	単位	
基礎教育分野	TIU コア 科目	大学生生活デザイン演習	100	2	
		初年次演習	100	2	
		ICT基礎	100	2	
	教養 コア 科目	人間 と 文化	哲学	100	4
			倫理学	100	4
			芸術論	100	4
			文学	100	4
			ことば学入門	100	4
			アジア・アラブ史	100	4
			アメリカ・ヨーロッパ史	100	4
			日本史	100	4
			地理学概論	100	4
			人文地理学	100	4
			日本の文化	100	4
			異文化概論	100	4
			文化人類学	100	4
			Introduction to American Society	100	4
	Life & Tradition in America	100	4		
	現代 社会	法学	100	4	
		憲法	100	4	
		政治学	100	4	
		経済学	100	4	
		社会学	100	4	
		現代の社会	100	4	
		心理学概論	100	4	
	自然 科学 と 環境	自然科学概論	100	4	
		環境と自然	100	4	
科学思想史		100	4		
統計学入門		100	4		
健康と スポーツ	情報処理の基礎	100	4		
	健康・スポーツ科学	100	4		
言語 スキル 科目	英 語	健康・スポーツ実技	100	1	
		Oral Communication	100	2	
		Reading & Writing	100	2	
		English Workshop	100	2	
		Media English	100	2	
		Communication Basic I	100	2	
		Communication Basic II	100	2	
		English Comprehension I	100	2	
		English Comprehension II	100	2	
		English Project Workshop	100	2	
		Basic Speaking I ※1	100	1	
		Basic Speaking II ※1	100	1	
		Basic Writing I ※1	100	1	
		Basic Writing II ※1	100	1	
		Communication Core I	200	2	
		Communication Core II	200	2	
		Intermediate Speaking and Listening A	200	2	
		Intermediate Speaking and Listening B	200	2	
	Intermediate Reading and Writing A	200	2		
	Intermediate Reading and Writing B	200	2		
その 他の 外 国 語	ドイツ語入門	100	2		
	実践ドイツ語	100	2		
	フランス語入門	100	2		
	実践フランス語	100	2		
	スペイン語入門	100	2		
	実践スペイン語	100	2		
	中国語入門	100	2		
	実践中国語	100	2		
	ハンガール入門	100	2		
	実践ハンガール	100	2		
	ロシア語入門	100	2		
	アラビア語入門	100	2		
日留 本学 語生	アカデミック日本語	100	2		
	日本語ワークショップ	100	2		
	ビジネス日本語	200	2		

自由 選択 科目	キャリア 支援 科目 形成	インターンシップ入門 インターンシップ グローバルインターンシップ ボランティア活動 アカデミック・ライティング キャリア・Re-スタート 地域の安全と警察	100 200 200 100 100 200 200	2 1* 4 1 2 2 2
	プロ ジェ ク ト 科 目	観光まちおこしワークショップ入門 観光まちおこしワークショップ実践A 観光まちおこしワークショップ実践B 観光まちおこしワークショップ実践C 観光まちおこしプロジェクト A 観光まちおこしプロジェクト B 観光まちおこしプロジェクト C 留学プランニング (ASP Prep) 海外ゼミナールA 海外ゼミナールB 特別授業A 特別授業B スポーツパフォーマンス実習Ⅰ ※2 スポーツパフォーマンス実習Ⅱ ※2 基礎科目特殊講義A 基礎科目特殊講義B	100 100 100 100 200 200 200 100 200 200 200 200 100 100 100 100 100	2 2 2 2 1 1 1 1 4 2 2 4 2 2 2 4

- ※1を付した授業科目は、グローバル・コースに登録した学生のみ履修することができる。
- ※2を付した授業科目は、強化クラブ所属学生のみ履修することができる。
- *「インターンシップ」は、実習時間数に応じて、単位を修得できる。
- 改正前学則別表1中の「日本語文章理解・表現Ⅰ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語Ⅰ」を、「日本語文章理解・表現Ⅱ」及び「日本語文章理解・表現Ⅲ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語Ⅱ」を、「聴解・口頭表現Ⅰ」及び「総合日本語Ⅰ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップⅠ」を、「聴解・口頭表現Ⅱ」及び「総合日本語Ⅱ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップⅡ」を、それぞれ履修することはできない。
- 改正前学則別表1中の「English Project Workshop A」又は「English Project Workshop B」を修得済みの学生は「English Project Workshop」を、「Advanced Speaking and Listening A」を修得済みの学生は「Intermediate Speaking and Listening A」を、「Advanced Speaking and Listening B」を修得済みの学生は「Intermediate Speaking and Listening B」を、「Advanced Reading and Writing A」を修得済みの学生は「Intermediate Reading and Writing A」を、「Advanced Reading and Writing B」を修得済みの学生は「Intermediate Reading and Writing B」を、それぞれ履修することはできない。
- 改正前学則別表1中の「アカデミック日本語Ⅰ」及び/又は「アカデミック日本語Ⅱ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語」を、「日本語ワークショップⅠ」及び/又は「日本語ワークショップⅡ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップ」を、それぞれ履修することはできない。

2 国際関係学科 専門教育分野

授業科目区分	授業科目名	ナバリング	単位
必修	国際関係学入門	200	2
卒業 演習 ・ 研究	基礎演習	200	2
	専門演習	300	2
	卒業研究	400	4
① 戦 争 と 平 和	国際政治学	200	4
	国際経済学	200	4
	国際法	200	4
	政治思想 ※1	300	4
	国際政治史	300	4
	ナショナリズム論	300	4
	軍縮安全保障論	300	4
	国際金融論	300	4
	比較政治学	300	4
比較憲法論	300	4	

国際関係学科専門分野	② 国際協力	国際ボランティア論	200	4
		国際援助技術論	200	4
		国際理解論	200	4
		国際開発論	200	4
		国際組織論	300	4
		国際統合論	300	4
		国際環境論	300	4
		国際人権論	300	4
		国際資源論	300	4
		国際経営論	300	4
	③ 現代日本	日本政治史	200	4
	日本外交論	300	4	
	日本の安全保障	300	4	
	日本経済論	300	4	
	日本の環境政策	300	4	
	④ 国際地域研究	アメリカ社会文化論	200	4
		ヨーロッパ社会文化論	200	4
		ロシア社会文化論	200	4
		東アジア社会文化論	200	4
		中東アフリカ社会文化論	200	4
アメリカの政治と外交		300	4	
西ヨーロッパの政治と外交 ※1		300	4	
東ヨーロッパの政治と外交 ※1		300	4	
中国の政治と外交		300	4	
朝鮮半島の政治と外交		300	4	
⑤ ツーリズム	観光メディア論	200	4	
	ホスピタリティ論 ※1	200	2	
	観光ビジネス論	200	2	
	観光マーケティング論	200	2	
	観光実務研修Ⅰ	200	2	
	観光先進地研修Ⅰ	200	2	
	観光社会学	300	4	
	国際観光英語演習	300	2	
	観光魅力創造論	300	2	
	観光マネジメント論	300	2	
MICE産業論	300	2		
観光コミュニケーション論	300	2		
観光実務研修Ⅱ	300	2		
観光先進地研修Ⅱ	300	2		
観光実務研修Ⅲ	400	2		
観光先進地研修Ⅲ	400	2		
E-track	E-track科目			

※1を付した授業科目は名称変更がなされた授業科目であり、それぞれの対応する旧科目名は次の通りである。旧科目を履修済みの学生は、名称変更後の対応する科目を履修することはできない。

授業科目名	旧・授業科目名
政治思想	平和思想
西ヨーロッパの政治と外交	国際関係学部特殊講義B (2016年度及び2017年度開講分)
東ヨーロッパの政治と外交	ヨーロッパの政治と外交
ホスピタリティ論	ホスピタリティー・コミュニケーション

表中の「朝鮮半島の政治と外交」は旧科目「北東アジアの政治と外交」が名称変更された授業科目であり、旧科目を修得済みの者は同科目を履修することはできない。

3 国際メディア学科 専門教育分野

授業科目区分	授業科目名	ナパリング	単位
必修	国際関係学入門	200	2
卒業演習・卒業研究	基礎演習	200	2
	専門演習	300	2
	卒業研究	400	4

国際メディア学科専門分野	① メディア	メディア産業論	200	2
		メディア・コミュニケーション概論	200	4
		メディア史	200	4
		コミュニケーション理論	200	2
		広告演習Ⅰ	200	4
		映像制作Ⅰ	200	4
		映像制作・取材	200	4
		スポーツジャーナリズム	300	2
		社会情報学	300	4
		ジャーナリズム論	300	4
		メディア倫理・法制	300	4
		情報政策論	300	4
		出版論	300	4
		映像論	300	4
		広告メディア論	300	4
		パブリックリレーションズ	300	4
		ソーシャルメディア・コミュニケーション	300	4
		取材・ライティング演習	300	4
		広告演習Ⅱ	300	4
		雑誌編集	300	4
		写真演習	300	4
		映像制作Ⅱ	300	4
		映像制作・編集	300	4
		ナレーション演習	300	4
		先端メディア・テクノロジー特論	300	4
		エンターテインメント・マーケティング	300	4
	コミュニケーション調査法	300	4	
	② ツーリズム	観光メディア論	200	4
		ホスピタリティ論 ※1	200	2
		観光ビジネス論	200	2
		観光マーケティング論	200	2
		観光実務研修Ⅰ	200	2
		観光先進地研修Ⅰ	200	2
		観光社会学	300	4
		国際観光英語演習	300	2
		観光魅力創造論	300	2
観光マネジメント論		300	2	
MICE産業論		300	2	
観光コミュニケーション論		300	2	
観光実務研修Ⅱ		300	2	
観光先進地研修Ⅱ		300	2	
観光実務研修Ⅲ	400	2		
観光先進地研修Ⅲ	400	2		
③ コミュニケーション	メディアリテラシー入門 ※1	200	4	
	異文化コミュニケーション論	200	4	
	英語通訳法入門	200	4	
	Study-Abroad Workshop	200	2	
	English in the Media	200	2	
	談話分析 ※1	200	2	
	社会言語学	300	4	
	第二言語習得論	300	4	
	現代日本事情	300	4	
	メディアとことば	300	4	
	世界の言語政策	300	4	
	英語通訳法 ※1	300	4	
	Current Issues A	300	2	
	Current Issues B	300	2	
	Intercultural Communication	300	4	
	Media Studies	300	4	

※1を付した授業科目は名称変更がなされた授業科目であり、それぞれの対応する旧科目名は次の通りである。旧科目を履修済みの学生は、名称変更後の対応する科目を履修することはできない。

授業科目名	旧・授業科目名
ホスピタリティ論	ホスピタリー・コミュニケーション
談話分析	対照言語学
英語通訳法	英語通訳・翻訳演習
メディアリテラシー入門	日本語学概論

旧科目「社会言語学」（ナンバリング200, 2単位）を修得済みの者は、「社会言語学」（ナンバリング300, 4単位）を履修することはできない。

4 学科間共通専門分野

学科間共通	プ(1)	国際教育プログラムⅠ	200	2
	ロ特	国際教育プログラムⅡ	200	2
	グ別	国際教育プログラムⅢ	200	2
	ラ教	国際関係学部特殊講義A	300	2
	ム育	国際関係学部特殊講義B	300	4

別表1 (第5章第13条)

人間社会学部

1 人間社会学部 基礎教育分野

授業科目区分	授業科目名	ナンバリング	単位	
TIUコア 科目	大学生生活デザイン演習	100	2	
	初年次演習	100	2	
	ICT基礎	100	2	
教養 コア科目	人間と文化	100	4	
	倫理学	100	4	
	芸術論	100	4	
	文学	100	4	
	ことば学入門	100	4	
	アジア・アラブ史	100	4	
	アメリカ・ヨーロッパ史	100	4	
	日本史	100	4	
	地理学概論	100	4	
	人文地理学	100	4	
	日本の文化	100	4	
	異文化概論	100	4	
	文化人類学	100	4	
	Introduction to American Society	100	4	
	Life & Tradition in America	100	4	
	現代社会	100	4	
	憲法	100	4	
	政治学	100	4	
	経済学	100	4	
	社会学	100	4	
	現代の社会	100	4	
	心理学概論	100	4	
	自然科学と環境	100	4	
	自然科学概論	100	4	
	環境と自然	100	4	
	科学思想史	100	4	
	統計学入門	100	4	
	情報処理の基礎	100	4	
	健康とスポーツ	健康・スポーツ科学	100	4
	健康・スポーツ実技	100	1	
	言語 スキル科目	英語	100	2
		Reading & Writing	100	2
		English Workshop	100	2
Media English		100	2	
Communication Basic I ※1		100	2	
Communication Basic II ※1		100	2	
English Comprehension I ※1		100	2	
English Comprehension II ※1		100	2	
Basic Speaking I ※2		100	1	
Basic Speaking II ※2		100	1	
Basic Writing I ※2		100	1	
Basic Writing II ※2		100	1	
Intermediate Speaking and Listening A		200	2	
Intermediate Speaking and Listening B		200	2	
Intermediate Reading and Writing A		200	2	
Intermediate Reading and Writing B		200	2	
その他の外国語		ドイツ語入門	100	2
実践ドイツ語		100	2	
フランス語入門		100	2	
実践フランス語		100	2	
スペイン語入門		100	2	
実践スペイン語		100	2	
中国語入門		100	2	
実践中国語		100	2	
ハンガール入門		100	2	
実践ハンガール		100	2	
ロシア語入門		100	2	
アラビア語入門	100	2		
日留本学 語生	アカデミック日本語	100	2	
日本語ワークショップ	100	2		
ビジネス日本語	200	2		
キャ リア 形成 科目	インターンシップ入門	100	2	
	インターンシップ	200	1*	
	グローバルインターンシップ	200	4	
	ボランティア活動	100	1	
	アカデミック・ライティング	100	2	
	キャリア・Re-スタート	200	2	
地域の安全と警察	200	2		

自由 選 択 科 目	プ ロ ジ エ ク ト 科 目	観光まちおこしワークショップ入門	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践A	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践B	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践C	100	2
		観光まちおこしプロジェクト A	200	1
		観光まちおこしプロジェクト B	200	1
		観光まちおこしプロジェクト C	200	1
		留学プランニング (ASP Prep)	100	1
		海外ゼミナールA	200	4
		海外ゼミナールB	200	2
		特別授業A	200	2
		特別授業B	200	4
		スポーツパフォーマンス実習Ⅰ ※3	100	2
		スポーツパフォーマンス実習Ⅱ ※3	100	2
		基礎科目特殊講義A	100	2
基礎科目特殊講義B	100	4		

- ※1を付した授業科目は、グローバル・コース、グローバル・スポーツ・プログラム、スチューデント・スポーツ・アドミニストレーター・プログラムに登録した学生のみ履修することができる。
- ※2を付した授業科目は、グローバル・コースに登録した学生のみ履修することができる。
- ※3を付した授業科目は、強化クラブ所属学生のみ履修することができる。
- *「インターンシップ」は、実習時間数に応じて、単位を修得できる。
- 改正前学則別表1中の「日本語文章理解・表現Ⅰ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語Ⅰ」を、「日本語文章理解・表現Ⅱ」及び「日本語文章理解・表現Ⅲ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語Ⅱ」を、「聴解・口頭表現Ⅰ」及び「総合日本語Ⅰ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップⅠ」を、「聴解・口頭表現Ⅱ」及び「総合日本語Ⅱ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップⅡ」を、それぞれ履修することはできない。
- 改正前学則別表1中の「Advanced Speaking and Listening A」を修得済みの学生は「Intermediate Speaking and Listening A」を、「Advanced Speaking and Listening B」を修得済みの学生は「Intermediate Speaking and Listening B」を、「Advanced Reading and Writing A」を修得済みの学生は「Intermediate Reading and Writing A」を、「Advanced Reading and Writing B」を修得済みの学生は「Intermediate Reading and Writing B」を、それぞれ履修することはできない。
- 改正前学則別表1中の「アカデミック日本語Ⅰ」及び/又は「アカデミック日本語Ⅱ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語」を、「日本語ワークショップⅠ」及び/又は「日本語ワークショップⅡ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップ」を、それぞれ履修することはできない。

2 福祉心理学科 専門教育分野

授業科目区分	授業科目名	ナンバリング	単位
学 科 間 共 通 専 門 科 目	基礎演習	200	2
	専門演習	300	2
	卒業研究	400	4
	教育原理	200	4
	教育相談	200	2
	社会福祉概論	200	4
	児童福祉論	200	4
	福祉教育論	300	4
	医療社会論	300	4
	教育心理学	200	4
	発達心理学	200	4
	対人関係論	200	4
	社会心理学	200	4
	スポーツ社会学	200	4
	スポーツ心理学	200	4
	スポーツ・アドミニストレーション 入門	200	2
	スポーツ・アドミニストレーション	300	2
	スポーツ産業論	300	2
	スポーツウェルネス	300	4
	コミュニティスポーツ論	300	4
	人間社会学部特殊講義A	300	2
	人間社会学部特殊講義B	300	4
	地域福祉論	200	4
	公的扶助論	200	2
	老人福祉論	200	4
	障害者福祉論	200	4
	介護概論	200	2
	相談援助の基盤と専門職	200	4
	相談援助の理論と方法Ⅰ	200	4
	相談援助の理論と方法Ⅱ	200	4
	相談援助演習Ⅰ	200	2
	精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）	200	2
	精神保健福祉に関する制度とサービス	200	4
	精神障害者の生活支援システム	200	2
	精神保健福祉理論と相談援助の展開Ⅰ	200	4
	精神保健理論と相談援助の展開Ⅱ	200	4

学科別専門科目	人権擁護と就労支援	200	4
	医学一般	300	4
	相談援助実習	300	6
	相談援助実習指導	300	3
	精神保健福祉援助演習（基礎）	300	1
	精神保健福祉援助演習（専門）Ⅰ	300	1
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	300	1
	福祉政策論	300	4
	医療福祉論	300	4
	社会保障論	300	4
	社会福祉調査論	300	2
	精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	300	2
	福祉セミナーⅠA～C	300	2
	相談援助演習Ⅱ	400	3
	精神保健福祉援助演習（専門）Ⅱ	400	1
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	400	2
	精神保健福祉援助実習	400	7
	精神保健福祉援助実習	400	5
	福祉セミナーⅡA～C	400	2
	心理学研究法	200	4
	心理学統計・解析	200	4
	組織コミュニケーション論	200	4
	青年心理学	200	4
	人格心理学	200	2
	臨床心理学	200	4
	カウンセリング	200	4
	精神保健学	200	4
	実験心理学	300	4
	産業・組織心理学	300	4
	福祉心理学	300	4
	障害者（児）心理学	300	4
	心理療法	300	4
	児童の心理臨床	300	4
精神分析学	300	4	
精神医学	300	4	
心理検査法実習	300	4	
心理学基礎実験	300	4	
心理学英書講読	300	4	

3 人間スポーツ学科 専門教育分野

授業科目区分	授業科目名	ナンバリング	単位
学科間共通専門科目	基礎演習	200	2
	専門演習	300	2
	卒業研究	400	4
	教育原理	200	4
	教育相談	200	2
	社会福祉概論	200	4
	児童福祉論	200	4
	福祉教育論	300	4
	医療社会論	300	4
	教育心理学	200	4
	発達心理学	200	4
	対人関係論	200	4
	社会心理学	200	4
	スポーツ社会学	200	4
	スポーツ心理学	200	4
	スポーツ・アドミニストレーション入門	200	2
	スポーツ・アドミニストレーション	300	2
	スポーツ産業論	300	2
	スポーツウェルネス	300	4
	コミュニティスポーツ論	300	4
	人間社会学部特殊講義A	300	2
	人間社会学部特殊講義B	300	4
		スポーツ哲学	200
体育史		200	2
身体づくり運動（保体教職）		200	2
スポーツ技術・戦術論		200	2
健康運動実習Ⅰ		200	1
応用スポーツ医学Ⅰ		300	2
応用スポーツ医学Ⅱ		300	2
エアロビクスⅠ		200	4
救急・応急処置		300	2
運動機能解剖学		200	4
スポーツ生理学		200	4
スポーツ栄養学		200	4
身体運動文化論		200	4
野外教育論		200	2
レクリエーション論		200	2

学科別専門科目	スポーツトレーニング論	300	4
	コンディショニング演習	400	2
	衛生・公衆衛生学	300	4
	健康管理概論	400	4
	スポーツ政策	300	2
	健康運動実習Ⅱ	300	1
	応用スポーツ医学Ⅲ（含実習）	400	2
	エアロビクスⅡ	400	2
	実践スポーツ英語	300	4
	学校保健	300	4
	スポーツ運動学	300	2
	スポーツ医学	300	4
	体力測定評価	200	2
	運動処方論	300	4
	スポーツバイオメカニクス	300	4
	国際スポーツ文化論	300	4
	スポーツ教育学	300	4
	生涯スポーツ概論	300	4
	スポーツビジネスマネジメント	300	4
	運動療法論	400	4
	健康産業施設等現場実習	400	2
	スポーツ科学実習：陸上競技	200	1
	スポーツ科学実習：サッカー初級	200	1
	スポーツ科学実習：サッカー中級	200	1
	スポーツ科学実習：ダンス	200	1
	スポーツ科学実習：器械体操	200	1
	スポーツ科学実習：バスケットボール	200	1
	スポーツ科学実習：バレーボール	200	1
	スポーツ科学実習：ソフトボール	200	1
	スポーツ科学実習：ゴルフ初級	200	1
	スポーツ科学実習：柔道初級	200	1
	スポーツ科学実習：水泳	200	1
	スポーツ科学実習：野球初級	200	1
	スポーツ科学実習：テニス初級	200	1
	夏期野外実習	200	1
	冬期野外実習	300	1

4 スポーツ科学科 専門教育分野

授業科目区分	授業科目名	ナンバリング	単位	
学科間共通専門科目	基礎演習	200	2	
	専門演習	300	2	
	卒業研究	400	4	
	教育原理	200	4	
	教育相談	200	2	
	社会福祉概論	200	4	
	児童福祉論	200	4	
	福祉教育論	300	4	
	医療社会学	300	4	
	教育心理学	200	4	
	発達心理学	200	4	
	対人関係論	200	4	
	社会心理学	200	4	
	スポーツ社会学	200	4	
	スポーツ心理学	200	4	
	スポーツ・アドミニストレーション入門	200	2	
	スポーツ・アドミニストレーション	300	2	
	スポーツ産業論	300	2	
	スポーツウェルネス	300	4	
	コミュニティースポーツ論	300	4	
	人間社会学部特殊講義A	300	2	
	人間社会学部特殊講義B	300	4	
		スポーツ哲学	200	2
		体育史	200	2
		身体づくり運動（保体教職）	200	2
スポーツ技術・戦術論		200	2	
健康運動実習Ⅰ		200	1	
応用スポーツ医学Ⅰ		300	2	
応用スポーツ医学Ⅱ		300	2	
エアロビクスⅠ		200	4	
運動トレーニング基礎理論		200	4	
解剖生理学		200	4	
メンタルトレーニング論		200	2	
スポーツトレーニング論		300	4	
コンディショニング演習		400	2	
衛生・公衆衛生学		300	4	
健康管理概論		400	4	
スポーツ政策		300	2	
健康運動実習Ⅱ		300	1	

学科別専門科目	応用スポーツ医学Ⅲ（含実習）	400	2
	エアロビクスⅡ	400	2
	実践スポーツ英語	300	4
	学校安全保健	300	4
	スポーツ法学	300	2
	健康教育栄養学	300	4
	健康心理学	300	2
	スポーツジャーナリズム	300	2
	スポーツ経営学	300	2
	スポーツ外傷・障害	400	4
	メンタルトレーニング演習	300	2
	アスレティックリハビリテーション論	300	2
	アスレティックリハビリテーション演習	300	2
	スポーツ生理学実習	300	2
	サッカーコーチング演習Ⅰ	300	2
	サッカーコーチング演習Ⅱ	300	2
	ゴルフコーチング演習Ⅰ	300	2
	ゴルフコーチング演習Ⅱ	300	2
	スポーツコーチング論	400	4
	健康産業施設等現場実習	400	2
	スポーツ科学実習：陸上競技	200	1
	スポーツ科学実習：サッカー初級	200	1
	スポーツ科学実習：サッカー中級	200	1
	スポーツ科学実習：ダンス	200	1
	スポーツ科学実習：器械体操	200	1
	スポーツ科学実習：バスケットボール	200	1
	スポーツ科学実習：バレーボール	200	1
	スポーツ科学実習：ソフトボール	200	1
	スポーツ科学実習：ゴルフ初級	200	1
	スポーツ科学実習：柔道初級	200	1
	スポーツ科学実習：水泳	200	1
	スポーツ科学実習：野球初級	200	1
	スポーツ科学実習：テニス初級	200	1
	スポーツ科学実習：ゴルフ上級	300	1
	スポーツ科学実習：柔道上級	300	1
	スポーツ科学実習：野球上級	300	1
スポーツ科学実習：テニス上級	300	1	

別表1 (第5章第13条)

言語コミュニケーション学部

1 英語コミュニケーション学科 基礎教育分野

授業科目区分	授業科目名	ナンバリング	単位	
TIUコア 科目	大学生活デザイン演習	100	2	
	初年次演習	100	2	
	ICT基礎	100	2	
教養 コア科目	哲学	100	4	
	倫理学	100	4	
	芸術論	100	4	
	文学	100	4	
	ことば学入門	100	4	
	アジア・アラブ史	100	4	
	アメリカ・ヨーロッパ史	100	4	
	日本史	100	4	
	地理学概論	100	4	
	人文地理学	100	4	
	日本の文化	100	4	
	異文化概論	100	4	
	文化人類学	100	4	
	Introduction to American Society	100	4	
	Life & Tradition in America	100	4	
	現代 社会	法学	100	4
		憲法	100	4
		政治学	100	4
		経済学	100	4
		社会学	100	4
		現代の社会	100	4
		心理学概論	100	4
	自然 科学と 環境	自然科学概論	100	4
		環境と自然	100	4
		科学思想史	100	4
		統計学入門	100	4
		情報処理の基礎	100	4
	健康と スポーツ	健康・スポーツ科学	100	4
		健康・スポーツ実技	100	1
	言語 スキル 科目	Communication Basic I	100	2
		Communication Basic II	100	2
		English Comprehension I	100	2
		English Comprehension II	100	2
Basic Speaking I		100	1	
Basic Speaking II		100	1	
Basic Writing I		100	1	
Basic Writing II		100	1	
English Project Workshop		100	2	
Communication Core I		200	2	
Communication Core II		200	2	
English Production I		200	2	
English Production II		200	2	
Intermediate Speaking and Listening A		200	2	
Intermediate Speaking and Listening B		200	2	
Intermediate Reading and Writing A		200	2	
Intermediate Reading and Writing B		200	2	
その 他の 外国 語		ドイツ語入門	100	2
		実践ドイツ語	100	2
		フランス語入門	100	2
		実践フランス語	100	2
		スペイン語入門	100	2
		実践スペイン語	100	2
		中国語入門	100	2
		実践中国語	100	2
		ハングル入門	100	2
		実践ハングル	100	2
		ロシア語入門	100	2
		アラビア語入門	100	2
日留 本学 語生		アカデミック日本語	100	2
		日本語ワークショップ	100	2
		ビジネス日本語	200	2
キャ リア 形成 科目		インターンシップ入門	100	2
	インターンシップ	200	1*	
	グローバルインターンシップ	200	4	
	ボランティア活動	100	1	
	アカデミック・ライティング	100	2	
	キャリア・Re-スタート	200	2	
	地域の安全と警察	200	2	

自由 選 択 科 目	プ ロ ジ ェ ク ト 科 目	観光まちおこしワークショップ入門	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践A	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践B	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践C	100	2
		観光まちおこしプロジェクト A	200	1
		観光まちおこしプロジェクト B	200	1
		観光まちおこしプロジェクト C	200	1
		留学プランニング (ASP Prep)	100	1
		海外ゼミナールA	200	4
		海外ゼミナールB	200	2
		特別授業A	200	2
		特別授業B	200	4
		スポーツパフォーマンス実習Ⅰ ※1	100	2
		スポーツパフォーマンス実習Ⅱ ※1	100	2
		基礎科目特殊講義A	100	2
基礎科目特殊講義B	100	4		

- ※1を付した授業科目は、強化クラブ所属学生のみ履修することができる。
- *「インターンシップ」は、実習時間数に応じて、単位を修得できる。
- 改正前学則別表1中の「日本語文章理解・表現Ⅰ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語Ⅰ」を、「日本語文章理解・表現Ⅱ」及び「日本語文章理解・表現Ⅲ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語Ⅱ」を、「聴解・口頭表現Ⅰ」及び「総合日本語Ⅰ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップⅠ」を、「聴解・口頭表現Ⅱ」及び「総合日本語Ⅱ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップⅡ」を、それぞれ履修することはできない。
- 改正前学則別表1中の「English Project Workshop A」又は「English Project Workshop B」を修得済みの学生は「English Project Workshop」を、「Advanced Speaking and Listening A」を修得済みの学生は「Intermediate Speaking and Listening A」を、「Advanced Speaking and Listening B」を修得済みの学生は「Intermediate Speaking and Listening B」を、「Advanced Reading and Writing A」を修得済みの学生は「Intermediate Reading and Writing A」を、「Advanced Reading and Writing B」を修得済みの学生は「Intermediate Reading and Writing B」を、それぞれ履修することはできない。
- 改正前学則別表1中の「アカデミック日本語Ⅰ」及び/又は「アカデミック日本語Ⅱ」を修得済みの学生は「アカデミック日本語」を、「日本語ワークショップⅠ」及び/又は「日本語ワークショップⅡ」を修得済みの学生は「日本語ワークショップ」を、それぞれ履修することはできない。

2 英語コミュニケーション学科 専門教育分野

授業科目区分	授業科目名	ナンバリング	単位
卒 業 演 習 ・ 研 究	基礎演習	200	2
	専門演習	300	2
	卒業研究	400	4
Ⅱ 言 語 学 / 文 学 エ リ ア	言語学入門	200	2
	コミュニケーション学	200	2
	英語学概論	200	4
	音声学	200	2
	英文法	200	2
	英語文学 A ※1	200	2
	英語文学 B ※1	200	2
	英語児童文学 ※1	200	2
	英語文学 C ※1	300	2
	Communicative Grammar	300	2
	意味論	300	2
	社会言語学	300	4
比較文学	300	2	
外国語研究	300	2	

III グローバル・ スタディーズ・ エリア	III-1 コミュニケーション	異文化間コミュニケーション 英語通訳法入門 College Speaking and Listening ※2 College Reading and Writing ※2 英語通訳法 メディアとジャーナリズム Media and Communication Academic Speaking and Listening A Academic Speaking and Listening B Academic Reading and Writing A Academic Reading and Writing B Cross-Cultural Communication	200 200 200 200 300 300 300 300 300 300 300 400	2 4 2 2 4 4 2 2 2 2 2
	III-2 グローバル スタディーズ	Current Topics 国際政治学 国際関係論 国際法 国際理解論 ジェンダー論 国際協力論 Contemporary Global Issues and Japan Cross-Cultural Studies A Cross-Cultural Studies B 言語コミュニケーション学部特殊講義A 言語コミュニケーション学部特殊講義B アメリカ研究 イギリス研究 アジア研究 Life in the UK	300 200 200 200 200 300 300 300 300 300 300 200 200 200 200	4 4 4 4 4 4 4 4 2 2 2 4 2 2 2 2
IV 英語 教育 エリア	教育原理 教育相談 児童心理学 教育心理学 学校インターンシップ 第二言語習得研究 英語視聴覚教育 SLA&Education	200 200 200 200 200 300 300 300	4 2 2 4 2 2 2 2	
V 英語 ビジネス エリア	ビジネス入門 実践ビジネス講座 ホスピタリティ論 観光学概論 観光ガイド通訳 国際ビジネス論 経営学概論 貿易論 ファイナンス概論 ロジカル・コミュニケーション ビジネス基礎 Business Communication Intercultural Business Communication Intercultural Business Negotiation Business in Asia 国際秘書実務 English for Tourism 観光ガイド実習 貿易実務 会社法 マーケティング論 流通論 マーケティングコミュニケーション論 English Business Presentation ※1 企業研究 企業のコミュニケーション戦略 日本語ディベート Advanced Argumentation and Debate ※1 ビジネス プロジェクト J Business Project E	100 200 200 200 300 200 200 200 200 200 200 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 400 400 400 400 400 400	4 4 2 2 2 4 4 4 4 2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 2 2 4 4 4 2 4 4 2 4 4	

※1を付した授業科目は名称変更がなされた授業科目であり、それぞれの対応する旧科目名は次の通りである。旧科目を履修済みの学生は、名称変更後の対応する科目を履修することはできない。

授業科目名	旧・授業科目名
英語文学 A	英米文学 A
英語文学 B	英米文学 B
英語児童文学	英米児童文学
英語文学 C	英米文学 C

English Business Presentation	英語ビジネス・プレゼンテーション
Advanced Argumentation & Debate	英語ディベート

旧科目「社会言語学A（マイクロ）」及び同「社会言語学B（マクロ）」を修得済みの者は、「社会言語学」を履修することはできない。
※2を付した授業科目は、グローバル・ビジネスコースに登録した学生のみ履修することができる。

別表1 (第5章第13条)

医療健康学部

1 医療健康学部 基礎教育分野

授業科目区分		授業科目名	ナンバリング	単位
TIUコア科目		ICT基礎	100	2
		大学生活デザイン演習	100	2
教養 コア 科目	人間 と 文 化	生命倫理学	100	2
		人間関係論	100	2
		哲学	100	4
		倫理学	100	4
		芸術論	100	4
		文化人類学	100	4
		Introduction to American Society	100	4
	現代 社会	法学	100	4
		憲法	100	4
		社会学	100	4
		現代の社会	100	4
		心理学概論	100	4
	自然科学 と環境	基礎統計学	100	2
		環境と自然	100	4
情報処理の基礎		100	4	
健康と スポーツ	健康・スポーツ科学	100	4	
	健康・スポーツ実技	100	1	
言語スキル 科目	英語	Oral Communication	100	2
		Reading & Writing	100	2
自由 選 択 科 目	形 成 目 支 援	インターンシップ(体験型) *	200	1
		インターンシップ(実践学修型) **	200	3
		ボランティア活動	100	1
		キャリア・Re-スタート	200	2
		地域の安全と警察	200	2
	プ ロ ジ ェ ク ト 科 目	観光まちおこしワークショップ入門	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践A	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践B	100	2
		観光まちおこしワークショップ実践C	100	2
		観光まちおこしプロジェクトA	200	1
		観光まちおこしプロジェクトB	200	1
		観光まちおこしプロジェクトC	200	1

- 1) * 「インターンシップ（体験型）」は、実習時間数に応じて、1～2単位を修得できる。
 2) ** 「インターンシップ（実践学修型）」は、実習時間数に応じて、3単位以上を修得できる。

2 理学療法学科 専門教育分野

授業科目区分		授業科目名	ナンバリング	単位
専門基礎科目	人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 心 身 の 発 達	運動解剖学	200	1
		運動学	100	1
		運動学実習	200	1
		運動生理学	200	1
		解剖学Ⅰ	100	1
		解剖学Ⅱ	100	1
		解剖学Ⅲ	100	1
		解剖学実習Ⅰ	100	1
		解剖学実習Ⅱ	100	1
		心身機能発達学	100	1
		生理学Ⅰ	100	1
		生理学Ⅱ	100	1
		生理学実習	100	1
		疾 病 と 障 害 の 成 り 立 ち 及 び 回 復 過 程 の 促 進	医学一般Ⅰ	200
	医学一般Ⅱ		200	1
	栄養学		200	1
	画像診断学		200	1
	救急救命医学		300	1
	公衆衛生学		200	1
	疾病予防と健康増進		300	2
	神経内科学Ⅰ		200	1
	神経内科学Ⅱ		200	1
	整形外科学Ⅰ		200	1
	整形外科学Ⅱ		200	1
	精神医学		200	1
	病理学		200	1
	薬理学		300	1
	臨床心理学	200	1	
	保 健 医 療 福 祉 と リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン の 理 念	健康ビジネス論	400	2
		社会福祉概論	200	1
		地域包括ケアシステム論	300	1
		チーム医療論	300	1
		リハビリテーション概論	100	1

専 門 科 目	基 礎 理 学 療 法 学	基礎理学療法学	100	1
		基礎理学療法学演習Ⅰ	100	1
		基礎理学療法学演習Ⅱ	100	1
		生体観察と触診法	100	1
		理学療法学概論	100	1
		理学療法学特論	200	1
		理学療法文献講読	300	2
		理学療法臨床英語	300	1
	理学療法管理学	理学療法管理学	400	2
	理 学 療 法 学 評 価 学	機能・能力評価学Ⅰ	100	2
		機能・能力評価学実習Ⅰ	100	1
		機能・能力評価学Ⅱ	200	2
		機能・能力評価学実習Ⅱ	200	1
		臨床運動分析学演習	200	2
	理 学 療 法 治 療 学	ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法	400	1
		運動器理学療法学Ⅰ	200	1
		運動器理学療法学実習Ⅰ	200	1
		運動器理学療法学Ⅱ	300	1
		運動器理学療法学実習Ⅱ	300	1
		運動療法学	100	1
		運動療法学実習	200	1
		義肢装具学	200	1
		義肢装具学演習	200	1
		クリニカル・リーズニング総論	300	2
		クリニカル・リーズニング各論	400	2
		障がい者スポーツ支援論	400	2
		小児理学療法学	300	1
		神経・筋疾患理学療法学	300	1
		スポーツトレーニング特論	400	2
		スポーツ理学療法学	300	2
		スポーツ理学療法学演習	300	2
		神経理学療法学Ⅰ	200	1
		神経理学療法学実習Ⅰ	200	1
神経理学療法学Ⅱ		300	1	
神経理学療法学実習Ⅱ		300	1	
疼痛理学療法学		300	1	
内部機能理学療法学Ⅰ		300	1	
内部機能理学療法学Ⅱ		300	1	
内部機能理学療法学実習		300	1	
日常生活活動理学療法学		200	1	
日常生活活動理学療法学実習	200	1		
物理療法学	200	1		
物理療法学実習	200	1		
理学療法リスクマネジメント演習	200	1		
理学療法学演習Ⅰ	200	1		

	理学療法学演習Ⅱ	200	1
	理学療法学演習Ⅲ	300	1
	臨床理学療法論	400	2
地域 療法 学	介護予防評価演習	300	2
	生活環境支援理学療法学	300	1
	地域理学療法学	300	1
	予防理学療法学総論	300	1
	予防理学療法学各論	400	2
臨床実習	機能・能力評価学臨床実習	200	5
	総合臨床実習Ⅰ	300	7
	総合臨床実習Ⅱ	400	9
総合分野	総合理学療法学	400	2
	理学療法学研究法	300	1
	理学療法学研究実践法	400	2

別表1(第5章第13条)

イングリッシュ・トラック

1.経済学部経済学科 ビジネスエコノミクス専攻

授業科目区分	授業科目名	ナンバリング	単位	
General Education	Academic Literacy	Academic Composition I	100	4
		Academic Composition II	100	4
		Analytical Reading and Thinking	100	4
		Public Speaking	100	4
	Liberal Arts	Business and Social Impact	100	4
		Food Value Chain and Sustainability	100	4
		Fundamentals of Mathematics	100	4
		Innovation and R & D Strategy	100	4
		Introduction to Informatics & Computing	100	4
		Principles of Management ※1	100	4
		Introduction to Social Psychology	100	4
		Introduction to Sociology	100	4
		Statistics I ※1	100	4
		IT Literacy	100	4
		Sustainable Society	100	4
		Introduction to International Relations	100	4
		Principles of Economics	100	4
		Principles of Political Science	100	4
	World Economy	100	4	
	Topics in Liberal Arts ※2	100 or 200	4	
	Topics in Liberal Arts ※2	100 or 200	2	
	Japanese	Elementary Japanese 1A ※4	100	4
		Elementary Japanese 1B ※4	100	4
		Elementary Japanese 2A ※4	100	4
		Elementary Japanese 2B ※4	100	4
		Intermediate Japanese 1	200	4
		Intermediate Japanese 2	200	4
		Advanced Japanese 1	200	4
Advanced Japanese 2		200	4	
Upper-Advanced Japanese		200	2	
Business Japanese		200	2	
	Business Communications and Productivity	200	4	
	Introduction to Computer Networking	200	4	
	Foundations of Python	200	4	
	Macroeconomics	200	4	
	Mathematics for Business and Economics I ※1	200	4	
	Microeconomics	200	4	
	Principles of Marketing ※1	200	4	
	Statistics II	200	4	
	AI & Machine Learning for Decision Making	300	4	
	Blockchain & Business Applications	300	4	
	Consumer Behavior	300	4	
	Corporate Finance	300	4	
	Corporate Strategy	300	4	
	Creative Thinking for AI & IoT Innovations	300	4	
	Database and Big Data	300	4	
	Development Economics	300	4	
	Digital Banking and Fintech	300	4	
	Digital Business Strategies	300	4	
Digital Marketing	300	4		

Major Courses	E-business & Payment Systems	300	4
	Econometrics	300	4
	Entrepreneurial Strategies	300	4
	Finance	300	4
	Financial Accounting	300	4
	Game Theory	300	4
	Human Resources Management	300	4
	Industrial Organization	300	4
	International Business	300	4
	International Environmental Policy ※1	300	4
	Introduction to AI & Intelligent Product Development	300	4
	Introduction to R Programming & Business Analytics	300	4
	Labor Economics	300	4
	Marketing Strategy	300	4
	Mathematics for Business and Economics II	300	4
	Mining Unstructured Data: A Big Data Perspective	300	4
	Mobile Technologies, IoT & Business Apps	300	4
	Operations and Service Management	300	4
	Organizational Behavior	300	4
	Service Management and Strategy	300	4
	Social Media and Business	300	4
	Text Mining & Deep Learning	300	4
	Undergraduate Thesis Writing Seminar ※1	300	4
	Tourism: Analysis and Planning	300	4
	Web and Mobile Technology	300	4
	Behavioral Economics	400	4
	Big Data and Analytics	400	4
	Bitcoin, Crypto Currency Technologies and e-Money	400	4
	Business Planning	400	4
	Entrepreneurial Strategy Practicum	400	4
	Gender in Business	400	4
	Global Marketing	400	4
	Global Supply Chain Management	400	4
	International Economics	400	4
	International Finance	400	4
	International Trade	400	4
	Investments	400	4
	IT Project Management	400	4
	Japanese Multinational Corporations	400	4
	Leadership, Creativity and Organizational Renewal	400	4
	Machine Learning in Finance and Economics	400	4
	Managerial Accounting	400	4
	Marketing Modeling	400	4
	Marketing Research	400	4
	Money and Banking	400	4
	Python for Big Data and Visualization	400	4
	Research Methods & Data Analysis in Business	400	4
Social Business in Japan	400	4	
Start-up Funding and VC Strategies	400	4	
Technology, Innovation and Entrepreneurship	400	4	
Undergraduate Thesis	400	4	
Topics in Business Economics ※2	300 or 400	2	
Topics in Business Economics ※2	300 or 400	4	

Special Program	Classes by Visiting Professors I	100	2
	Classes by Visiting Professors II	100	2
	Classes by Visiting Professors III	100	2
	Classes by Visiting Professors IV	100	2
	Career Experience Practicum	100	2
	How to Succeed at TIU and Beyond	100	2
	Internship ※3	100	2
	Volunteer	100	1
	Study Abroad Seminar A	100	4
	Study Abroad Seminar B	100	2
	Advanced Argumentation & Debate	200	2
	Business Project E	200	4
	Topics in Japan Studies ※2	300	2
	Topics in Japan Studies ※2	300	4

※1を付した授業科目は名称変更がなされた授業科目であり、それぞれの対応する旧科目名は次の通りである。旧科目を履修済みの学生は、名称変更後の対応する科目を履修することはできない。

「Principles of Management」:旧科目名「Introduction to Business Management」

「Statistics I」:旧科目名「Introduction to Statistics」

「Mathematics for Business and Economics I」:旧科目名「Mathematics for Business and Economics」

「Principles of Marketing」:旧科目名「Introduction to Marketing」

「International Environmental Policy」:旧科目名「International Environment: Issues and Policies」

「Undergraduate Thesis Writing Seminar」:旧科目名「Thesis Writing Seminar」

※2を付した授業科目は、開講の都度その具体的内容を決定し公表する。又、同一科目につき内容の異なる複数の講義が開講される場合は、講義ごとにA, B, C・・・を付し、複数講義を修得できるものとする。

※3を付した授業科目は、実習時間に応じて1回当り2単位又は4単位を修得でき、合計14単位を上限として卒業要件単位に算入することができる。

※4 次表「科目名(2019年度以前)」欄に掲げる改正前の各年度の授業科目を履修済みの者は、別表1に掲げるイングリッシュ・トラックの授業科目中の次表「科目名(2020年度以降)」欄に掲げるそれぞれ対応する改正後の授業科目を履修することができない。

科目名(2020年度以降)	科目名(2019年度以前)		
	2019年度	2018/2017年度	2016年度以前
Elementary Japanese 1A (4単位)	Elementary Japanese 1 (8単位)	Intensive Basic Japanese I (8単位)	Basic Japanese I (8単位)
Elementary Japanese 1B (4単位)			
Elementary Japanese 2A (4単位)	Elementary Japanese 2 (8単位)	Intensive Basic Japanese II (8単位)	Intensive Japanese II (8単位)
Elementary Japanese 2B (4単位)			

別表1(第5章第13条)

イングリッシュ・トラック

2.国際関係学部国際関係学科

授業科目区分	授業科目名	ナンバリング	単位	
General Education	Academic Literacy	Academic Composition I	100	4
		Academic Composition II	100	4
		Analytical Reading and Thinking	100	4
		Public Speaking	100	4
	Liberal Arts	Business and Social Impact	100	4
		Food Value Chain and Sustainability	100	4
		Fundamentals of Mathematics	100	4
		Innovation and R & D Strategy	100	4
		Introduction to Informatics & Computing	100	4
		Principles of Management ※1	100	4
		Introduction to Social Psychology	100	4
		Introduction to Sociology	100	4
		Statistics I ※1	100	4
		IT Literacy	100	4
		Sustainable Society	100	4
		Introduction to International Relations	100	4
		Principles of Economics	100	4
		Principles of Political Science	100	4
	World Economy	100	4	
	Topics in Liberal Arts ※2	100 or 200	4	
	Topics in Liberal Arts ※2	100 or 200	2	
	Japanese	Elementary Japanese 1A ※4	100	4
		Elementary Japanese 1B ※4	100	4
		Elementary Japanese 2A ※4	100	4
		Elementary Japanese 2B ※4	100	4
		Intermediate Japanese 1	200	4
		Intermediate Japanese 2	200	4
		Advanced Japanese 1	200	4
Advanced Japanese 2		200	4	
Upper-Advanced Japanese		200	2	
Business Japanese		200	2	
Core Courses	Comparative Culture	200	4	
	Comparative Politics	200	4	
	Global Sociology ※1	200	4	
	Human Rights	200	4	
	International Law	200	4	
	International Political Economy	200	4	
	International Politics	200	4	
	International Security	200	4	
	Maritime Security and Ocean Governance ※1	200	4	
	Political Economy of Development	200	4	
	Political Theory	200	4	
	Understanding Globalization	200	4	

Major Courses	Advanced Courses	Chinese Politics in Comparative Perspective ※1	300	4
		Contemporary Japanese Literature	300	4
		International Development	300	4
		International Environmental Policy ※1	300	4
		International Integration	300	4
		International Organization	300	4
		International Relations of Asia-Pacific	300	4
		International Relations of Europe	300	4
		International Relations of South Asia	300	4
		International Relations of Southeast Asia	300	4
		International Relations of the Middle East	300	4
		Japanese Politics in Comparative Perspective	300	4
		Japanese Popular Culture	300	4
		Japanese Society	300	4
		Media and Society in Japan	300	4
		Pre-Modern Japanese Literature	300	4
		Qualitative Research Methods	300	4
		Undergraduate Thesis Writing Seminar ※1	300	4
		Tourism: Analysis and Planning	300	4
		U.S. Politics and Foreign Policy	300	4
	War and Peace in East Asia	300	4	
	Topics in International Relations ※2	300	2	
	Topics in International Relations ※2	300	4	
	Seminars	Critical Approaches to Development Politics ※1	400	4
		Gender in International Relations	400	4
		International Relations of Japan	400	4
		Issues in Popular Culture	400	4
		Non-state Actors and Political Violence	400	4
		Political Development of Asia	400	4
		Resource Politics	400	4
		International Relations of China ※1	400	4
		Transitional Justice	400	4
		International Relations in the Age of AI ※1	400	4
U.S. Policy toward Asia ※1		400	4	
Topics in International Relations ※2		400	2	
Topics in International Relations ※2	400	4		
Independent Study	Undergraduate Thesis ※1	400	4	
Special Program	Classes by Visiting Professors I	100	2	
	Classes by Visiting Professors II	100	2	
	Classes by Visiting Professors III	100	2	
	Classes by Visiting Professors IV	100	2	
	Career Experience Practicum	100	2	
	How to Succeed at TIU and Beyond	100	2	
	Internship ※3	100	2	
	Volunteer	100	1	
	Study Abroad Seminar A	100	4	
	Study Abroad Seminar B	100	2	
	Advanced Argumentation & Debate	200	2	
	Business Project E	200	4	
	Topics in Japan Studies ※2	300	2	
	Topics in Japan Studies ※2	300	4	

※1を付した授業科目は名称変更がなされた授業科目であり、それぞれの対応する旧科目名は次の通りである。旧科目を履修済みの学生は、名称変更後の対応する科目を履修することはできない。

「Principles of Management」: 旧科目名「Introduction to Business Management」

「Statistics I」: 旧科目名「Introduction to Statistics」

「Chinese Politics in Comparative Perspective」: 旧科目名「Chinese Politics and Foreign Policy」

「Global Sociology」: 旧科目名「Comparative Social Institutions」

「Maritime Security and Ocean Governance」: 旧科目名「Maritime Security and Safety」

「International Environmental Policy」: 旧科目名「International Environment: Issues and Policies」

「Critical Approaches to Development Politics」:旧科目名「Asia's Entrepreneurs」
「International Relations of China」:旧科目名「Theories of International Relations」
「International Relations in the Age of AI」:旧科目名「Transnational Social Movements」
「U.S. Policy toward Asia」:旧科目名「U.S. -East Asian Relations」
「Undergraduate Thesis Writing Seminar」:旧科目名「Thesis Writing Seminar」

※2を付した授業科目は、開講の都度その具体的内容を決定し公表する。又、同一科目につき内容の異なる複数の講義が開講される場合は、講義ごとにA, B, C・・・を付し、複数講義を修得できるものとする。

※3を付した授業科目は、実習時間に応じて1回当り2単位又は4単位を修得でき、合計14単位を上限として卒業要件単位に算入することができる。

※4 次表「科目名(2019年度以前)」欄に掲げる改正前の各年度の授業科目を履修済みの者は、別表1に掲げるイングリッシュ・トラックの授業科目中の次表「科目名(2020年度以降)」欄に掲げるそれぞれ対応する改正後の授業科目を履修することができない。

科目名(2020年度以降)	科目名(2019年度以前)		
	2019年度	2018/2017年度	2016年度以前
Elementary Japanese 1A(4単位)	Elementary Japanese 1 (8単位)	Intensive Basic Japanese I (8単位)	Basic Japanese I (8単位)
Elementary Japanese 1B(4単位)			
Elementary Japanese 2A(4単位)	Elementary Japanese 2 (8単位)	Intensive Basic Japanese II (8単位)	Intensive Japanese II (8単位)
Elementary Japanese 2B(4単位)			

別表1 (第5章第13条)

(注) 教育職員免許に関する科目
上記のほか、教育職員免許取得のための科目として、次の科目を設置する。

(教育の基礎的理解に関する科目等)

授業科目	単位
教職概論	2
教育原理	4
教育心理学	4
発達心理学	4
学校経営・制度論	2
特別支援教育論	2
教育課程論	2
英語科教育法ⅠA	2
英語科教育法ⅠB	2
英語科教育法ⅡA	2
英語科教育法ⅡB	2
保健体育科教育法ⅠA	2
保健体育科教育法ⅠB	2
保健体育科教育法ⅡA	2
保健体育科教育法ⅡB	2
道德教育の理論と実践	2
総合的な学習の時間の指導法	2
特別活動の理論と方法	2
教育方法・技術論	2
生徒指導	2
教育相談	2
進路指導論	4
教育実習演習(英語)	1
教育実習演習(保健体育)	1
教育実習(中・英語, 中・保健体育)	4
教育実習(高・英語, 高・保健体育)	2
教職実践演習(中・高)	2

(大学が独自に設置する科目)

授業科目	単位
生涯学習概論A	2
生涯学習概論B	2
介護等の体験	1
教育評価	2
学校インターンシップ	2

(注) ASPに関する科目
上記のほか、American Studies Program科目として次の科目を設置する。

授業科目	単位
ASP *	2
ASP (E) *	4
ASP (Wa) *	4
ASP (Wb) *	2
ASP (Wc) *	1

*印のASP、ASP (E)、ASP (Wa)、ASP (Wb)、ASP (Wc)は講義毎に(1)、(2)・・・を付し、複数講義を修得できる。

別表2 (第7章第21条)

1-1 商学部 商学科

授業科目区分		卒業要件単位数
基礎教育分野	TIUコア科目 必修	8
	教養コア科目 言語スキル科目	20
	商学科専門教育分野科目200番台	選択必修 ※1 4
専門教育分野	選択	8
	商学科専門教育分野科目300+400番台	32
その他	上記区分の卒業要件単位数を超えたもの分 商学科の専門教育分野科目100番台	52
	基礎教育分野：自由選択科目 他学科・他学部履修科目	
合計		124

※1 専門教育分野科目200番台については、「学科内専門共通科目」のうち4単位以上を修得のこと

※2 イングリッシュ・トラック設置のGeneral Education 科目「IT Literacy」を修得した者は、TIUコア科目「ICT基礎」を、また、イングリッシュ・トラック設置のSpecial Program 科目「How to Succeed at TIU and Beyond」を修得した者は、TIUコア科目「大学生活デザイン演習」を、それぞれ修得したものとみなす。

1-2 商学部 経営学科

授業科目区分		卒業要件単位数
基礎教育分野	TIUコア科目 必修	8
	教養コア科目 言語スキル科目	20
	経営学科の専門教育分野科目200番台	選択必修 ※1 4
専門教育分野	選択	8
	経営学科の専門教育分野科目300+400番台	32
その他	上記区分の卒業要件単位数を超えたもの 基礎教育分野：自由選択科目	52
	経営学科の専門教育分野科目100番台 他学科・他学部履修科目	
合計		124

※1 専門教育分野科目200番台については、「学科内専門共通科目」のうち4単位以上を修得のこと

※2 イングリッシュ・トラック設置のGeneral Education 科目「IT Literacy」を修得した者は、TIUコア科目「ICT基礎」を、また、イングリッシュ・トラック設置のSpecial Program 科目「How to Succeed at TIU and Beyond」を修得した者は、TIUコア科目「大学生活デザイン演習」を、それぞれ修得したものとみなす。

2-1 経済学部 経済学科

現代経済専攻

授業科目区分		卒業要件単位数
基礎教育分野 ※1	TIUコア科目 必修 ※2	8
	教養コア科目 必修 ※3	4
	教養コア科目 (上記必修以外)	16
	言語スキル科目	
専門教育分野 ※4	経済学科の専門教育分野科目200番台	12
	経済学科の専門教育分野科目300+400番台	24
その他	上記区分の卒業要件単位数を超えたもの 経済学科の専門教育分野科目100番台	60
	基礎教育分野：自由選択科目 他学科・他学部履修科目	
合計		124

※1 基礎教育分野には、イングリッシュ・トラック設置のGeneral Education 科目の単位を算入することができる。

※2 イングリッシュ・トラック設置のGeneral Education 科目「IT Literacy」を修得した者は、TIUコア科目「ICT基礎」を、また、イングリッシュ・トラック設置のSpecial Program 科目「How to Succeed at TIU and Beyond」を修得した者は、TIUコア科目「大学生活デザイン演習」を、それぞれ修得したものとみなす。

- ※3 教養コア科目の「経済学」を必修とする。但し、イングリッシュ・トラック設置科目「Principles of Economics」の修得をもって代替することができる。
- ※4 専門教育分野には、イングリッシュ・トラック設置のBusiness Economics Major 科目、Japan Studies 科目の単位を算入することができる。

ビジネスエコノミクス専攻

授業科目区分		卒業要件単位数
基礎教育分野 ※1	TIUコア科目 必修 ※2	8
	教養コア科目 必修 ※3	4
	言語スキル科目 必修 ※4	4
	教養コア科目（上記必修以外から） 言語スキル科目（上記必修以外から）	12
専門教育分野 ※6	経済学科の専門教育分野科目200番台 必修 ※5 選択	8 4
	経済学科の専門教育科目300+400番台	24
その他	上記区分の卒業要件単位数を超えたもの 基礎教育分野：自由選択科目 経済学科の専門教育分野科目100番台 他学科・他学部履修科目	60
合計		124

- ※1 基礎教育分野には、イングリッシュ・トラック設置のGeneral Education 科目の単位を算入することができる。
- ※2 イングリッシュ・トラック設置のGeneral Education 科目「IT Literacy」を修得した者は、TIUコア科目「ICT基礎」を、また、イングリッシュ・トラック設置のSpecial Program 科目「How to Succeed at TIU and Beyond」を修得した者は、TIUコア科目「大学生活デザイン演習」を、それぞれ修得したものとみなす。
- ※3 教養コア科目の「経済学」を必修とする。但し、イングリッシュ・トラック設置科目「Principles of Economics」の修得をもって代替することができる。
- ※4 言語スキル科目も「Communication Basic I」, 「Communication Basic II」を必修とする。但し、イングリッシュ・トラック設置科目中のAcademic Literacy区分に属する授業科目の修得をもって代替することができる。
- ※5 専門教育分野科目200番台のうち「ミクロ経済学」, 「マクロ経済学」を必修とする。但し、イングリッシュ・トラック設置科目の「Microeconomics」, 「Macroeconomics」の修得をもって、それぞれ代替することができる。
- ※6 専門教育分野には、イングリッシュ・トラック設置のBusiness Economics Major 科目、Japan Studies 科目の単位を算入することができる。

3-1 国際関係学部 学科共通

授業科目区分		卒業要件単位数
基礎教育分野	TIUコア科目 必修	8
	教養コア科目	16
	言語スキル科目「英語」以外	6
	言語スキル科目「英語」	6
専門教育分野	所属学科の専門分野科目※1 200番台 必修 ※2 選択	2 10
	所属学科の専門分野科目※1 300+400番台	32
上記区分の卒業要件単位数を超えたもの 基礎教育分野：自由選択科目 他学科および他学部設置科目		50
合計		124

- ※1 所属学科専門分野および学科間共通専門分野を含む。
- ※2 専門分野科目200番台のうち「国際関係学入門」2単位を必修とする。但し、イングリッシュ・トラック設置科目「Introduction to International Relations」の修得をもって代替することができる。
- ※3 イングリッシュ・トラック設置のGeneral Education 科目「IT Literacy」を修得した者は、TIUコア科目「ICT基礎」を、また、イングリッシュ・トラック設置のSpecial Program 科目「How to Succeed at TIU and Beyond」を修得した者は、TIUコア科目「大学生活デザイン演習」を、それぞれ修得したものとみなす。

4-1 人間社会学部 学科共通

授業科目区分		卒業要件単位数
基礎教育分野	TIUコア科目 必修	8
	教養コア科目	20
	言語スキル科目	
専門教育分野	所属学科の専門教育分野科目200番台	12
	所属学科の専門教育分野科目300+400番台	24
その他	上記区分の卒業要件単位数を超えたもの	60
	基礎教育分野：自由選択科目 他学科・他学部履修科目	
合計		124

※1 イングリッシュ・トラック設置のGeneral Education 科目「IT Literacy」を修得した者は、TIU コア科目「ICT基礎」を、また、イングリッシュ・トラック設置のSpecial Program 科目「How to Succeed at TIU and Beyond」を修得した者は、TIUコア科目「大学生生活デザイン演習」を、それぞれ修得したものとみなす。

5-1 言語コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科

授業科目区分		卒業要件単位数
基礎教育分野	TIUコア科目 必修	8
	教養コア科目 選択 ※1	8
	言語スキル科目 必修 ※2 選択	20 8
専門教育分野	英語コミュニケーション学科の専門教育分野科目200番台	16
	英語コミュニケーション学科の専門教育分野科目300+400番台	16
その他	上記区分の卒業要件単位数を超えたもの	48
	基礎教育分野：自由選択科目 他学科・他学部履修科目	
合計		124

※1 グローバルビジネスコースの学生は、自由選択科目を教養コア科目として読み替えることができる。

※2 言語スキル科目のうち必修は以下のとおり

{100番台科目}	
Communication Basic I	2単位
Communication Basic II	2単位
English Comprehension I	2単位
English Comprehension II	2単位
Basic Speaking I	1単位
Basic Speaking II	1単位
Basic Writing I	1単位
Basic Writing II	1単位
{200番台科目}	
Communication Core I	2単位
Communication Core II	2単位
English Production I	2単位
English Production II	2単位

※3 グローバルビジネスコースの学生は、別表1「言語コミュニケーション学部2英語コミュニケーション学科専門教育分野」中の「College Speaking and Listening」及び「College Reading and Writing」を基礎教育分野の言語スキル科目に読み替えることができる。

※4 別表1「言語コミュニケーション学部2英語コミュニケーション学科専門教育分野」中の「Academic Speaking and Listening A」, 「Academic Speaking and Listening B」, 「Academic Reading and Writing A」及び「Academic Reading and Writing B」は, 基礎教育分野の言語スキル科目に読み替えることができる。

※5 基礎教育分野の卒業要件単位数には, イングリッシュ・トラック設置のGeneral Education科目の単位を算入することができる。

※6 イングリッシュ・トラック設置のGeneral Education 科目「IT Literacy」を修得した者は, TIU コア科目「ICT基礎」を, また, イングリッシュ・トラック設置のSpecial Program 科目「How to Succeed at TIU and Beyond」を修得した者は, TIUコア科目「大学生生活デザイン演習」を, それぞれ修得したものとみなす。

6-1 医療健康学部 理学療法学科

授業科目区分			卒業要件単位
基礎教育分野	TIU コア科目	必修	4
	教養コア科目	必修	6
	言語スキル科目	必修	4
	教養コア科目 (必修以外) 自由選択科目	選択	4
専門教育分野	専門基礎科目	必修	31
	専門科目	必修	72
		選択	9
合 計			130

別表2（第7章 第21条）
 7-1 イングリッシュ・トラック
 経済学部経済学科ビジネスエコノミクス専攻
 Business Economics

Categories		Required Credits		Total
			Required Subjects	
General Education	Academic Literacy	12 credits	<ul style="list-style-type: none"> •Academic Composition I •Academic Composition II •Analytical Reading and Thinking 	124 credits
	Liberal Arts	16 credits	<ul style="list-style-type: none"> •Fundamentals of Mathematics •Statistics I •Principles of Management ※1 •Principles of Economics ※1 	
	Japanese	8 credits ※2	<ul style="list-style-type: none"> •Elementary Japanese 1A •Elementary Japanese 1B 	
Major Courses	Business Economics	48 credits		
Electives		40 credits ※3		

※1を付した授業科目は選択必修科目。

※2 学部イングリッシュ・トラック履修規程第5条第2項に基づきGeneral Education のJapaneseの一部又は全部の履修を免除された者が履修し修得する代替科目の単位は、表中のElectivesにおいて40単位の別枠にて卒業要件単位に算入できる。

※3 表中の各Categoryにおいて卒業要件単位数を超えて修得する授業科目、別表1 イングリッシュ・トラックSpecial Program中の各授業科目、イングリッシュ・トラック設置科目以外の授業科目、及びイングリッシュ・トラック(International Relations)Major Course 設置の授業科目。

Digital Business and Innovation

Categories		Required Credits		Total
			Required Subjects	
General Education	Academic Literacy	12 credits	<ul style="list-style-type: none"> •Academic Composition I •Academic Composition II •Analytical Reading and Thinking 	124 credits
	Liberal Arts	16 credits	<ul style="list-style-type: none"> •Fundamentals of Mathematics •Statistics I 	
	Japanese	8 credits ※1	<ul style="list-style-type: none"> •Elementary Japanese 1A •Elementary Japanese 1B 	
Major Courses	Digital Business and Innovation	48 credits	<ul style="list-style-type: none"> •Mathematics for Business and Economics I 	
Electives		40 credits ※2		

※1 学部イングリッシュ・トラック履修規程第5条第2項に基づきGeneral Education のJapaneseの一部又は全部の履修を免除された者が履修し修得する代替科目の単位は、表中のElectivesにおいて40単位の別枠にて卒業要件単位に算入できる。

※2 表中の各Categoryにおいて卒業要件単位数を超えて修得する授業科目、別表1 イングリッシュ・トラックSpecial Program中の各授業科目、イングリッシュ・トラック設置科目以外の授業科目、及びイングリッシュ・トラック(International Relations)Major Course 設置の授業科目。

6-2 イングリッシュ・トラック
国際関係学部国際関係学科

Categories		Required Credits		Total
			Required Subjects	
General Education	Academic Literacy	12 credits	<ul style="list-style-type: none"> •Academic Composition I •Academic Composition II •Analytical Reading and Thinking 	124 credits
	Liberal Arts	16 credits	<ul style="list-style-type: none"> •Introduction to International Relations •Principles of Political Science ※1 •World Economy ※1 	
	Japanese	8 credits ※2	<ul style="list-style-type: none"> •Elementary Japanese 1A •Elementary Japanese 1B 	
Major Courses	International Relations	48 credits	<ul style="list-style-type: none"> 16 credits from Core Courses 28 credits from Advanced Courses 4 credits from Seminars 	
Electives		40 credits ※2		

※1を付した授業科目は選択必修科目。

※2 学部イングリッシュ・トラック履修規程第5条第2項に基づきGeneral Education のJapaneseの一部又は全部の履修を免除された者が履修し修得する代替科目の単位は、表中のElectivesにおいて40単位の別枠にて卒業要件単位に算入できる。

※3 表中の各Categoryにおいて卒業要件単位数を超えて修得する授業科目、別表1 イングリッシュ・トラックSpecial Program中の各授業科目、イングリッシュ・トラック設置科目以外の授業科目、及びイングリッシュ・トラック(Business Economics 又はDigital Business and Innovation)Major Course 設置の授業科目。

学則の変更事項を記載した書類

商学部経営学科、人間社会学部福祉心理学科の収容定員変更に伴い、学則を次のとおり変更する。

1. 第8条の表中、商学部経営学科、人間社会学部福祉心理学科の入学定員数、収容定員数を変更する。また、これらの変更に伴い「計」欄を変更する。

(事由) 当該学部・学科の収容定員数変更後の入学定員数、収容定員数を明確にするため。

2. 附則に次の事項を加える。

①施行年月日を明記する。

②2022年度から2024年度までの年度ごとの収容定員を明記する。

(事由) 施行日を明確にするため。

(事由) 完成前年度までの収容定員の変化を明確にするため。

東京国際大学学則 新旧比較対照表

新	旧																																																																																																																																																
<p>○東京国際大学学則</p> <p>第1章 大学の目的及び使命</p> <p>(省略) 第1条～第7条</p> <p>(収容定員)</p> <p>第8条 本学各学部・学科の収容定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">商学部</td> <td>商学科</td> <td>100名</td> <td>400名</td> </tr> <tr> <td>経営学科</td> <td style="color: red;">160名</td> <td style="color: red;">640名</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>経済学科</td> <td>475名</td> <td>1,900名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国際関係学部</td> <td>国際関係学科</td> <td>310名</td> <td>1,240名</td> </tr> <tr> <td>国際メディア学科</td> <td>60名</td> <td>240名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人間社会学部</td> <td>福祉心理学科</td> <td style="color: red;">45名</td> <td style="color: red;">180名</td> </tr> <tr> <td>人間スポーツ学科</td> <td>230名</td> <td>920名</td> </tr> <tr> <td>スポーツ科学科</td> <td>200名</td> <td>800名</td> </tr> <tr> <td>言語コミュニケーション学部</td> <td>英語コミュニケーション学科</td> <td>250名</td> <td>1,000名</td> </tr> <tr> <td>医療健康学部</td> <td>理学療法学科</td> <td>80名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td style="color: red;">1,910名</td> <td style="color: red;">7,640名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(以下省略)</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p style="color: red;">1 この改正学則は、2022年4月1日から施行する。</p> <p style="color: red;">2 第8条の規定にかかわらず、2022年度から2024年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">商学部</td> <td>商学科</td> <td>400名</td> <td>400名</td> <td>400名</td> </tr> <tr> <td>経営学科</td> <td>400名</td> <td>480名</td> <td>560名</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>経済学科</td> <td>1,820名</td> <td>1,860名</td> <td>1,900名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国際関係学部</td> <td>国際関係学科</td> <td>1,110名</td> <td>1,175名</td> <td>1,240名</td> </tr> <tr> <td>国際メディア学科</td> <td>240名</td> <td>240名</td> <td>240名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人間社会学部</td> <td>福祉心理学科</td> <td>120名</td> <td>140名</td> <td>160名</td> </tr> <tr> <td>人間スポーツ学科</td> <td>920名</td> <td>920名</td> <td>920名</td> </tr> <tr> <td>スポーツ科学科</td> <td>800名</td> <td>800名</td> <td>800名</td> </tr> <tr> <td>言語コミュニケーション学部</td> <td>英語コミュニケーション学科</td> <td>960名</td> <td>980名</td> <td>1,000名</td> </tr> <tr> <td>医療健康学部</td> <td>理学療法学科</td> <td>160名</td> <td>240名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td style="color: red;">6,930名</td> <td style="color: red;">7,235名</td> <td style="color: red;">7,540名</td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	入学定員	収容定員	商学部	商学科	100名	400名	経営学科	160名	640名	経済学部	経済学科	475名	1,900名	国際関係学部	国際関係学科	310名	1,240名	国際メディア学科	60名	240名	人間社会学部	福祉心理学科	45名	180名	人間スポーツ学科	230名	920名	スポーツ科学科	200名	800名	言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250名	1,000名	医療健康学部	理学療法学科	80名	320名	計		1,910名	7,640名	学部	学科	2022年度	2023年度	2024年度	商学部	商学科	400名	400名	400名	経営学科	400名	480名	560名	経済学部	経済学科	1,820名	1,860名	1,900名	国際関係学部	国際関係学科	1,110名	1,175名	1,240名	国際メディア学科	240名	240名	240名	人間社会学部	福祉心理学科	120名	140名	160名	人間スポーツ学科	920名	920名	920名	スポーツ科学科	800名	800名	800名	言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	960名	980名	1,000名	医療健康学部	理学療法学科	160名	240名	320名	計		6,930名	7,235名	7,540名	<p>○東京国際大学学則</p> <p>第1章 大学の目的及び使命</p> <p>(省略) 第1条～第7条</p> <p>(収容定員)</p> <p>第8条 本学各学部・学科の収容定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">商学部</td> <td>商学科</td> <td>100名</td> <td>400名</td> </tr> <tr> <td>経営学科</td> <td>80名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>経済学科</td> <td>475名</td> <td>1,900名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国際関係学部</td> <td>国際関係学科</td> <td>310名</td> <td>1,240名</td> </tr> <tr> <td>国際メディア学科</td> <td>60名</td> <td>240名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人間社会学部</td> <td>福祉心理学科</td> <td>25名</td> <td>100名</td> </tr> <tr> <td>人間スポーツ学科</td> <td>230名</td> <td>920名</td> </tr> <tr> <td>スポーツ科学科</td> <td>200名</td> <td>800名</td> </tr> <tr> <td>言語コミュニケーション学部</td> <td>英語コミュニケーション学科</td> <td>250名</td> <td>1,000名</td> </tr> <tr> <td>医療健康学部</td> <td>理学療法学科</td> <td>80名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,810名</td> <td>7,240名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(以下省略)</p>	学部	学科	入学定員	収容定員	商学部	商学科	100名	400名	経営学科	80名	320名	経済学部	経済学科	475名	1,900名	国際関係学部	国際関係学科	310名	1,240名	国際メディア学科	60名	240名	人間社会学部	福祉心理学科	25名	100名	人間スポーツ学科	230名	920名	スポーツ科学科	200名	800名	言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250名	1,000名	医療健康学部	理学療法学科	80名	320名	計		1,810名	7,240名
学部	学科	入学定員	収容定員																																																																																																																																														
商学部	商学科	100名	400名																																																																																																																																														
	経営学科	160名	640名																																																																																																																																														
経済学部	経済学科	475名	1,900名																																																																																																																																														
国際関係学部	国際関係学科	310名	1,240名																																																																																																																																														
	国際メディア学科	60名	240名																																																																																																																																														
人間社会学部	福祉心理学科	45名	180名																																																																																																																																														
	人間スポーツ学科	230名	920名																																																																																																																																														
	スポーツ科学科	200名	800名																																																																																																																																														
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250名	1,000名																																																																																																																																														
医療健康学部	理学療法学科	80名	320名																																																																																																																																														
計		1,910名	7,640名																																																																																																																																														
学部	学科	2022年度	2023年度	2024年度																																																																																																																																													
商学部	商学科	400名	400名	400名																																																																																																																																													
	経営学科	400名	480名	560名																																																																																																																																													
経済学部	経済学科	1,820名	1,860名	1,900名																																																																																																																																													
国際関係学部	国際関係学科	1,110名	1,175名	1,240名																																																																																																																																													
	国際メディア学科	240名	240名	240名																																																																																																																																													
人間社会学部	福祉心理学科	120名	140名	160名																																																																																																																																													
	人間スポーツ学科	920名	920名	920名																																																																																																																																													
	スポーツ科学科	800名	800名	800名																																																																																																																																													
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	960名	980名	1,000名																																																																																																																																													
医療健康学部	理学療法学科	160名	240名	320名																																																																																																																																													
計		6,930名	7,235名	7,540名																																																																																																																																													
学部	学科	入学定員	収容定員																																																																																																																																														
商学部	商学科	100名	400名																																																																																																																																														
	経営学科	80名	320名																																																																																																																																														
経済学部	経済学科	475名	1,900名																																																																																																																																														
国際関係学部	国際関係学科	310名	1,240名																																																																																																																																														
	国際メディア学科	60名	240名																																																																																																																																														
人間社会学部	福祉心理学科	25名	100名																																																																																																																																														
	人間スポーツ学科	230名	920名																																																																																																																																														
	スポーツ科学科	200名	800名																																																																																																																																														
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250名	1,000名																																																																																																																																														
医療健康学部	理学療法学科	80名	320名																																																																																																																																														
計		1,810名	7,240名																																																																																																																																														

学則の変更の趣旨等を記載した書類

(収容定員変更に係る学則変更)

東京国際大学



目次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容.....	3
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性.....	3
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容.....	5
3.1. 教育課程の変更内容.....	5
3.1.1. 商学部 経営学科.....	5
3.1.2. 人間社会学部 福祉心理学科.....	6
3.2. 教育方法及び履修指導方法の変更内容.....	7
3.2.1. 全学的取組.....	7
3.2.2. 商学部 経営学科.....	8
3.2.3. 人間社会学部 福祉心理学科.....	9
3.3. 教員組織の変更内容.....	10
3.4. 大学全体の施設・設備の変更内容.....	11
4. 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画.....	12

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

令和4年度から、東京国際大学学則第8条に定める、商学部経営学科、人間社会学部福祉心理学科の入学定員及び収容定員を以下のように変更する（表1）。商学部経営学科は入学定員を80名拡大することで、現在の80名から160名へと増員する。人間社会学部福祉心理学科については、入学定員を現在の25名から45名へと増員する。

表1. 令和4年度 収容定員変更の概要

学部	学科	現行		変更後		差	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
商学部	経営学科	80人	320人	160人	640人	+80人	+320人
人間社会学部	福祉心理学科	25人	100人	45人	180人	+20人	+80人
合計		105人	420人	205人	820人	+100人	+400人

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

今般の収容定員変更は、本学に対する受験生のニーズに応えることを目的としている。

東京国際大学は1965年、「国際商科大学」として創設され、商学部商学科を擁する4年制単科大学として発足した。その後、社会からのニーズに合わせて様々な学部学科を設置し、現在は6学部10学科を擁する総合大学として発展している。建学の精神として「公德心を体した真の国際人の養成」を掲げ、建学時からの教育目標である「Vision, Courage, Intelligence を身に付けた人材づくり」を具現化するために、「スポーツの東京国際大学」「英語力の東京国際大学」を柱とした教育事業展開を強力に推進している。

「英語力の東京国際大学」で表象される教育事業の国際化に関しては、建学以来の姉妹校である米国オレゴン州のウィラメット大学と本学アメリカ校 Tokyo International University of America (TIUA) が共同運営する留学プログラムや、ネイティブ・スピーカー英語教員による英語教育等、グローバル環境を直に体感できる環境を整えている。また、経済学部経済学科及び国際関係学部国際関係学科においては、平成26年度に英語で学位取得可能なイングリッシュ・トラック・プログラムを開講、世界各国から外国人留学生、外国人教員・研究者が多数参集している。これらの取組が評価され、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション「THE 世界大学ランキング 日本版」における「国際性」分野で、2021（令和3）年度全国第13位、首都圏第4位と高い評価を得た。

国際的な教育に関する本学の特長は受験生からも高い評価を得ており、令和

元年度にはイングリッシュ・トラック・プログラムを擁する経済学部経済学科、国際関係学部国際関係学科の入学定員を、他学部他学科の入学定員から振り分けることで増員し、志願者の増加に対応していた（表2）。

表2. 令和元(平成31)年度の定員変更概要

学部	学科	入学定員		
		平成30	令和元(平成31)	増減
商学部	商学科	120人	100人	-20人
	経営学科	100人	80人	-20人
経済学部	経済学科	355人	435人	+80人
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250人	230人	-20人
国際関係学部	国際関係学科	220人	245人	+25人
	国際メディア学科	80人	60人	-20人
人間社会学部	福祉心理学科	50人	25人	-25人
	人間スポーツ学科	230人	230人	0人
	スポーツ科学科	200人	200人	0人
総合計		1,605人	1,605人	0人

しかし近年、商学部経営学科や人間社会学部福祉心理学科についても志願者数は増加傾向にある（表3）。

表3. 各学科の志願動向

<商学部 経営学科>

入学年度		平成29	平成30	令和元(平成31)	令和2	令和3
①	入学定員	100	100	80	80	80
②	志願者数	334	395	536	1,094	672
③	志願倍率 (②/①)	3.34	3.95	6.70	13.68	8.40

<人間社会学部 福祉心理学科>

入学年度		平成29	平成30	令和元(平成31)	令和2	令和3
①	入学定員	50	50	25	25	25
②	志願者数	84	106	150	232	161
③	志願倍率 (②/①)	1.68	2.12	6.00	9.28	6.44

令和3年度については、新型コロナウイルスによる影響から前年に比べて落ち込みはしたが、平成29年度に比べ志願者数は大きく増加しており、各学科とも志願倍率は6倍を超える。本学の教育内容に共感する受験生のニーズに対応するため、あらためて当該学科の収容定員増を計画している。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

3.1. 教育課程の変更内容

今回の収容定員変更にあたっては、社会から評価されている教育の質を維持し、現代社会で求められている人材養成に引き続き努めていく。

本学の卒業生について、日経 HR「価値ある大学 2020 年版 就職力ランキング」では、卒業生に対するイメージとして、「対人力（コミュニケーション能力が高い、ストレス耐性が高い、柔軟性・適応力がある）」は第 14 位、「独創性（創造力がある、個性がある、着眼点が良い）」は第 14 位に位置している。

また、卒業生の就職率についても高い水準で推移している（表 4）。

表 4. 各学科の就職状況

	平成30年度卒			令和元(平成31)年度卒			令和2年度卒		
	就職希望者数	就職者数	就職率	就職希望者数	就職者数	就職率	就職希望者数	就職者数	就職率
商学部 経営学科	110	108	98.2	102	99	97.1	95	91	95.8
人間社会学部 福祉心理学科	60	60	100.0	42	40	95.2	22	22	100.0

このように本学が養成する人材は社会から高い評価を得ている。商学部経営学科と人間社会学部福祉心理学科のいずれについても、増員した学生数に見合った教育体制を構築し、教育の質を維持していく。また、本学は社会環境や受験生ニーズの変化に応じて常に教育内容の改良に努めており、今回の学則変更では特に人間社会学部福祉心理学科において教育課程の見直しを図る。

各学科の変更点の概要、人材養成・教育研究上の目的、及び教育課程の特色は以下のとおりである（資料 1）。

3.1.1. 商学部 経営学科

商学部は、多様な国内・国際ビジネスの仕組みを理解し、ビジネス上の諸課題に実践的に対応できる能力を備えた人材を養成する。

特に経営学科では、経営に関する専門知識と実践力を持ち、それらを実社会で応用できる人材を養成する。現在の教育課程には、「経営」、「会計・ファイナンス」、「情報」の 3 つの専門分野を設けている。

・経営

経営資源を有効利用し、組織を活性化させる経営戦略、経営管理、人的資源管理などマネジメント全般を学習。次代を担うビジネスリーダーや経営者を養成する。

・会計・ファイナンス

簿記や会計など、公認会計士・税理士の資格取得に必須の知識やスキルを修得。金融や財務に関する知識も身につけ、企業で活躍する会計・ファイナンスのスペシャリストを養成する。

・情報

経営学の知識を基軸に、情報処理やプログラミング技術といった実践的な IT 知識やスキルを修得し、現代の企業経営において重要な役割を担う情報戦略に精通するスペシャリストとして、情報とマネジメントの両面に強い人材を養成する。

学生は入学後、まず経営学の基礎を幅広く学び、土台となる基礎力を身につけた上で、実社会で求められる独自の専門性を磨いていく。地域と連携した講義や実践的な学修・活動を通じて、社会とつながる学修を進め、現代社会のビジネスに関する広範な知識と実践的な専門性をもった人材を目指す。

3.1.2. 人間社会学部 福祉心理学科

人間社会学部は、社会、文化、福祉、心理、スポーツのそれぞれの視点から人間と社会のかかわりを探究し、ひとの幸せのために、優しさと勇気を持って社会に貢献できる教養ある人材を養成する。

特に福祉心理学科では、現代社会の諸問題を福祉の視点、心理の視点から捉え、専門性と総合的技術を備えた人材を養成する。現在の教育課程には、「福祉」、「心理」の2つの専門分野を設けている。

・福祉

福祉や医療に関する施策や、有効なサービスを提供する支援システムについての知識を学習。すべての子どもや高齢者が生き生きと健康的な生活を送るための支援方法について、理論と実践力の両面を身につけた人材を養成する。

・心理

人間の心と身体の発達、各年代特有の心の悩みや問題、その解決と支援方法、集団や組織におけるリーダーシップやコミュニケーションなどについて、心理学を幅広い観点から学習。公認心理師受験資格に対応したカリキュラムで、卒業後にカウンセラー等を目指す人材を養成する。

学生は入学後、まず大学での学修の基礎を身につけ、福祉あるいは心理の専門性を基礎から磨いていく。専門分野についての実践的な知識・技能を、実験や実習を通じて修得し、社会の現場における課題に取り組む力をもった人材を目指す。

人間社会学部福祉心理学科では今回の収容定員変更に伴い、公認心理師の受験資格に対応した学部カリキュラムを導入し、卒業後にカウンセラー等を目指すことを可能とする。

公認心理師のように、教育機関や企業、病院等の様々な場所でカウンセリングを担える人材への社会的需要は高い状況が続くと考えられる。文部科学省は「児童生徒の教育相談の充実について（報告）」の中で、「最終的には、全ての必要な学校、教育委員会及び教育支援センターに常勤のスクールカウンセラーを配置できることを目指すことが適切である」としている。教育現場で児童生徒の心理的サポートを担えるプロフェッショナルはより多くの活躍が期待されている。

人間社会学部福祉心理学科における教育課程の変更は、より一層社会に貢献できる卒業生を輩出することを目的としている。公認心理師試験の受験資格に対応したカリキュラムを導入し、将来的に公認心理師として活躍していくことが可能な人材を養成していく。

なお、本学では、公認心理師養成大学院として承認された臨床心理学研究科を既に設置している。学部卒業後は当研究科に進学し、公認心理師を目指した学びを修めることが可能である。

3.2. 教育方法及び履修指導方法の変更内容

3.2.1. 全学的取組

各学科の教育方法及び履修指導について述べる前に、全学的な教育改革・環境整備の取り組みについて説明を行う。

・全学的教育改革

本学は全学的に Semester 制を導入しており、その本旨に則り 4 単位科目の拡充、各科目週 2 回～3 回開講、時間割配置パターンの固定化を徹底している。また、GPA は国際通用性を持ちうる体系としたうえで厳格運用、科目ナンバリング導入による学びの体系化を図っている。学生の学習密度強化のため 1 Semester 20 単位を基本とする キャップ制を導入している。

初年次には全学部横断で大学生活デザイン演習及び ICT 基礎を受講させ、キャリア教育の導入部分を担うと同時に、共同学習・プレゼンテーション・IT リテラシー等の学生生活上の基礎的スキルの修得を図っている。学部毎に開講さ

れる初年次演習についても、全学でシラバスを共通化しアカデミック・リテラシー教育を徹底している。

以上については、学則変更（収容定員変更）後も支障なく運用可能であり、特段の対応変更を行わない。

・教育環境整備

授業外での語学学習環境を整備するため、イングリッシュ・プラザ及びジャパニーズ・プラザを設置している。イングリッシュ・プラザにはネイティブ・スピーカー英語教員や外国人留学生スタッフが常駐し、会話のパートナー、学習支援を行っている。

これら教育環境についても、学則変更（収容定員変更）後も支障なく運用可能であり、特段の対応変更を行わない。

3.2.2. 商学部 経営学科

商学部経営学科では、初年次に経営学の基礎を修得するための科目を配置する。経営に関する広範な基礎力を身につけた上で専門的な学びへと、体系的に学習させる。専門課程では、学生の関心・進路に応じたテーマを中心に学べる複数の履修コースを設け、そのコースを中心に初年次演習を通じて学科の学びの指導を、また年度始めには履修ガイダンスならびに個別の履修相談期間を設定し指導を行っている。具体的な履修コースについては、「経営」、「会計・ファイナンス」、「情報」の3つの専門分野を設定している。また、地域と連携した講義や実践的な学びを通じて、社会とつながる学修を進め、社会課題に果敢に取り組む実践力を磨いていく。

定員が増えることについては、主に少人数クラスに影響することが考えられる。経営学科では初年次演習、基礎演習、専門演習といった演習科目が少人数クラス科目に該当し、これらの科目は1クラスあたりの履修者数を25人以下に設定している。令和3年度春学期のクラスあたり平均履修者数は、初年次演習12.3人、基礎演習13.7人、専門演習13.0人である（表5）。担当教員の人数については、初年次演習は8名、選択科目である基礎演習は6名、同じく選択科目である専門演習は10名の教員が担当している。

今回の増員によって入学定員は2倍（160名／80名）となるため、各演習の履修者数も増加が見込まれる。ただし、所属専任教員数は設置基準を超える12名を配置し、学生のニーズによってクラス数を増やすことは可能であるため、定員変更による増員後も十分な教育水準を確保できると考えている。演習科目のクラスサイズについて、増員後の推計結果を表5に示す。

平均履修者数の推計を行うにあたり、初年次演習の履修者数は入学定員と同数、基礎演習と専門演習は現在の履修者数の2倍（160名／80名）と想定し、演習科目のクラスサイズを算出した。仮に全教員12名が各演習を受け持つ場合、増員後の平均履修者数は、初年次演習13.3人、基礎演習13.7人、専門演習21.7人と推計され、1クラスあたり25人を下回る規模で演習科目の実施が可能である。

表5. 経営学科 演習科目の履修者数

	令和3年度 春学期			増員後（推計）		
	履修者数	担当教員数	クラスあたり 平均履修者数	履修者数※	担当教員数	クラスあたり 平均履修者数
初年次演習	98	8	12.3	160	12	13.3
基礎演習	82	6	13.7	164	12	13.7
専門演習	130	10	13.0	260	12	21.7

※令和3年度春学期 履修者数×2（初年次演習については入学定員人数）

また、比較的大人数が履修する講義科目（※経営学科の専門科目）については、経営学科の一学年全員が履修する場合でも160名程であり、学生から受ける質問への対応や課題へのフィードバック等を丁寧に行うことが可能な人数規模と言える。仮に、履修者が過剰になったとしても、同一科目の複数クラス開講や春秋両学期での開講等、履修者を分散し、適正な人数規模のクラスとなるよう科目を設定することが可能である。

以上のように、少人数・大人数いずれの科目についても、十分な教育効果をもった授業として増員後も実施していくことが出来ると考える。

3.2.3. 人間社会学部 福祉心理学科

人間社会学部福祉心理学科では、初年次に学科の基礎を修得するための科目を配置し、基礎から専門へ体系的に学習させる。専門課程では、学生の関心・進路に応じたテーマを中心に学べる「福祉」、「心理」の2つの専門分野を設け、その分野を中心に初年次演習を通じて学科の学びの指導を、また年度始めには履修ガイダンスならびに個別の履修相談期間を設定し指導を行っている。

公認心理師の受験資格に対応した教育課程への変更により、資格取得を目指す学生に対しては必要な科目を履修するカリキュラムを設定する。

定員が増えることについては、主に少人数クラスに影響することが考えられる。福祉心理学科では初年次演習、基礎演習、専門演習といった演習科目が少人

数クラス科目に該当し、これらの科目は1クラスあたりの履修者数を25人以下に設定している。令和3年度春学期のクラスあたり平均履修者数は、初年次演習14.0人、基礎演習17.0人、専門演習11.5人である（表6）。担当教員の人数については、初年次演習は2名、選択科目である基礎演習は1名、同じく選択科目である専門演習は2名の教員が担当している。

今回の増員によって入学定員は1.8倍（45名/25名）となるため、各演習の履修者数も増加が見込まれる。ただし、所属専任教員数は設置基準を超える9名を配置し、学生のニーズによってクラス数を増やすことは可能であるため、定員変更による増員後も十分な教育水準を確保できると考えている。演習科目のクラスサイズについて、増員後の推計結果を表6に示す。

平均履修者数の推計を行うにあたり、初年次演習の履修者数は入学定員と同数、基礎演習と専門演習は現在の履修者数の1.8倍（45名/25名）と想定し、演習科目のクラスサイズを算出した。仮に各演習の担当教員を現在の倍にする場合、増員後の平均履修者数は、初年次演習11.3人、基礎演習15.3人、専門演習10.4人と推計され、1クラスあたり20人を下回る規模で演習科目の実施が可能である。

表6. 福祉心理学科 演習科目の履修者数

	令和3年度 春学期			増員後（推計）		
	履修者数	担当教員数	クラスあたり平均履修者数	履修者数※	担当教員数	クラスあたり平均履修者数
初年次演習	28	2	14.0	45	4	11.3
基礎演習	17	1	17.0	31	2	15.3
専門演習	23	2	11.5	41	4	10.4

※令和3年度春学期 履修者数×1.8（初年次演習については入学定員人数）

また、比較的大人数が履修する講義科目（※福祉心理学科の専門科目）については、福祉心理学科の一学年全員が履修する場合でも45名程であり、学生から受ける質問への対応や課題へのフィードバック等を丁寧に行うことが可能な人数規模と言える。

以上のように、少人数・大人数いずれの科目についても、十分な教育効果をもった授業として増員後も実施していくことが出来ると考える。

3.3. 教員組織の変更内容

大学設置基準第13条に定められている専任教員数について、収容定員増後の基準教員数の観点で見えていく。

商学部経営学科の基準教員数は11名であるが、収容定員を変更する令和4年度から完成年度にかけて、常に12名以上の教員を配置していく計画である。令和4年度から完成年度までの間に定年退職となる教員もいるが、適宜補充を行い、基準教員数を上回る専任教員を確保する。補充にあたっては、教員の専門分野や年齢等のバランスを考慮し、長期的な継続性をもった教員組織を編成していく。

人間社会学部福祉心理学科についても、基準教員数8名に対して9名の教員を既に任用している。完成年度までの間に定年退職となる教員はいないため、現員の9名を維持し、基準教員数を上回る専任教員を確保する。

上記のとおり、いずれの学科も基準を上回る人数の教員を配置し、充実した教育を実行していく。

本学では、各学部所属の教員のほか、以下のような学部横断的教育・研究組織を設置し、全学的な教育・研究活動に従事させている。今回学則変更対象となる学科においても、これら組織の貢献は極めて大きい。

全学的な英語教育組織グローバル・ティーチング・インスティテュート(GTI)を設置し、現在42人の北米出身の英語ネイティブ教員を擁している。GTIは1クラス10名程度の対話型授業できめ細やかな指導を行っており、今後についてもその質を担保するよう努めていく。更に令和2年度にはビジネス分野の実務家教員も学部と兼務で配置し、「使える英語」を目指し、連携して海外インターンシップ、PBL等を指導する体勢を整えている。

このように、今回の収容定員変更後における対象学科の教育課程実施に教員組織上の問題はない。本学としては、受験生及び社会に評価されているこの組織を更に発展させていくために、専門性、年齢、保有学位・教歴、多様性等のバランスに配慮し、教育効果を発揮できる教員組織の編成に努めていく。

3.4. 大学全体の施設・設備の変更内容

今回の収容定員変更に伴う大学全体の施設・設備の変更は行わない。埼玉県川越市に所在する本学第1、第2キャンパスは、校地面積77,288㎡、校舎面積61,023㎡の規模を持ち、校舎面積として十分に大学設置基準が定める水準を充たしている。更に、総合スポーツ・グラウンド施設として校地面積166,739㎡の坂戸キャンパスも整備している。

川越市の第1キャンパスには、イングリッシュ・プラザ、ジャパニーズ・プラザといった学習スペースを整備しており、日本人学生と外国人留学生が共に学ぶ環境として定員増後も十分な対応が可能である。また、令和5年9月には東

京都豊島区東池袋に、校地面積 10,000 m²、校舎面積約 26,700 m²の新キャンパスを開校する予定である。新キャンパスは本学グローバル教育機能の中核となる。

4. 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

商学部経営学科は入学から卒業まで、本学第 1 キャンパスで学修に取り組んでいく。一方、人間社会学部福祉心理学科については原則的に本学第 2 キャンパスで学修に取り組んでいくが、全学部横断の必修科目である「大学生活デザイン演習」および「ICT 基礎」の 2 科目のみ、第 1 キャンパスで授業を受ける。

福祉心理学科は 2 以上の校地において教育を行うことになるため、教育体制について具体的な計画を詳述する。なお、校地が別の場所となる授業は 1 年次の春学期に履修する当該 2 科目のみで限定的なため、各校地ごとに収容定員は定めていない。また、当該 2 科目の担当教員は福祉心理学科所属の教員ではなく、第 1 キャンパスで福祉心理学科の専門科目を開講することもないため、福祉心理学科では全教員を第 2 キャンパスに配置する。福祉心理学科教員が校地間を移動して授業を行うことはない。

学生への配慮について、第 1 キャンパスと第 2 キャンパス間は片道徒歩 12 分程度で移動が可能であるが、「大学生活デザイン演習」および「ICT 基礎」の履修にあたっては他授業への影響が最小限になるよう配慮を行う。具体的には、人間社会学部福祉心理学科の学生に対しては、当該 2 科目の開講時限をいずれも午後の時限に設定する。休憩時間の長い昼休みが授業前にあることで、午前は第 2 キャンパスでの授業を受け、午後に当該科目を第 1 キャンパスで受けるといった時間割も可能となる。

施設設備等に関しては、第 1 キャンパスの教室には十分な余裕があり、福祉心理学科の学生も含めて「大学生活デザイン演習」および「ICT 基礎」の授業を実施することに問題はない。また、「ICT 基礎」の授業で使用することになる PC 設備等についても十分な数を備えているため、問題なく授業を運営することが可能である。

以上のように、福祉心理学科については、「大学生活デザイン演習」および「ICT 基礎」を別の校地で開講する上で問題のない教育体制を構築していく。

添付資料

(学則の変更の趣旨等を記載した書類)

東京国際大学



目次

資料 1.	教育課程等の概要	3
	商学部 経営学科	3
	人間社会学部 福祉心理学科 全体	7
	人間社会学部 福祉心理学科 第1キャンパス	11
	人間社会学部 福祉心理学科 第2キャンパス	12

資料1. 教育課程等の概要

商学部 経営学科

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本工業規格A4縦型）

教育課程等の概要														
(商学部経営学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
T I U C A	大学生活デザイン演習	1前	2				○							兼1
	初年次演習	1前・後	2+2				○		11	1				
	ICT基礎	1前	2			○								兼1
	小計（3科目）	—	8	0	0	—	—	—	11	1	0	0	0	兼1
教 養 コ ア 科 目	人間と文化	哲学	1後	4		○								兼3
	倫理学	1前・後	4		○									兼3
	芸術論	1前・後	4		○									兼2
	文学	1前・後	4		○									兼2
	ことば学入門	1前・後	4		○									兼2
	アジア・アラブ史	1前・後	4		○									兼1
	アメリカ・ヨーロッパ史	1前	4		○									兼1
	日本史	1前・後	4		○									兼2
	地理学概論	1後	4		○									兼1
	人文地理学	1後	4		○									兼1
	日本の文化	1前・後	4		○									兼1
	異文化概論	1前・後	4		○									兼2
	文化人類学	1前・後	4		○									兼1
	Introduction to American Society	1前	4		○									兼2
Life & Tradition in America	休	4		○										
現 代 社 会	法学	1前・後	4		○									兼2
	憲法	1前・後	4		○									兼1
	政治学	1前・後	4		○									兼2
	経済学	1前・後	4		○									兼4
	社会学	1前・後	4		○									兼2
	現代の社会	1前・後	4		○									兼1
	心理学概論	1前・後	4		○									兼4
自 然 科 学 と 環 境	自然科学概論	1後	4		○									兼1
	環境と自然	1前・後	4		○				1					兼2
	科学思想史	1後	4		○									兼1
	統計学入門	1前・後	4		○									兼4
	情報処理の基礎	1前・後	4		○									兼2
ボ ー ス	健康・スポーツ科学	1前・後	4		○									兼3
	健康・スポーツ実技	1前・後	1				○							兼8
	小計（29科目）	—	0	113	0	—	—	—	1	0	0	0	0	兼47
言 語 ス キ ル 科 目	英語	Oral Communication	1前・後	2		○								兼6
	Reading & Writing	1前・後	2		○					1				兼3
	English Workshop	1前・後	2		○									兼1
	Media English	1前	2		○									兼1
	Communication Basic I	1前	2		○									兼2
	Communication Basic II	1後	2		○									兼2
	English Comprehension I	1前	2		○									兼2
	English Comprehension II	1後	2		○									兼2
	Basic Speaking I	1前	1		○									兼2
	Basic Speaking II	1後	1		○									兼2
	Basic Writing I	1前	1		○									兼2
	Basic Writing II	1後	1		○									兼2
	Intermediate Speaking and Listening A	2前	2		○									兼2
	Intermediate Speaking and Listening B	2後	2		○									兼2
Intermediate Reading and Writing A	2前	2		○									兼2	
Intermediate Reading and Writing B	2後	2		○									兼2	

言語スキル科目	その他の外国語	ドイツ語入門	1前		2		○											兼1		
		実践ドイツ語	1後		2		○												兼1	
		フランス語入門	1前		2		○												兼1	
		実践フランス語	1後		2		○												兼1	
		スペイン語入門	1前		2		○												兼1	
		実践スペイン語	1後		2		○												兼1	
		中国語入門	1前・後		2		○												兼3	
		実践中国語	1後		2		○												兼2	
		ハングル入門	1前・後		2		○													兼1
		実践ハングル	1後		2		○													兼1
		ロシア語入門	1前		2		○													兼1
アラビア語入門	1前		2		○													兼1		
日本語	留学生	アカデミック日本語	1前		2		○												兼1	
		日本語ワークショップ	1後		2		○												兼1	
		ビジネス日本語	2前		2		○												兼1	
		小計 (31科目)	—	0	58	0	—			0	1	0	0	0	0	0	0	兼19	—	
自由選択科目	キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	1前		2		○												兼1	
		インターンシップ	2前		1				○										兼1	
		グローバルインターンシップ	2後		4					○									兼1	
		ボランティア活動	1前		1					○									兼1	
		アカデミック・ライティング	1前		2		○												兼1	
		キャリア・Re-スタート	1後		2		○												兼1	
	地域の安全と警察	2後		2		○												兼1		
	プロジェクト科目	観光まちおこしワークショップ入門	1前・後		2					○										兼3
		観光まちおこしワークショップ実践A	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしワークショップ実践B	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしワークショップ実践C	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトA	2前		1					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトB	2後		1					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトC	2前・後		1					○										兼1
		留学プランニング (ASP Prep)	1前・後		1				○											兼1
		海外ゼミナールA	1前・後		4				○											兼1
		海外ゼミナールB	1前・後		2				○											兼1
特別授業A		2前・後		2			○												兼1	
特別授業B	2前・後		4			○												兼1		
スポーツパフォーマンス実習 I	1前		2						○		1							兼14		
スポーツパフォーマンス実習 II	1後		2						○		1							兼14		
基礎科目特殊講義A	1前・後		2			○												兼1		
基礎科目特殊講義B	1前・後		4			○												兼1		
		小計 (23科目)	—	0	48	0	—			1	0	0	0	0	0	0	0	兼25	—	
専門科目	共通科目	経営学概論	1前・後		4		○				2									
		会計学概論	1後		4		○				1									
		情報社会と情報倫理	1前・後		2		○				2									
		情報処理論	1前		2		○				1									
	卒業論文	基礎演習	2前・後		2				○			11	1							
		専門演習	3前・後		2				○			11	1							
		卒業研究	3後		4				○			11	1							
	クォーター	商学概論	1後		4		○													兼1
		マーケティング論	2前		4		○													兼1
流通論		2前・後		4		○													兼1	

専 門 科 目	経 営 分 野	経営史	1前・後	4		○			1														
		国際ビジネス論	1後	4		○			1														
		経営管理論	2前・後	4		○															兼1		
		経営戦略論	2後	4		○															兼1		
		経営分析	2前	4		○															兼1		
		リスクマネジメント論	2後	4		○															兼1		
		産業・組織心理学	2前	4		○															兼1		
		制度と組織の経済学	2前	4		○				1													
		中小企業論	2前	4		○															兼1		
		経営組織論	2後	4		○				1													
		スポーツ組織論	2前	2		○															兼1		
		生産管理論	2後	4		○															兼1		
		異文化リーダーシップ論	2前	4		○															兼1		
		現代企業論	2後	4		○				1													
		人的資源管理論	2前	4		○				1													
		多国籍企業論	2前・後	4		○															兼1		
		起業論	2前	4		○															兼1		
		企業評価論	2前	4		○				1													
		企業研究	2前・後	2		○				1											兼1		
		分 野	フ ァ イ ナ ン ス	ファイナンス概論	1後	4		○														兼1	
				金融論	1前・後	4		○															兼2
				ファイナンス論	2後	4		○															兼1
ベンチャーファイナンス論	2前			4		○															兼1		
地域金融講座（飯能信用金庫寄附講座）	2後			2		○															兼1		
経 済 分 野	経 済 分 野	国際経済学	1前・後	4		○														兼1			
		財政学	1前・後	4		○															兼1		
		日本経済論	2前	4		○															兼1		
		社会経済システム論	2前	4		○															兼1		
		福祉の経済学	2後	4		○															兼1		
		都市経済論	2前・後	4		○															兼1		
		地域経済社会事情（中東）	2前	4		○															兼1		
		地域経済社会事情（東アジア）	2前	4		○															兼1		
地域経済社会事情（人の移動と地域）	2後	4		○															兼1				
法 律 分 野	法 律 分 野	民法	1後	4		○														兼1			
		会社法	2後	4		○														兼1			
		商取引法	2後	4		○														兼1			
会 計 分 野	会 計 分 野	簿記	1前・後	4		○			1											兼2			
		簿記演習	1前・後	2			○		1												兼1		
		応用簿記	1後	4		○			1														
		工業簿記	1前	4		○			1														
		応用簿記演習	1後	2			○		1														
		工業簿記演習	1後	2			○		1														
		財務会計論	2前	4		○			1														
		財務分析論	2前	4		○			1														
		国際会計論	2前	4		○															兼1		
		原価計算論	2後	4		○			1														
		会計監査論	2前	4		○			1														
		税務会計論	2後	4		○			1														
		管理会計論	2前	4		○			1														
		パソコン財務会計	2後	2		○			1														
		情 報 分 野	情 報 分 野	ウェブアプリ論	1前・後	4		○			2												
ソーシャルメディア論	1前			4		○			1														
データベース論	1前			4		○			1														
経営科学	1前・後			4		○			1														
プログラミング基礎	1前・後			4		○			2														
企業情報システム論	2後			2		○			1														
ビジネスゲーム	2後			2		○			1														
表計算プログラミング	2前・後			4		○															兼1		
問題解決技法	2前・後			4		○			2														
支 援 科 目	支 援 科 目	事業承継	2前	4		○			1														

専門科目	専門関連科目	数学入門	1前		4		○									兼2	
		社会史A	1前		4		○										兼1
		社会史B	1前		4		○										兼1
		環境問題とビジネス	2前		2		○										兼1
		交通論	2前・後		4		○										兼1
		立地論	2前		4		○										兼1
		ビジネス・ソリューション	1後		4		○			1							
		ビジネス英語	1後		4		○				1						
		ビジネス中国語	1後		4		○			1							
		ビジネススペイン語	1後		4		○										兼1
		スポーツ英語	1前・後		2		○					1					兼1
		専門外国書研究（英語）	2前		2		○										兼1
		商学部特殊講義A	2前		2		○										兼1
		商学部特殊講義B	2前		4		○										兼1
小計（84科目）		—	0	302	0		—		11	1	0	0	0	0	兼36	—	
合計（170科目）		—	8	521	0		—		11	1	0	0	0	0	兼134	—	
学位又は称号		学士（経営学）			学位又は学科の分野			経済学関係									
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
TIUコア科目8単位必修，教養コア科目および言語スキル科目から20単位，専門科目・学科内専門共通科目から4単位，専門科目から40単位，その他科目区分を問わず52単位を履修し，124単位以上修得すること。 （履修登録の上限：40単位（年間））								1学年の学期区分			2学期						
								1学期の授業期間			15週						
								1時限の授業時間			90分						

人間社会学部 福祉心理学科 全体

別記様式第2号 (その2の1)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要														
(人間社会学部福祉心理学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
T I U C O A	大学生活デザイン演習	1前	2				○							兼1
	初年次演習	1前・後	2+2				○		2	1	1			兼1
	ICT基礎	1前	2			○								兼1
	小計 (3科目)	—	8	0	0		—		2	1	1	0	0	兼1
教 養 C O A 科 目	人間と文化	1後		4		○								兼3
	倫理学	1前・後		4		○								兼3
	芸術論	1前・後		4		○								兼2
	文学	1前・後		4		○			1					兼1
	ことば学入門	1前・後		4		○								兼2
	アジア・アラブ史	1前		4		○								兼1
	アメリカ・ヨーロッパ史	1前		4		○								兼1
	日本史	1前・後		4		○								兼2
	地理学概論	1後		4		○								兼1
	人文地理学	1後		4		○								兼1
	日本の文化	1前・後		4		○								兼1
	異文化概論	1前・後		4		○								兼2
	文化人類学	1前・後		4		○								兼1
	Introduction to American Society	1後		4		○								兼2
	Life & Tradition in America	休		4		○								
現 代 社 会	法学	1前・後		4		○								兼2
	憲法	1前・後		4		○								兼1
	政治学	1前・後		4		○								兼2
	経済学	1前・後		4		○								兼4
	社会学	1前・後		4		○								兼2
	現代の社会	1前・後		4		○								兼1
	心理学概論	1前・後		4		○			1		1			兼2
自 然 科 学 と 環 境	自然科学概論	1後		4		○								兼1
	環境と自然	1前・後		4		○								兼3
	科学思想史	1後		4		○								兼1
	統計学入門	1前・後		4		○								兼4
	情報処理の基礎	1前・後		4		○								兼2
ホ ル ツ ス	健康・スポーツ科学	1前・後		4		○								兼3
	健康・スポーツ実技	1前・後		1				○						兼8
	小計 (29科目)	—	0	113	0		—		1	1	1	0	0	兼45
言 語 ス キ ル 科 目	英語	1前・後		2		○								兼7
	Reading & Writing	1前・後		2		○				1				兼3
	English Workshop	1前・後		2		○								兼1
	Media English	1前		2		○								兼1
	Communication Basic I	1前		2		○								兼2
	Communication Basic II	1後		2		○								兼2
	English Comprehension I	1前		2		○								兼2
	English Comprehension II	1後		2		○								兼2
	Basic Speaking I	1前		1		○								兼2
	Basic Speaking II	1後		1		○								兼2
	Basic Writing I	1前		1		○								兼2
	Basic Writing II	1後		1		○								兼2
	Intermediate Speaking and Listening A	2前		2		○								兼2
	Intermediate Speaking and Listening B	2後		2		○								兼2
Intermediate Reading and Writing A	2前		2		○								兼2	
Intermediate Reading and Writing B	2後		2		○								兼2	

言語スキル科目	その他の外国語	ドイツ語入門	1前		2		○											兼1		
		実践ドイツ語	1後		2		○												兼1	
		フランス語入門	1前		2		○												兼1	
		実践フランス語	1後		2		○												兼1	
		スペイン語入門	1前		2		○												兼1	
		実践スペイン語	1後		2		○												兼1	
		中国語入門	1前・後		2		○												兼3	
		実践中国語	1後		2		○												兼2	
		ハングル入門	1前・後		2		○													兼1
		実践ハングル	1後		2		○													兼1
		ロシア語入門	1前		2		○													兼1
		アラビア語入門	1前		2		○													兼1
	留學生 日本語	アカデミック日本語	1前		2		○												兼1	
日本語ワークショップ		1後		2		○												兼1		
ビジネス日本語		2前		2		○												兼1		
小計 (31科目)		—	0	58	0	—			0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼19	—	
自由選択科目	キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	1前		2		○												兼1	
		インターンシップ	2前		1				○										兼1	
		グローバルインターンシップ	2後		4					○									兼1	
		ボランティア活動	1前		1					○									兼1	
		アカデミック・ライティング	1前		2		○												兼1	
		キャリア・Re-スタート	1後		2		○												兼1	
		地域の安全と警察	2後		2		○												兼1	
	プロジェクト科目	観光まちおこしワークショップ入門	1前・後		2					○										兼3
		観光まちおこしワークショップ実践A	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしワークショップ実践B	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしワークショップ実践C	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトA	2前		1					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトB	2後		1					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトC	2前・後		1					○										兼1
		留学プランニング (ASP Prep)	1前・後		1				○											兼1
		海外ゼミナールA	1前・後		4				○											兼1
		海外ゼミナールB	1前・後		2				○											兼1
		特別授業A	2前・後		2			○												兼1
		特別授業B	2前・後		4			○												兼1
		スポーツパフォーマンス実習 I	1前		2						○									兼15
		スポーツパフォーマンス実習 II	1後		2						○									兼15
		基礎科目特殊講義A	1前・後		2			○												兼1
		基礎科目特殊講義B	1前・後		4			○												兼1
小計 (23科目)		—	0	48	0	—			0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼29	—	
学科間共通専門科目	卒業研究	基礎演習	2前・後		2				○			2								
		心理演習/専門演習	3通		4				○			4								
		卒業研究	4後		4				○			1								
	教育	教育原理	2前・後		4			○												兼2
		教育相談	2前・後		2			○												兼1
	福祉	社会福祉概論	1後		4			○					1							
		児童福祉論	1後		4			○					1							
		福祉教育論	1前		4			○												兼1
		医療社会論	1後		4			○												兼1
	心理	教育心理学	1後		4			○				1								兼1
		発達心理学	1後		4			○				1								
		対人関係論	2前		4			○						1						
		社会心理学	2前		4			○												兼1
	スポーツ	スポーツ社会学	1後		4			○												兼2
		スポーツ心理学	1後		4			○												兼2
		スポーツ・アドミニストレーション入門	2前		2			○												兼1
		スポーツ・アドミニストレーション	3前		2			○												兼1
スポーツ産業論		2後		2			○												兼1	
スポーツウェルネス		3前		4			○												兼1	
コミュニティスポーツ論		3前		4			○												兼2	
アキヤリ	人間社会学部特殊講義A	3前		2			○												兼1	
	人間社会学部特殊講義B	3後		4			○												兼1	

学位又は称号	学士（福祉心理学）	学位又は学科の分野	文学関係，社会学・社会福祉学関係	
卒業要件及び履修方法			授業期間等	
TIUコア科目8単位必修，教養コア科目および言語スキル科目から20単位，学科間共通 専門科目および福祉心理学科専門科目から36単位，その他科目区分を問わず60単位を 履修し，124単位以上修得すること。 （履修登録の上限：40単位（年間））			1 学年の学期区分	2学期
			1 学期の授業期間	15週
			1 時限の授業時間	90分

人間社会学部 福祉心理学科 第1キャンパス

別記様式第2号(その2の1)

第一キャンパス

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要														
(人間社会学部福祉心理学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
TIU コア 科目	大学生活デザイン演習	1前	2				○							兼1
	ICT基礎	1前	2			○								兼1
	小計(2科目)	—	4	0	0		—		0	0	0	0	0	兼1
合計(2科目)		—	4	0	0		—		0	0	0	0	0	兼1
学位又は称号		学士(福祉心理学)		学位又は学科の分野			文学関係, 社会学・社会福祉学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
TIUコア科目8単位必修, 教養コア科目および言語スキル科目から20単位, 学科間共通専門科目および福祉心理学科専門科目から36単位, その他科目区分を問わず60単位を履修し, 124単位以上修得すること。 (履修登録の上限: 40単位(年間))							1学年の学期区分			2学期				
							1学期の授業期間			15週				
							1時限の授業時間			90分				

人間社会学部 福祉心理学科 第2キャンパス

別記様式第2号 (その2の1)

第二キャンパス

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要															
(人間社会学部福祉心理学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
T I U コ ア	初年次演習	1前・後	2+2					○		2	1	1			
	小計 (1科目)	—	4	0	0			—		2	1	1	0	0	
教 養 コ ア 科 目	人間と文化	1後		4				○							
	倫理学	1前・後		4				○						兼3	
	芸術論	1前・後		4				○						兼2	
	文学	1前・後		4				○		1				兼1	
	ことば学入門	1前・後		4				○						兼2	
	アジア・アラブ史	1前		4				○						兼1	
	アメリカ・ヨーロッパ史	1前		4				○						兼1	
	日本史	1前・後		4				○						兼2	
	地理学概論	1後		4				○						兼1	
	人文地理学	1後		4				○						兼1	
	日本の文化	1前・後		4				○						兼1	
	異文化概論	1前・後		4				○						兼2	
	文化人類学	1前・後		4				○						兼1	
	Introduction to American Society	1後		4				○						兼2	
	Life & Tradition in America	休		4				○							
	現代社会	1前・後		4				○							兼2
	憲法	1前・後		4				○							兼1
	政治学	1前・後		4				○							兼2
	経済学	1前・後		4				○							兼4
	社会学	1前・後		4				○							兼2
現代の社会	1前・後		4				○							兼1	
心理学概論	1前・後		4				○		1		1			兼2	
自然 科学 と 環 境	自然科学概論	1後		4				○						兼1	
	環境と自然	1前・後		4				○						兼3	
	科学思想史	1後		4				○						兼1	
	統計学入門	1前・後		4				○						兼4	
ボ ー ス と ス ポ ー ツ	健康・スポーツ科学	1前・後		4				○						兼3	
	健康・スポーツ実技	1前・後		1						○				兼8	
	小計 (29科目)	—	0	113	0			—		1	1	1	0	0	兼45
言 語 ス キ ル 科 目	英語	Oral Communication	1前・後		2			○							兼7
	Reading & Writing	1前・後		2				○			1				兼3
	English Workshop	1前・後		2				○							兼1
	Media English	1前		2				○							兼1
	Communication Basic I	1前		2				○							兼2
	Communication Basic II	1後		2				○							兼2
	English Comprehension I	1前		2				○							兼2
	English Comprehension II	1後		2				○							兼2
	Basic Speaking I	1前		1				○							兼2
	Basic Speaking II	1後		1				○							兼2
	Basic Writing I	1前		1				○							兼2
	Basic Writing II	1後		1				○							兼2
	Intermediate Speaking and Listening A	2前		2				○							兼2
	Intermediate Speaking and Listening B	2後		2				○							兼2
	Intermediate Reading and Writing A	2前		2				○							兼2
Intermediate Reading and Writing B	2後		2				○							兼2	

言語スキル科目	その他の外国語	ドイツ語入門	1前		2		○											兼1	
		実践ドイツ語	1後		2		○												兼1
		フランス語入門	1前		2		○												兼1
		実践フランス語	1後		2		○												兼1
		スペイン語入門	1前		2		○												兼1
		実践スペイン語	1後		2		○												兼1
		中国語入門	1前・後		2		○												兼3
		実践中国語	1後		2		○												兼2
		ハングル入門	1前・後		2		○												兼1
		実践ハングル	1後		2		○												兼1
	ロシア語入門	1前		2		○												兼1	
	アラビア語入門	1前		2		○												兼1	
	留學生	アカデミック日本語	1前		2		○												兼1
日本語ワークショップ		1後		2		○												兼1	
ビジネス日本語		2前		2		○												兼1	
小計 (31科目)		—	0	58	0	—			0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼19	—
自由選択科目	キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	1前		2		○											兼1	
		インターンシップ	2前		1				○									兼1	
		グローバルインターンシップ	2後		4					○								兼1	
		ボランティア活動	1前		1					○									兼1
		アカデミック・ライティング	1前		2		○												兼1
		キャリア・Re-スタート	1後		2		○												兼1
		地域の安全と警察	2後		2		○												兼1
	プロジェクト科目	観光まちおこしワークショップ入門	1前・後		2					○									兼3
		観光まちおこしワークショップ実践A	1前・後		2					○									兼1
		観光まちおこしワークショップ実践B	1前・後		2					○									兼1
		観光まちおこしワークショップ実践C	1前・後		2					○									兼1
		観光まちおこしプロジェクトA	2前		1					○									兼1
		観光まちおこしプロジェクトB	2後		1					○									兼1
		観光まちおこしプロジェクトC	2前・後		1					○									兼1
		留学プランニング (ASP Prep)	1前・後		1				○										兼1
		海外ゼミナールA	1前・後		4				○										兼1
		海外ゼミナールB	1前・後		2				○										兼1
		特別授業A	2前・後		2		○												兼1
		特別授業B	2前・後		4		○												兼1
		スポーツパフォーマンス実習 I	1前		2						○								兼15
		スポーツパフォーマンス実習 II	1後		2						○								兼15
		基礎科目特殊講義A	1前・後		2		○												兼1
		基礎科目特殊講義B	1前・後		4		○												兼1
小計 (23科目)		—	0	48	0	—			0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼29	—
学科間共通専門科目	卒業研究	基礎演習	2前・後		2				○			2							
		心理演習/専門演習	3通		4				○			4							
		卒業研究	4後		4				○			1							
	教育	教育原理	2前・後		4		○												兼2
		教育相談	2前・後		2		○												兼1
	福祉	社会福祉概論	1後		4		○					1							
		児童福祉論	1後		4		○					1							
		福祉教育論	1前		4		○												兼1
		医療社会論	1後		4		○												兼1
	心理	教育心理学	1後		4		○					1							兼1
		発達心理学	1後		4		○					1							
		対人関係論	2前		4		○						1						
		社会心理学	2前		4		○												兼1
	スポーツ	スポーツ社会学	1後		4		○												兼2
		スポーツ心理学	1後		4		○												兼2
		スポーツ・アドミニストレーション入門	2前		2		○												兼1
		スポーツ・アドミニストレーション	3前		2		○												兼1
スポーツ産業論		2後		2		○												兼1	
スポーツウェルネス		3前		4		○												兼1	
コミュニティスポーツ論		3前		4		○												兼2	
アキヤリ	人間社会学部特殊講義A	3前		2		○												兼1	
	人間社会学部特殊講義B	3後		4		○												兼1	

学位又は称号	学士（福祉心理学）	学位又は学科の分野	文学関係，社会学・社会福祉学関係	
卒業要件及び履修方法			授業期間等	
TIUコア科目8単位必修，教養コア科目および言語スキル科目から20単位，学科間共通専門科目および福祉心理学科専門科目から36単位，その他科目区分を問わず60単位を履修し，124単位以上修得すること。 （履修登録の上限：40単位（年間））			1 学年の学期区分	2学期
			1 学期の授業期間	15週
			1 時限の授業時間	90分

学生の確保の見通し等を記載した書類

(収容定員変更に係る学則変更)

東京国際大学



目次

1. 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況.....	3
1.1. 学生の確保の見通し	3
1.1.1. 定員充足の見込みおよび入学定員設定の考え方	3
1.1.2. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要.....	4
1.1.2.1. 大学進学者数の推移	4
1.1.2.2. 埼玉県、東京都における志願動向	6
1.1.2.3. 各学科の志願動向	7
1.1.2.4. 他大学の心理学部の動向	9
1.2. 学生確保に向けた具体的な取組状況.....	11
2. 人材需要の動向等社会の要請	13
2.1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	13
2.2. 人材需要の客観的根拠.....	13
2.2.1. 東京国際大学に対する社会からの評価.....	13
2.2.2. 各学科の就職状況	14
2.2.3. 公認心理師に対する社会的需要	14

1. 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況

1.1. 学生の確保の見通し

1.1.1. 定員充足の見込みおよび入学定員設定の考え方

今回の収容定員変更では、以下のとおり入学定員・収容定員を定めた（表 1）。商学部経営学科は入学定員を 80 名拡大することで、現在の 80 名から 160 名へと増員する。人間社会学部福祉心理学科については、入学定員を現在の 25 名から 45 名へと増員する。

表 1. 令和 4 年度 収容定員変更の概要

学部	学科	現行		変更後		差	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
商学部	経営学科	80人	320人	160人	640人	+80人	+320人
人間社会学部	福祉心理学科	25人	100人	45人	180人	+20人	+80人
合計		105人	420人	205人	820人	+100人	+400人

今般の収容定員変更は、本学に対する受験生のニーズに応えることを目的としている。

本学は建学の精神として「公德心を体した真の国際人の養成」を掲げ、国際教育に関する特長は受験生からも高い評価を得ている。令和元年度には、英語で学位取得可能なイングリッシュ・トラック・プログラムを擁する経済学部経済学科、国際関係学部国際関係学科の入学定員を、他学部他学科の入学定員から振り分けることで増員し、志願者の増加に対応していた（資料 1）。

しかし近年、商学部経営学科や人間社会学部福祉心理学科についても志願者数は増加傾向にある（表 2）。令和 3 年度は新型コロナウイルスによる影響から前年に比べて落ち込みはしたが、平成 29 年度に比べ志願者数は大きく増加しており、本学の教育内容に共感する受験生のニーズに対応するため、あらためて当該学科の収容定員増を企図している。

表 2. 各学科の志願動向

< 商学部 経営学科 >

入学年度		平成29	平成30	令和元(平成31)	令和2	令和3
①	入学定員	100	100	80	80	80
②	志願者数	334	395	536	1,094	672
③	志願倍率 ②/①	3.34	3.95	6.70	13.68	8.40

< 人間社会学部 福祉心理学科 >

入学年度		平成29	平成30	令和元(平成31)	令和2	令和3
①	入学定員	50	50	25	25	25
②	志願者数	84	106	150	232	161
③	志願倍率 ②/①	1.68	2.12	6.00	9.28	6.44

変更後の入学定員については、過去 5 年間の本学志願動向からシミュレーションを行い、適正な入学者選抜を行える水準を想定し、設定した。本学に在籍する学生の多くの出身地域である埼玉県、東京都における今後の大学進学者数の予測や、他大学心理学部の志願・入学動向からも、設定した入学定員を充足していくことが可能と考える。

また、入学定員の設定に当たっては、収容定員変更に併せて実行する教育課程の改良（福祉心理学科の公認心理師対応カリキュラム導入）や、教員組織、校地、校舎等の施設、設備その他の教育上の諸条件を勘案したうえで、教育効果が十分発揮できる範囲での定員増加になるよう留意している。教員組織については授業内容や方法、履修指導体制等を考慮のうえ、効果的教育が実施できる人数による体制を構築している。それぞれの学科においては、大学設置基準が定める必要専任教員数を超える専任教員を配置し、入学定員を増加しても十分対応可能な体制とする。

1.1.2. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1.1.2.1. 大学進学者数の推移

今後の中長期的な学生確保見通しを考察するため、まずは大学進学者全体のボリュームの変化を国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）」及び文部科学省「大学への進学者数の将来推計について」のデータをもとに推計した。

本学に在籍する学生（留学生を除く）の出身地域（保護者住所）は埼玉県と東京都の 2 都県で 6 割～7 割を占める。したがって、大学進学者数の予測にあたっては、当該 2 都県における大学進学者数推移を見ていく。**表 3** に示すとおり、埼玉県の大学進学適齢人口について、2015 年の 354,632 人を 100.0 とする場合、2020 年には 335,397 人（94.6）、2030 年には 303,238 人（85.5）と、2030 年ま

でに 14.5%の減少が見込まれる。一方、東京都については、2015年の572,290人を100.0とする場合、2020年には552,167人(96.5)、2030年には564,674人(98.7)と、埼玉県に比べて人口の減少幅は小さく、1.3%の減少に留まることが推計されている。

表 3. 大学進学適齢人口の推移予測

<15～19歳推計人口>

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	354,632	335,397	322,194	303,238
	100.0	94.6	90.9	85.5
東京都	572,290	552,167	557,895	564,674
	100.0	96.5	97.5	98.7

国立社会保障・人口問題研究所

「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

次いで、大学進学率の推移予測に関しても表4で見えていく。埼玉県については、2015年の51.1%を100.0とする場合、2020年には53.6%(104.9)、2030年には57.9(113.3)と、2030年までに2015年と比べて13.3%の増加が予測されている。東京都については、現在の大学進学率が既に極めて高いことから、2030年の大学進学率は2015年と同じく72.8%であることが予測されている。

表 4. 大学進学率の推移予測

<大学進学率>

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	51.1%	53.6%	55.6%	57.9%
	100.0	104.9	108.8	113.3
東京都	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%
	100.0	100.0	100.0	100.0

文部科学省「大学への進学者数の将来推計について」

上記で示してきた大学進学適齢人口と大学進学率の数値を掛け合わせ、大学進学者数の推移予測として表したものが表5である。埼玉県については、大学進学適齢人口は減少する一方で、大学進学率は上昇するため、2015年を100.0とする場合、2020年では99.2、2030年では96.9と、3.1%の僅かな減少に留まる。また、東京都についても、大学進学適齢人口の減少が僅かであるため、2015年を100.0とする場合、2020年では96.5、2030年では98.7と推移して

いくことが予測できる。

表 5. 大学進学者数の推移予測

< 指数：（15～19歳推計人口）×（大学進学率） >

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	100.0	99.2	98.9	96.9
東京都	100.0	96.5	97.5	98.7

日本社会における少子化の進行によって、大学の学生募集環境は今後も楽観視できる状況ではない。しかし、以上で見てきたとおり、本学へ入学してくる学生の主要な出身地域である埼玉県、東京都では、今後の大学進学者数に極端な落ち込みはないと予測でき、十分に定員を充たしていくことが可能な環境だと考えられる。

1.1.2.2. 埼玉県、東京都における志願動向

日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」に公表されている「地域別の動向（大学・学校別）」において、本学の主たる通学圏である埼玉県及び東京都における平成26年度以降6年間の志願倍率、入学定員充足率を確認した（表6）。埼玉県、東京都ともに入学定員の拡大を上回るペースで志願者数が増加、志願倍率は上昇傾向にあり、令和2年度の志願倍率は埼玉県が6.4倍、東京都が10.4倍となっている。入学定員充足率も安定的に1.00を超えており、定員を充たしていくことが可能な環境と考えられる。

表 6. 地域別の志願動向

	年度	入学定員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	合格率	歩留	充足率
		①	②	③	④	②/①	③/②	④/③	④/①
埼玉	平成27	16,738	72,406	34,608	17,508	4.3	47.8%	50.6%	1.05
	平成28	16,754	77,684	36,163	17,090	4.6	46.6%	47.3%	1.02
	平成29	16,875	80,739	36,296	17,434	4.8	45.0%	48.0%	1.03
	平成30	17,046	88,025	36,781	17,941	5.2	41.8%	48.8%	1.05
	令和元	17,137	105,056	38,845	18,510	6.1	37.0%	47.7%	1.08
	令和2	17,107	109,902	38,749	18,412	6.4	35.3%	47.5%	1.08
東京	平成27	168,390	1,632,817	492,515	185,187	9.7	30.2%	37.6%	1.10
	平成28	170,553	1,680,215	492,001	185,914	9.9	29.3%	37.8%	1.09
	平成29	175,024	1,803,679	481,265	187,859	10.3	26.7%	39.0%	1.07
	平成30	179,549	1,941,659	462,130	186,116	10.8	23.8%	40.3%	1.04
	令和元	180,659	2,001,091	469,256	184,115	11.1	23.5%	39.2%	1.02
	令和2	181,781	1,899,211	504,652	183,897	10.4	26.6%	36.4%	1.01

1.1.2.3. 各学科の志願動向

収容定員を変更する各学科について、平成 29 年度以降の 5 年間における志願動向を整理した（表 7、表 8）。いずれの学科も、平成 29 年度から令和 3 年度にかけて志願者数は堅調に推移している。令和 3 年度については、新型コロナウイルスによる影響から前年に比べて落ち込みはしたが、平成 29 年度に比べ志願者数は大きく増加しており、各学科とも志願倍率は 6 倍を超える。

各学科の実績を示すとともに、定員増後の定員充足率 1.00 に必要な合格者数・合格率のシミュレーションを行った。シミュレーションにあたり、志願者数は令和 3 年度の実績と令和 2 年度の実績の中間の人数（（令和 3 年度志願者数＋令和 2 年度志願者数）／2）と想定した。理由として、令和 3 年度入試は新型コロナウイルスによる影響から十分な学生募集活動を実施できなかったが、令和 4 年度入試に向けての活動では令和 2 年度入試並みの活動を実行する予定であり、一定程度の志願者数の回復を見込んでいるためである。合格者のうちの入学者の比率を示す歩留は、平成 29 年度から令和 3 年度の過去 5 年間の平均値を使用している。シミュレーションの結果、定員増加後においても、適正な入学者選抜を行った上で定員を充足していくことが可能と考える。

以下に学科ごとの詳細を述べる。

・商学部 経営学科

表 7. 商学部 経営学科の志願動向

入学年度	平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	シミュレーション
① 入学定員	100	100	80	80	80	160
② 志願者数	334	395	536	1,094	672	883
③ 合格者数	225	211	211	354	409	405
④ 入学者数	125	101	90	94	101	160
⑤ 志願倍率 ②/①	3.34	3.95	6.70	13.68	8.40	5.52
⑥ 合格率 ③/②	67.4%	53.4%	39.4%	32.4%	60.9%	45.9%
⑦ 歩留 ④/③	55.6%	47.9%	42.7%	26.6%	24.7%	39.5%
⑧ 定員充足率 ④/①	1.25	1.01	1.13	1.18	1.26	1.00

商学部経営学科の志願者数は、平成 29 年度の 334 人から増加が続き、令和 2 年度には 1,094 人に達した。新型コロナウイルスの影響を受けた令和 3 年度でも 672 人が志願しており、平成 29 年度に比べて約 2.0 倍と大きく増加している。

経営学科は入学定員を 80 名から 160 名に 80 名増員する。変更後の入学定員充足率 1.00 確保に必要な合格者数は 405 名、合格率 45.9%というシミュレーション結果となる（志願者数は 883 名、歩留は平成 29～令和 3 年度の平均と想定）。

この合格率は令和3年度の合格率60.9%よりも低く、入学者選抜上、適正な水準と考えられ、十分に学生を確保していくことが可能だと判断できる。

・人間社会学部 福祉心理学科

表 8. 人間社会学部 福祉心理学科の志願動向

入学年度		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	シミュレーション
①	入学定員	50	50	25	25	25	45
②	志願者数	84	106	150	232	161	197
③	合格者数	68	69	74	73	117	115
④	入学者数	31	35	29	27	27	45
⑤	志願倍率 ②/①	1.68	2.12	6.00	9.28	6.44	4.37
⑥	合格率 ③/②	81.0%	65.1%	49.3%	31.5%	72.7%	58.6%
⑦	歩留 ④/③	45.6%	50.7%	39.2%	37.0%	23.1%	39.1%
⑧	定員充足率 ④/①	0.62	0.70	1.16	1.08	1.08	1.00

福祉心理学科の志願者数は、平成29年度の84人から増加が続き、令和2年度には232人に達した。新型コロナウイルスの影響を受けた令和3年度でも161人が志願しており、平成29年度に比べて約1.9倍と大きく増加している。

福祉心理学科は入学定員を25名から45名に20名増員する。変更後の入学定員充足率1.00確保に必要な合格者数は115名、合格率58.6%というシミュレーション結果となる（志願者数は197名、歩留は平成29～令和3年度の平均と想定）。

この合格率は令和3年度の合格率72.7%よりも低く、入学者選抜上、適正な水準と考えられ、十分に学生を確保していくことが可能だと判断できる。

1.1.2.4. 他大学の心理学部の動向

福祉心理学科については、現行の教育課程にはない、公認心理師の受験資格取得に対応した新たなカリキュラムを導入する。そのため、過去の本学志願動向からだけでは、今後の学生確保見通しを十分に推し量ることはできない。公認心理師対応カリキュラムを導入している他大学の志願動向についても見ていく。

まずは日本私立大学振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」を基に、全国の心理学部の志願者・入学者の動向を確認した（表 10）。

表 10. 全国の心理学部の志願動向

< 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）「心理学部」 >

		平成27	平成28	平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2
集計学部数		14	14	14	18	18	21
入学定員	①	2,165	2,195	2,185	2,723	2,713	2,968
志願者数	②	14,924	15,051	17,324	23,026	28,076	29,548
志願倍率	②/①	6.9	6.9	7.9	8.5	10.3	10.0
入学者数	③	2,199	2,198	2,405	2,935	2,832	3,098
入学定員充足率	③/①	101.6%	100.1%	110.1%	107.8%	104.4%	104.4%

日本私立学校振興・共済事業団『私立大学・短期大学等入学志願動向』から作成

平成 27 年度に 2,165 人だった心理学部入学定員は、令和 2 年度には 2,968 人と、6 年間で入学定員は約 1.4 倍になっている。その間、志願者数についても同様に、平成 27 年度に 14,924 人だった志願者は、令和 2 年度には 29,548 人と 6 年間で約 2 倍に増加しており、令和 2 年度の志願倍率は 10.0 となっている。入学定員充足率についても堅調に推移している。

心理学部の募集定員は過去 6 年間で大きく増加しているが、定員の増加以上に志願者も大きく増加してきている。直近の志願倍率も高い水準を維持していることから、今後も引き続き、受験生からのニーズが大きい学問系統であることが予測でき、安定的に学生を確保していくことが可能だと考えられる。

次いで、本学の近隣に位置する主な心理学部学科の志願動向、収容定員充足率を調査した。公認心理師に対応したカリキュラムを擁している各大学の過去3年間における志願者数を見ると、多くの大学で志願倍率は堅調に推移している（表11）。

表 11. 埼玉県、東京都の心理学部学科の志願動向

大学	学部・学群	学科/専攻	入学定員			志願者数			志願倍率		
			平成30	令和元	令和2	平成30	令和元	令和2	平成30	令和元	令和2
文京学院	人間	心理	100	100	100	531	773	1,156	5.3	7.7	11.6
駿河台	心理	心理	140	140	140	589	954	1,103	4.2	6.8	7.9
聖学院	心理福祉	心理福祉	140	120	120	230	323	513	1.6	2.7	4.3
埼玉学園	人間	心理	100	100	100	n.a.	303	271	n.a.	3.0	2.7
埼玉工業	人間社会	心理/臨床心理	25	30	30	154	218	384	6.2	7.3	12.8
和光	現代人間	心理教育/心理学専修	60	60	60	n.a.	457	810	n.a.	7.6	13.5
東京成徳	応用心理	臨床心理	112	112	112	339	426	643	3.0	3.8	5.7
東洋学園	人間科学	人間科学	200	200	200	632	803	982	3.2	4.0	4.9
目白	心理	心理カウンセリング	120	120	125	814	1,248	1,598	6.8	10.4	12.8
杏林	保健	臨床心理	80	80	80	138	271	558	1.7	3.4	7.0
日本	文理	心理	130	130	130	2,172	1,581	1,993	16.7	12.2	15.3

旺文社「大学受験パスナビ」、各大学ホームページから作成

また、令和2年度の入学定員超過率については、いずれの大学も1倍を超えている。収容定員の充足率についても、多くの大学が1倍を超えている（表12）。

表 12. 埼玉県、東京都の心理学部学科の収容定員充足率（令和2年度）

大学	学部・学群	学科/専攻	入学定員	入学者数	入学定員 超過率	収容定員	在籍者数	収容定員 充足率
文京学院	人間	心理	100	112	1.12	400	432	1.08
駿河台	心理	心理	140	168	1.20	560	648	1.16
聖学院	心理福祉	心理福祉	120	135	1.13	380	397	1.04
埼玉学園	人間	心理	100	104	1.04	400	324	0.81
埼玉工業	人間社会	心理	50	60	1.20	200	216	1.08
和光	現代人間	心理教育/心理学専修	60	74	1.23	223	298	1.34
東京成徳	応用心理	臨床心理	112	126	1.13	406	441	1.09
東洋学園	人間科学	人間科学	200	220	1.10	840	845	1.01
目白	心理	心理カウンセリング	125	134	1.07	495	520	1.05
杏林	保健	臨床心理	80	86	1.08	240	219	0.91
日本	文理	心理	130	136	1.05	520	548	1.05

各大学ホームページから作成

本学の主要な学生募集地域である埼玉県、東京都において、公認心理師に対応したカリキュラムを擁する心理学部への志願動向、収容定員充足率は堅調であ

り、受験生からのニーズの高さがうかがえる。公認心理師という職業については、スクールカウンセラー任用の重要性の高まり等、社会的需要は今後も高いと言える。社会からのニーズに合わせ受験生の志願動向は堅調な状況が続くと想定されることから、安定的に学生を確保していくことが可能と考える。

1.2. 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた募集活動については、本学の特徴や学科の特色が高校生及び保護者、進路指導担当教員等に伝わるような様々な機会を設けることとする。2020年度の本学の新生を対象に行った調査によると、東京国際大学を進学先として選択する際、影響を受けたものとして「オープンキャンパス」や「高校の先生との面談や話」等が上位に挙がっている。受験生が進学先を決める上で、これらの情報経路が重要なものであると考え、受験生と直接的に接する機会であるオープンキャンパスおよび高校教員への情報提供を特に力を入れて遂行する。新型コロナウイルスの影響により、今後も対面での接触がままならない状況が続く可能性はあるが、オンラインでのオープンキャンパスや入試相談等、WEB上でのコミュニケーションも活用し、十分な情報を受験生や保護者、進路指導担当教員に届けていく。

以下に本学が実施していく具体的な取組を述べる。

・オープンキャンパス

受験生向けに大学の学びを理解してもらう機会としてオープンキャンパスを開催している。本学の特色、人材育成の狙いの紹介、模擬授業、在学生のプレゼンテーション、キャンパス案内等を実施し、令和2年度については5回2,473名の来場者があった。また、WEB上で実施したオープンキャンパスについては、764名の参加があった。なお、新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度の活動については5回4,711名の来場者があった。

令和3年度については感染症のリスクに細心の注意を払いつつ、令和元年度なみの活動を予定している。

・高校等訪問

本学が重点対象とする高校に対し職員を派遣、進路指導部長及び部員に本学の教育システム、方針について説明を実施し、生徒が本学への興味、関心を持ってもらえるように周知を依頼している。令和2年度については延べ763校を訪問した。なお、新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度の活動については延べ830校を訪問した。

令和3年度については感染症のリスクに細心の注意を払いつつ、令和元年度

なみの活動を予定している。

- ・高校個別模擬授業

本学が重点対象とする高校に対しては、教員を派遣して出張講義を行い、高校生が具体的な学びのイメージを掴む手助けをしている。令和2年度は7校で実施した。なお、新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度の活動については32校で実施をしていた。

令和3年度については感染症のリスクに細心の注意を払いつつ、令和元年度なみの活動を予定している。

- ・高校教員対象大学説明会

高校の進路指導教員向けに「高校教員対象大学説明会」を開催し、教育内容や入試制度の前年からの変更点などを伝え、進路指導の参考にしてもらっている。令和2年度はオンラインで説明会を実施し、58校の参加があった。なお、新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度の活動については39校の参加であった。

オンラインで実施することにより、却って多くの高校に参加して頂く機会を得られたことから、令和3年度についても感染症の状況を見ながら、適切な手段で説明会を実施していく。

- ・進学相談会

学外で開催される各種進学ガイダンス・説明会へ積極的に参加している。本学への入学者が多くない首都圏以外のエリアのガイダンス・説明会にも参加している。令和2年度は15会場のガイダンス・説明会に参加した。なお、新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度の活動については35会場のガイダンス・説明会に参加した。

高校内で開催されるガイダンス・説明会についても学生募集の重点校については積極的に参加している。令和2年度はオンラインでの実施も含め、86校のガイダンス・説明会に参加した。なお、新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度の活動については121校のガイダンス・説明会に参加した。

令和3年度については感染症のリスクに細心の注意を払いつつ、令和元年度なみの活動を予定している。

2. 人材需要の動向等社会の要請

2.1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

各学科の人材養成・教育研究上の目的は以下のとおりである。

・商学部 経営学科

商学部は、多様な国内・国際ビジネスの仕組みを理解し、ビジネス上の諸課題に実践的に対応できる能力を備えた人材を養成する。

特に経営学科では、経営に関する専門知識と実践力を持ち、それらを実社会で応用できる人材を養成する。現在の教育課程には、「経営」、「会計・ファイナンス」、「情報」の3つの専門分野を設けている。

・人間社会学部 福祉心理学科

人間社会学部は、社会、文化、福祉、心理、スポーツのそれぞれの視点から人間と社会のかかわりを探究し、ひとの幸せのために、優しさと勇気を持って社会に貢献できる教養ある人材を養成する。

特に福祉心理学科では、現代社会の諸問題を福祉の視点、心理の視点から捉え、専門性と総合的技術を備えた人材を養成する。現在の教育課程には、「福祉」、「心理」の2つの専門分野を設けている。心理分野については公認心理師の受験資格に対応した学部カリキュラムを導入し、卒業後にカウンセラー等を目指すことを可能とする。

2.2. 人材需要の客観的根拠

2.2.1. 東京国際大学に対する社会からの評価

東京国際大学は、「公德心を体した真の国際人の養成」を建学の精神に掲げ、建学時からの教育目標である「Vision, Courage, Intelligence を身に付けた人材づくり」を具現化するために、「スポーツの東京国際大学」「英語力の東京国際大学」を柱とした教育事業展開を強力に推進している。

これらの取組が評価され、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション「THE 世界大学ランキング 日本版」における「国際性」分野で、2021（令和3）年度全国第13位、首都圏第4位と高い評価を得ている。

また、日経 HR「価値ある大学 2020 年版 就職力ランキング」では、本学の卒業生に対するイメージとして、「対人力（コミュニケーション能力が高い、ストレス耐性が高い、柔軟性・適応力がある）」は第14位、「独創性（創造力がある、個性がある、着眼点が良い）」は第14位に位置している。

このように、本学における様々な取組や育成している人材については、社会から高い評価を得ている。取組の例を挙げると、本学ではキャリア教育の一環とし

て、日本人学生を対象に「大学生活デザイン演習」を初年次の必修科目として設定している。初年次教育は多くの大学が導入しているものではあるが、本学の特徴はキャリア教育に主眼を置き、実施している点である。例えば、グループワークやプレゼンテーション等、実践的なアクティブラーニング形式の学びを通じて、集団の中での主体性やコミュニケーション能力等のいわゆる社会人基礎力を修得することが目的の一つである。また、本科目の中では、学生が社会人の方にインタビューする機会を設けており、自分自身のキャリアを考え、それに向けた4年間の大学生活をデザインする契機としている。

以上のように、本学では卒業生が社会に出た際、しっかりとその中で活躍し、自分自身のキャリアを築いていく力を持てるよう、人材の養成を行っている。人材養成に関する様々な取組が、前述した社会からの高い評価に繋がっていると考える。

2.2.2. 各学科の就職状況

本学の進路・就職状況については高い実績を挙げており、各学部の教育研究上の目的において示す「養成する人材像」が、それぞれの学問分野の専門性を基礎としつつも、共通して現代社会が求める能力を有する人材の養成に資するものであることを示している。以下に各学科の実績を示す。

・商学部 経営学科

経営学科の就職率は、平成30年度卒 98.2%（就職者数 108 人／就職希望者数 110 人）、令和元年度卒 97.1%（就職者数 99 人／就職希望者数 102 人）、令和2年度卒 95.8%（就職者数 91 人／就職希望者数 95 人）と、高い水準で推移している（資料2）。

・人間社会学部 福祉心理学科

福祉心理学科の就職率は、平成30年度卒 100%（就職者数 60 人／就職希望者数 60 人）、令和元年度卒 95.2%（就職者数 40 人／就職希望者数 42 人）、令和2年度卒 100%（就職者数 22 人／就職希望者数 22 人）と、高い水準で推移している（資料2）。

2.2.3. 公認心理師に対する社会的需要

公認心理師のように、教育機関や企業、病院等の様々な場所でカウンセリングを担える人材への社会的需要は高い状況が続くと考えられる。

文部科学省「令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、いじめられた児童生徒がスクールカウンセラー等

に相談した件数が6年連続で増加、不登校児童生徒がスクールカウンセラー等に相談した件数が7年連続で増加するなど、学校において生徒の心理的ケアを担当する専門スタッフの重要性が増している。しかし、現在、公立の小・中・高等学校においてスクールカウンセラーが常駐している学校は1%に満たない（資料3）。

このような状況の中、文部科学省は「児童生徒の教育相談の充実について（報告）」の中で、「最終的には、全ての必要な学校、教育委員会及び教育支援センターに常勤のスクールカウンセラーを配置できることを目指すことが適切である」としている。公認心理師のように、教育現場で児童生徒の心理的サポートを担えるプロフェッショナルはより多くの活躍が期待されている。

また、日本においては年間2万人以上が自殺によって命を絶っている。近年の自殺者数は減少傾向にあったが、直近の状況では自殺者数は増加、特に10代、20代の若年層で増えている（資料4）。自殺のすべてが心の問題に起因するわけではないが、病院や企業、教育機関等で心理的ケアを行うことができる公認心理師は、今後の社会で引き続き必要とされる人材だと考える。

添付資料

(学生の確保の見通し等を記載した書類)

東京国際大学



目次

資料 1.	令和元年度 収容定員変更の概要.....	3
資料 2.	各学部学科の就職実績.....	4
資料 3.	スクールカウンセラーの活動日数の状況（公立）.....	5
資料 4.	自殺者の年次比較.....	6

資料1. 令和元年度 収容定員変更の概要

学部	学科	入学定員		
		平成30	令和元(平成31)	増減
商学部	商学科	120人	100人	-20人
	経営学科	100人	80人	-20人
経済学部	経済学科	355人	435人	+80人
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250人	230人	-20人
国際関係学部	国際関係学科	220人	245人	+25人
	国際メディア学科	80人	60人	-20人
人間社会学部	福祉心理学科	50人	25人	-25人
	人間スポーツ学科	230人	230人	0人
	スポーツ科学科	200人	200人	0人
総合計		1,605人	1,605人	0人

資料2. 各学部学科の就職実績

	平成30年度卒			令和元(平成31)年度卒			令和2年度卒		
	就職 希望者数	就職者数	就職率	就職 希望者数	就職者数	就職率	就職 希望者数	就職者数	就職率
商学部 経営学科	110	108	98.2	102	99	97.1	95	91	95.8
人間社会学部 福祉心理学科	60	60	100.0	42	40	95.2	22	22	100.0

資料3. スクールカウンセラーの活動日数の状況（公立）

区分	小学校		中学校		高等学校		計	
	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)
①常駐	2	0.0	143	1.5	5	0.1	150	0.5
②年間140日以上(常駐を除く)	72	0.4	102	1.1	25	0.6	199	0.6
③年間139日～105日	174	0.9	118	1.3	21	0.5	313	1.0
④年間104日～70日	473	2.5	432	4.6	95	2.3	1,000	3.0
⑤年間69日～35日	3,062	15.9	4,329	46.0	818	19.9	8,209	25.0
⑥年間34日～1日	13,639	70.8	4,061	43.1	2,667	65.0	20,367	62.1
⑦年間0日(配置実績なし)	1,854	9.6	229	2.4	471	11.5	2,554	7.8

(注1) スクールカウンセラーの雇用形態や配置計画に拠らず、活動日数の実績で計上したものを。

(注2) 常駐とは、スクールカウンセラーが単独の者か複数の者かに拠らず、基本的に毎日、一人以上のスクールカウンセラーが当該学校の相談業務等に
従事しているもの。

(注3) 高等学校の全定併置校や通信制併設校等においては、全日制、定時制、通信制それぞれ1校として別々に計上。

(注4) 構成比は、各区分における学校数に対する割合。

文部科学省「令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

資料4. 自殺者の年次比較

表2 年齢階級別自殺者数

(単位：人)

	総数	少年		成人						不詳	
		～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳		80歳～
令和2年 (構成比)	21,081 (100.0%)	0 (0%)	777 (3.7%)	2,521 (12%)	2,610 (12.4%)	3,568 (16.9%)	3,425 (16.2%)	2,795 (13.3%)	3,026 (14.4%)	2,305 (10.9%)	54 (0.3%)
令和元年 (構成比)	20,169 (100.0%)	0 (0%)	659 (3.3%)	2,117 (10.5%)	2,526 (12.5%)	3,426 (17%)	3,435 (17%)	2,902 (14.4%)	2,917 (14.5%)	2,134 (10.6%)	53 (0.3%)
増減数 (構成比)	+912 -	0 (0.0)	+118 (0.4)	+404 (1.5)	+84 (-0.1)	+142 (-0.1)	-10 (-0.8)	-107 (-1.1)	+109 (-0.2)	+171 (0.3)	+1 (0.0)
増減率(%)	4.5	-	17.9	19.1	3.3	4.1	-0.3	-3.7	3.7	8.0	1.9

厚生労働省「令和2年中における自殺の状況」

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	シオザワ シュウヘイ 塩澤 修平 <平成31年4月>		Ph. D. (米国)		東京国際大学学長 (平成31.4～令和4.3)

(注) 高等専門学校にあつては校長について記入すること。